

一般社団法人 淡路青年会議所

2016 年度事業報告並びに決算報告書

2016 年度理事長 中田 勝文

| | |
|---------------|----|
| 1. 理事長報告 | 1 |
| 2. 副理事長報告 | 3 |
| 3. 専務理事報告 | 4 |
| 4. 諸会議報告 | 5 |
| 5. 委員会事業報告 | 12 |
| 6. 委員会別事業決算明細 | 26 |
| 7. 直前理事長報告 | 37 |
| 8. 出向報告 | 38 |
| 9. 監事報告 | 48 |
| 10. 会員動向 | 49 |
| 11. 役員名簿 | 50 |
| 12. 出向者一覧 | 51 |
| 13. 組織及び委員会構成 | 52 |
| 14. 褒賞 | 53 |
| 15. 決算報告 | 54 |
| 16. 監査報告 | 66 |
| 17. 資料 | 67 |

2017 年度事業計画並びに収支予算書

2017 年度理事長 時枝 弘記

| | |
|----------------------------|-----|
| 1. 理事長所信 | |
| 2. 基本方針 | 101 |
| 3. 副理事長・室長抱負 | 102 |
| 4. 専務理事抱負 | 103 |
| 5. 監事抱負 | 104 |
| 6. 委員長・公室長事業計画並びに予算及び役割業務 | 105 |
| 7. 出向者抱負 | 119 |
| 8. 一般会計収支予算 | 124 |
| 9. 特別事業基金（特別会計）収支予算 | 127 |
| 10. 役員名簿 | 128 |
| 11. 出向者一覧 | 129 |
| 12. 組織及び委員会構成 | 130 |
| 13. 年間スケジュール | 131 |
| 14. 日本 JC 近畿地区兵庫ブロック協議会組織図 | 132 |

2016年度

事業報告書

2016年1月1日～2016年12月31日

一般社団法人淡路青年会議所

**一 般 社 団 法 人
淡 路 青 年 会 議 所**

2016 年度 スローガン

心ひとつに ～志高き大義を以て～

2016 年度 基本方針

- 一. 勇気を持って前向きに行動しよう。
- 一. 淡路 JC マンらしさを次世代に繋ごう。
- 一. メンバー全員で自覚を持って会員拡大

1. 理 事 長 報 告



まずは 2016 年度、理事長と言う大役を賜りましたこと、そして一年間お世話になりました OB 諸先輩の皆様、並びに現役メンバーの皆様にご心より感謝を申し上げます。皆様方のお陰をもちまして、無事に 1 年間を全うすることが出来ました。ありがとうございました。本年はスローガンといたしまして「心ひとつに ～志高き大義を以て～」を掲げさせていただきました。志高い大義を持ち、それを実現させるが為、心ひとつに行動しようと言う事であり、メンバーの皆様には、このスローガンの基素晴らしい物を魅せていただいた事にも重ねてお礼申し上げます。理事として前線にてご活躍いただいたメンバーは、この 1 年で見違える程の成長を遂げられたように感じます。きっと個々のメンバーが個々に感じた苦勞や達成感がそうさせたのでしょう。そして理事ではなくとも共に御協力いただいたメンバーの皆様方におきましても、各委員会を支えていただき成果を挙げていただく中、素晴らしい成長をとげられた ことも間違いのないと考えます。さて、本年は大きな柱としまして「淡路はひとつ」とうたう中、淡路島として生き残っていくためには、島が一つとなり淡路島と言うしっかりとした自治体として取り組む必要がある。そのために一体何ができるのか。4 月 24 日には日本遺産に認定され、その後淡路島日本遺産委員会として普及啓発事業を行ってまいりました。そして 10 月 29 日には「淡路島日本遺産認定フォーラム」を、西村康稔代議士や井戸敏三兵庫県知事をはじめとする御来賓の方々をお招きし開催させていただきました。当日は特別企画の「海翔創生神楽」からはじまり、日本遺産認定記念式典、馳前文部科学大臣と春香クリスティーン氏によるトークショー、木下歴代にもご出演いただいた島内外の有識者によるパネルディスカッションを開催し、当日ご来場いただいた 600 名を超える方々に、日本遺産が何なのか、どういう未来があるのかについてご理解いただけたと感じております。またその後「ミライノカタチ～AMBITION of AWAJI」を開催しました。中高生に淡路島のドキュメント映像等を作成して貰う事により、魅力を再認識して頂いた事だと確信いたします。そんな中、関わっていただいた OB 諸先輩方とメンバーの皆様方、本当にありがとうございました。そして現役メンバーの皆様方にとってもこれまでと同様に淡路島の未来を考え信念をもって行動に移すことのできた 1 年であったと考えます。本年度で得た様々な経験や絆を 2017 年度への足がかりとなること、そして明るい豊かな淡路島実現が近未来であると節に信じ、本年度のお礼とご報告とさせていただきます。

2. 副理事長・室長報告

副理事長 新家春輝 藤井宏昌 時枝弘記 岸本篤人 室長 川越勇輔



まず初めに副理事長・室長という大役を頂いたことを、中田理事長はじめ、関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。2016年度は5名の副理事長・室長で、理事長の掲げる「心ひとつに～志高き大義を以て～」のスローガンの下、目的達成に向けて全メンバーが与えられた役割を全う出来るよう副理事長・室長として務めてまいりました。三役間で十分に議論し意思統一を図り、各委員会に対し、趣旨目的に沿った調査研究が行われ、方向性に相違なく緻密な事業になるように指導を行いました。そして我々がこれまでJC活動で経験し学んだことや諸先輩方から教わったことを率先して行動で示し伝播を行ってまいりました。思惑通りに進んだ事業、またそうでなかった事業もあったと思いますが、我々が今年度、挑戦し得た経験は淡路JCの宝として次年度へ引き継がれていくと確信しております。

最後に、1年間関わっていただいたメンバーの皆様に改めて感謝申し上げます報告とさせていただきます。

3. 専務理事報告

専務理事 池澄 泰彦



2016年度一般社団法人淡路青年会議所において組織の根幹を支える専務理事の重責を拝命いたしました。二度目の専務理事ということで、中田理事長はじめ理事会構成者並びにメンバー諸兄の多大なるご協力のもと職務を全うすることができました。感謝申し上げます。

専務理事として、理事長が目指す方向へと導き、円滑な組織運営を行っていくために、不測の事態にも対応しながら常に先を読み、三役間だけでなくメンバーとコンセンサスを図り、広い視野で多角的に判断することの大切さを学ばせていただきました。また、他LOM、特別会員、他団体と様々な連絡調整を続けていくうちに、青年会議所活動の意義や目的を再認識することができました。

本年度、組織の中で活動させていただく中で、至らぬ点多々ございましたが、私にとって何物にも代えがたい経験となりました。最後になりますが、ご指導・ご鞭撻をいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。専務理事としての報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

諸 会 議 報 告

一般社団法人淡路青年会議所 第6回定時総会

2016年1月13日(水)於 伊弉諾神宮

出席者 39名 書面評決 6名 委任状 0名

- 第1号議案 2015年度事業報告承認に関する件
- 第2号議案 2015年度正味財産増減決算報告承認に関する件
- 第3号議案 2016年度正味財産増減修正予算承認に関する件

一般社団法人 淡路青年会議所 第6回臨時総会

2016年7月13日(水)於 洲本市文化体育館

出席者 38名 書面評決 6名 委任状 0名

- 第1号議案 理事退任の件
- 第2号議案 理事選任の件

一般社団法人 淡路青年会議所 第7回臨時総会

2016年8月10日(水)於 洲本市文化体育館

出席者 31名 書面評決 15名 委任状 0名

- 第1号議案 2016年度正味財産増減第二次補正予算承認に関する件
- 第2号議案 監事退任に関する件

一般社団法人 淡路青年会議所 第7回臨時総会

2016年8月24日(水)於 一般社団法人淡路青年会議所事務局

出席者 30名 書面評決 16名 委任状 0名

- 第1号議案 2017年度理事予定者承認に関する件
- 第2号議案 2017年度監事予定者承認に関する件

一般社団法人 淡路青年会議所 第7回定時総会

2016年12月17日(土) 於 夢海遊 淡路島

出席者 38名 書面評決 15名 委任状 0名

- | | | |
|-------|--------|-------------------|
| 第1号議案 | 2016年度 | 預かり金処分に関する件 |
| 第2号議案 | 2016年度 | 正味財産増減決算報告承認に関する件 |
| 第3号議案 | 2017年度 | 組織構成及び委員会構成に関する件 |
| 第4号議案 | 2017年度 | 出向者に関する件 |
| 第5号議案 | 2017年度 | 正味財産増減予算に関する件 |
| 第6号議案 | 2017年度 | 事業計画に関する件 |
| 第7号議案 | 2017年度 | 例会・総会日時に関する件 |
| 第8号議案 | 2017年度 | 預かり金に関する件 |

理事会報告

| 月 日 | 内 容 | 場 所 |
|----------|---|---------|
| 1. 6 (水) | <p>1 月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 理事長、副理事長、室長及び専務理事選任の件 (2) 2015 年度事業報告の件 (3) 2015 年度決算報告の件 (4) 新入会員承認の件 (5) 新入会員配属の件 (6) 準会員承認の件 (7) 2016 年度修正予算承認に関する件 (8) 2016 年度会費徴収の件 (9) 1 月例会の件 (10) 第 6 回定時総会提出議案の件 (11) 第 6 回定時総会設営の件 (12) 新年会の件 (13) 総合資料作成の件 (14) 会員名簿作成の件 (15) LOM 役員懇談会の件 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 2 月例会 (2) 3 月例会 (3) 前期候補者説明会 | 夢海游 淡路島 |
| 2. 3 (水) | <p>2 月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) L O M 役員懇談会の件 (2) 2 月例会の件 (3) 3 月例会の件 【一部審議】 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 淡路 J C 説明会の件 【2/2】 (2) 4 月例会の件 【1/2】 (3) 第 22 回わんぱく相撲淡路場所の件 | 夢海游 淡路島 |

| 月 日 | 内 容 | 場 所 |
|---------|---|---------|
| 3. 2(水) | <p>3月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 準会員承認の件</p> <p>(2) 1月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 新年会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(4) 3月例会の件</p> <p>(5) 前期入会候補者説明会の件</p> <p>(6) 第22回わんぱく相撲淡路場所の件【一部審議】</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 4月例会の件【2/2】</p> <p>(2) 5月例会の件【1/2】</p> <p>(3) 青少年育成事業の件【1/2】</p> | 夢海游 淡路島 |
| 4. 6(水) | <p>4月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 準会員承認の件</p> <p>(2) 後援名義依頼の件</p> <p>(3) 総合資料の作成事業報告及び決算の件</p> <p>(4) 会員名簿作成事業報告及び決算の件の件</p> <p>(5) 兵庫ブロック役員懇談会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(6) 2月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(7) 4月例会の件</p> <p>(8) 第22回わんぱく相撲淡路場所の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 5月例会の件【2/2】</p> <p>(2) 6月例会の件【1/2】</p> <p>(3) 次世代育成事業の件【1/2】</p> <p>(4) 青少年育成事業の件【2/2】</p> | 夢海游 淡路島 |
| 5. 2(水) | <p>5月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 準会員承認の件</p> <p>(2) 3月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 5月例会の件</p> <p>(4) 青少年育成事業の件【一部審議】</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 6月例会の件【2/2】</p> <p>(2) 次世代育成事業の件【2/2】</p> <p>(3) 7月例会の件【1/2】</p> <p>(4) 淡路島まつりおどり大会の件【1/2】</p> | 夢海游 淡路島 |

| 月 日 | 内 容 | 場 所 |
|---------|--|---------|
| 6.1 (水) | <p>6月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 新入会員承認の件 (2) 新入会員配属の件 (3) 前期入会候補者説明会事業報告並びに決算報告の件 (4) 4月例会事業報告並びに決算報告の件 (5) わんぱく相撲事業報告並びに決算報告の件 (6) 6月例会の件 (7) 次世代育成事業の件【審議】 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 選挙管理委員会設置の件【1/1】 (2) 7月例会の件【2/2】 (3) 淡路島まつりおどり大会の件【2/2】 (4) 8月例会の件【1/2】 (5) 青少年育成事業【討議】 | |
| 7.1 (水) | <p>7月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 理事退任の件 (2) 理事選任の件 (3) 副委員長選任の件 (4) 新入会員承認の件 (5) 新入会員配属の件 (6) 準会員承認の件 (7) 前期候補者説明会報告並びに決算報告の件の件 (8) 5月例会事業報告並びに決算報告の件 (9) 2016年度後期会費徴収の件 (10) 7月例会の件 (11) 選挙管理委員会設置の件 (12) 第6回臨時総会提出議案の件 (13) 第6回臨時総会設営の件 (14) 淡路島まつりおどり大会の件【一部審議】 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 8月例会の件【2/2】 (2) 第7回臨時総会提出議案の件 (3) 第7回臨時総会設営の件 (4) 9月例会の件【1/2】 (5) 後期入会候補者説明会の件【1/2】 (6) 青少年育成事業の件 | 夢海游 淡路島 |
| 8.3 (水) | <p>8月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 新入会員承認の件 (2) 新入会員配属の件 (3) 6月例会事業報告並びに決算報告の件 (4) 淡路島まつりおどり大会の件 (5) 8月例会の件 (6) 淡路島日本遺産委員会負担金に関する件 (7) 2016年度正味財産増減補正予算承認に関する件 (8) 2016年度監事退任に関する件 | 夢海游 淡路島 |

| 月 日 | 内 容 | 場 所 |
|-----------|---|---------|
| 9. 7 (火) | <p>(9) 2017年度理事予定者承認に関する件. (10) 2017年度監事予定者承認に関する件 (11) 第7回臨時総会上程議案の件 (12) 第7回臨時総会設営の件 (13) 9月例会の件【一部審議】</p> <p>【協議事項】 (1) 後期入会候補者説明会の件【2/2】 (2) 10月例会の件【1/2】 (3) 青少年育成事業の件【3/3】</p> <p>9月理事会</p> <p>【審議事項】 (1) 新入会員承認の件 (2) 新入会員配属の件 (3) 準会員承認の件 (4) 6月例会事業報告並びに決算報告の件 (5) 7月例会事業報告並びに決算報告の件 (6) 9月例会の件 (7) 後期入会説明会の件</p> <p>【協議事項】 (1) 10月例会の件【2/2】 (2) 青少年育成事業の件 (3) 11月例会の件【1/2】</p> | 夢海游 淡路島 |
| 10. 7 (水) | <p>10月理事会</p> <p>【審議事項】 (1) 準会員承認の件 (2) 8月例会事業報告並びに決算報告の件 (3) 10月例会の件 (4) 青少年育成事業の件</p> <p>【協議事項】 (1) 11月例会の件【一部審議】 (2) 12月例会の件【1/2】 (3) 家族懇親会の件【1/2】</p> | 夢海游 淡路島 |
| 11. 2 (水) | <p>11月理事会</p> <p>【審議事項】 (1) 淡路島まつり踊り大会事業報告並びに決算報告 (2) 9月例会事業報告並びに決算報告の件 (3) 淡路JC説明会事業報告並びに決算報告の件 (4) 次世代育成事業事業報告並びに決算報告の件 (5) 11月例会の件</p> | 夢海游 淡路島 |

| 月 日 | 内 容 | 場 所 |
|-------------------|--|----------|
| 12. 7 (水) | <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 12 月例会の件 【2/2】 (2) 第 7 回定時総会提出議案の件 【1/1】 (3) 第 7 回定時総会設営の件 【1/1】 (4) 家族懇親会の件 【2/2】 <p>12 月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 新入会員承認の件 (2) 新入会員配属の件 (3) 1 0 月例会事業報告並びに決算報告の件 (4) 青少年育成事業報告並びに決算報告の件 (5) 1 1 月例会事業報告並びに決算報告の件 (6) 2016 年度預かり金処分の件 (7) 2016 年度正味財産増減決算報告の件 (8) 2017 年度組織及び委員会構成の件 (9) 2017 年度出向者の件 (10) 2017 年度正味財産増減予算の件 (11) 2017 年度事業計画の件 (12) 2017 年度例会・総会日時 (13) 2017 年度預かり金の件 (14) 1 2 月例会の件 (15) 第 7 回定時総会提出議案の件 (16) 第 7 回定時総会設営の件 (17) 家族懇親会の件 | 夢海游 淡路島 |
| 2016. 1. 5 (水) | <p>第 13 回理事会</p> <p>【審議事項】</p> | 淡路島観光ホテル |

4. 委員会事業報告

理事長公室

公室長 村田 泰志



委員会スローガン

縁の下の舞

| | | | | | |
|----|-------|------|-------|-------|-------|
| 担当 | 池澄 康彦 | 公室長 | 村田 泰志 | 副公室長 | 笹津 寛照 |
| 委員 | 福富 健介 | 高見恵文 | 平山 友樹 | 岩本 章男 | |

総括報告

まず初めに、2016年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として公室長の大役を任命いただきました中田理事長に心からお礼を申し上げます。

予定者段階より、一年間の行動指針となる抱負を作成し、その中で公室長として理事長・三役そして各委員会とのパイプ役として、LOM 全体の活性化を出来ればと考え、また、理事長公室としての役割である、理事長の秘書的業務、専務理事の補佐、諸会議の設営など青年会議諸活動の基礎的業務に対し、常に各委員会の置かれている状況を把握することで、お互いの感じ方・考え方を知り、認め合うことに繋がり組織がより強固なものになるよう行ってまいりました。結果は、全てが満足できる結果ではなく、難しさを改めて認識する一年であったかと思えます。

最後になりましたが、中田理事長、池澄専務理事には様々な場面でご指導、ご鞭撻を頂き本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました笹津副公室長をはじめとする公室メンバーの皆様に感謝を申し上げ活動報告とさせていただきます。

委員会報告

| 年月日 | 場所 | 内容 | 出席者数 |
|--------------|----------|---------------------------------------|------|
| 2015. 10. 26 | 淡路島観光ホテル | 理事長所信・スローガンの件、議長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件 | 5名 |
| 11. 24 | 事務局 | 会員名簿の件 | 2名 |
| 2016. 2. 8 | 事務局 | 会員名簿件 | 2名 |
| 5. 10 | 事務局 | 7月例会の件 | 3名 |
| 6. 30 | 事務局 | 7月例会の件 | 2名 |
| 10. 11 | 事務局 | 12月例会の件 | 3名 |
| 10. 18 | 事務局 | 12月例会の件 | 2名 |
| 11. 16 | 事務局 | 12月例会の件 | 3名 |
| 11. 24 | 事務局 | 12月例会の件 | 5名 |

事業報告

| 年月日 | 場所 | 内容 | 出席者数 |
|-------------|----------|-------|------|
| 2016. 7. 13 | 洲本市文化体育館 | 7月例会 | 44名 |
| 12. 17 | 夢海遊 | 12月例会 | 27名 |

日本遺産推進会議 議長 吉井 崇行



委員会スローガン

知行合一！淡路島の未来のために確固たる礎を築く

| | | | | | |
|----|-------------|----|-------|-----|--------|
| 担当 | 時枝 弘記 | 議長 | 吉井 崇行 | 副議長 | 木戸 隆一郎 |
| 委員 | 萩本 雅彦 本名 佑至 | | | | |

総括報告

先ず初めに、日本遺産推進活動が盛んになるようにメンバーの皆さまが理解を示してくださり、ご支援をいただきましたことに対して深く感謝を申し上げます。

日本遺産推進会議では、淡路島三市並びに各種団体に組織する淡路島日本遺産委員会の事務局を担当し、組織を円滑するとともに、平成28年度日本遺産認定に向けて取り組んで参りました。できることは全てやるという心意気で臨んだ結果、本年度日本遺産認定を文化庁よりいただくことができました。そして、認定後も日本遺産を推進するという観点で淡路島日本遺産委員会内の調整役を務めるとともに、日本遺産魅力発信推進事業（文化庁）の各事業並びに環境整備を島内三市が力を合わせて取り組めるように心掛け、さらには魅力あるものとなるように率先して行動して参りました。知行合一を貫くことで未来の淡路島が明るく豊かになるための礎を築く一助になったと確信いたしております。

最後になりますが、日本遺産推進活動を適切に導いてくださった時枝担当副理事長、そして、予定者の段階から年末遅くまで尽力してくださった木戸副議長を始めとする日本遺産推進会議のメンバーの皆さまに感謝を申し上げ、活動報告とさせていただきます。

委員会報告

| 年月日 | 場所 | 内 容 | 出席者数 |
|--------------|----------------|---|------|
| 2015. 10. 20 | 淡路島観光ホテル | 理事長所信・スローガンの件、議長抱負及び事業計画の件、上程スケジュール、1月例会の件、3月例会の件 | 3名 |
| 11. 5 | 事務局 | 議長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件、日本遺産の件、1月例会の件、3月例会の件 | 5名 |
| 11. 21 | 津名レンタカー 喫茶部 | 議長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件、日本遺産の件、1月例会の件、3月例会の件 | 5名 |
| 12. 17 | 事務局 | 日本遺産の件、1月例会の件、3月例会の件 | 5名 |
| 2016. 1. 8 | 事務局 | 日本遺産の件、1月例会の件、3月例会の件 | 5名 |
| 1. 12 | 伊弉諾神宮参集殿 | 1月例会の件 | 5名 |
| 1. 20 | 事務局 | 日本遺産の件 | 5名 |
| 2. 5 | 事務局 | 日本遺産の件、1月例会決算報告の件、3月例会の件 | 5名 |
| 2. 15 | 事務局 | 日本遺産の件、1月例会決算報告の件、3月例会の件 | 4名 |
| 2. 26 | 事務局 | 日本遺産の件、1月例会決算報告の件、3月例会の件 | 3名 |
| 3. 3 | 事務局 | 日本遺産の件、3月例会の件 | 5名 |
| 3. 4 | 事務局 | 日本遺産の件、3月例会の件 | 5名 |
| 3. 25 | 事務局 | 3月例会決算報告の件、日本遺産の件、地域再興政策コンテストの件 | 4名 |
| 4. 15 | 日光寺 | 3月例会決算報告の件、日本遺産の件、地域再興政策コンテストの件 | 6名 |
| 5. 7 | 時枝石材 | 淡路島日本遺産委員会幹事会の件、地域再興政策コンテストの件 | 4名 |
| 5. 27 | 事務局 | 日本遺産魅力発信推進事業の件、淡路島日本遺産委員会幹事会の件、6月理事会報告事項の件 | 5名 |
| 6. 2 | 事務局 | 第10回淡路島日本遺産委員会の件 | 5名 |
| 6. 15 | 時枝石材 | 淡路島日本遺産委員会総会の件、日本遺産サミット in 岐阜の件、第11回淡路島日本遺産委員会幹事会の件 | 3名 |
| 6. 21 | 事務局 | 淡路島日本遺産委員会総会の件、日本遺産サミット in 岐阜の件、第11回淡路島日本遺産委員会幹事会の件 | 5名 |
| 7. 4 | 事務局 | 第11回淡路島日本遺産委員会幹事会の件、日本遺産魅力発信推進事業交付要望書（再提出）の件 | 4名 |
| 7. 21 | 伊弉諾神宮参集殿 | 日本遺産魅力発信推進事業の件 | 5名 |
| 7. 27 | けひの海 | 市長会後報告の件、日本遺産魅力発信推進事業の件 | |
| 8. 4 | 事務局 | 第12回淡路島日本遺産委員会幹事会の件、日本遺産魅力発信推進事業の件 | 4名 |
| 8. 17 | 事務局 | 第12回淡路島日本遺産委員会幹事会の件、日本遺産魅力発信推進事業の件 | 5名 |

| 年月日 | 場所 | 内 容 | 出席者数 |
|--------|------|---|------|
| 9. 27 | 事務局 | 淡路島日本遺産認定記念フォーラムの件、 第 13 回淡路島日本遺産委員会幹事会の件 | 4 名 |
| 10. 4 | 事務局 | 淡路島日本遺産認定記念フォーラムの件、 日本遺産魅力発信推進事業の件 | 6 名 |
| 10. 14 | 時枝石材 | 淡路島日本遺産認定記念フォーラムの件 | 5 名 |
| 10. 21 | 事務局 | 淡路島日本遺産認定記念フォーラムの件、 日本遺産魅力発信推進事業の件 | 4 名 |
| 11. 6 | 梅薫堂 | 淡路島日本遺産認定記念フォーラムの件、 日本遺産魅力発信推進事業の件 | 5 名 |
| 11. 18 | 事務局 | 淡路島日本遺産認定記念フォーラムの件、 日本遺産魅力発信推進事業の件 | 5 名 |
| 11. 24 | 事務局 | 第 16 回淡路島日本遺産委員会幹事会設営 の件、平成 28 年度日本遺産魅力発信推進事 業の件、平成 29 年度日本遺産魅力発信推進 事業の件 | 5 名 |
| 12. 9 | 事務局 | 第 16 回淡路島日本遺産委員会幹事会設営 の件、平成 28 年度日本遺産魅力発信推進事 業の件、平成 29 年度日本遺産魅力発信推進 事業の件 | 5 名 |
| 12. 28 | 事務局 | 第 16 回淡路島日本遺産委員会幹事会設営 の件、平成 28 年度日本遺産魅力発信推進事 業の件、平成 29 年度日本遺産魅力発信推進 事業の件 | 6 名 |

事業報告

| 年月日 | 場所 | 内 容 | 出席者数 |
|-------------|----------|-------|---------------------|
| 2016. 1. 13 | 伊弉諾神宮 | 1 月例会 | 正会員 40 名 準会員 1 名 |
| 3. 9 | 洲本市文化体育館 | 3 月例会 | 正会員 38 名 準会員 1 名 |

淡路島日本遺産委員会記録

| 年 月 日 | 場 所 | 内 容 |
|--------------|------------------------------|-----------------------------|
| 2016. 1. 8 | 淡路 JC 事務局 | 第 6 回淡路島日本遺産委員会幹事会 |
| 2016. 1. 27 | 淡路 JC 事務局 | 第 7 回淡路島日本遺産委員会幹事会 |
| 2016. 4. 25 | 淡路広域消防事務組合多目的室 | 淡路島日本遺産認定記者発表会 |
| 2016. 5. 2 | 淡路 JC 事務局 | 第 8 回淡路島日本遺産委員会幹事会 |
| 2016. 5. 12 | 淡路 JC 事務局 | 第 9 回淡路島日本遺産委員会幹事会 |
| 2016. 5. 31 | 文化庁 | 文化庁ヒアリング |
| 2016. 6. 6 | 淡路 JC 事務局 | 第 10 回淡路島日本遺産委員会幹事会 |
| 2016. 6. 9 | 姫路キャッスルグランヴィリオ | 銀の馬車道ネットワーク協議会総会・講演 |
| 2016. 6. 22 | 洲本市健康福祉会館 | 淡路島日本遺産委員会総会 |
| 2016. 7. 1 | 長良川国際会議場 | 日本遺産サミット in 岐阜 |
| 2016. 7. 11 | 淡路県民局 中会議室 | 第 11 回淡路島日本遺産委員会幹事会 |
| 2016. 7. 24 | 国営明石海峡公園付近 | 第 11 回淡路市夏まつり・ブース出展 |
| 2016. 8. 3 | 淡路広域消防事務組合多目的室 | 淡路島市長会後の報告 |
| 2016. 8. 22 | 淡路県民局 中会議室 | 第 12 回淡路島日本遺産委員会幹事会 |
| 2016. 9. 14 | 淡路 JC 事務局 | 「のぼり旗」完成記者発表 |
| 2016. 9. 26 | 淡路県民局 中会議室 | 淡路島日本遺産認定記念フォーラム記者発表 |
| 2016. 9. 29 | 淡路県民局 中会議室 | 第 13 回淡路島日本遺産委員会幹事会 |
| 2016. 10. 3 | 淡路県民局 中会議室 | ホームページプレゼンテーション・ヒアリング |
| 2016. 10. 11 | 神楽ミュージアム | 淡路市法人会講演 |
| 2016. 10. 14 | 淡路人形座 | 淡路提灯隊練習会 |
| 2016. 10. 15 | 洲本市文化体育館 | 淡路島くにうみ講座講演会（武田信一氏） |
| 2016. 10. 19 | 文化庁 | 第 14 回淡路島日本遺産委員会幹事会 |
| 2016. 10. 20 | 淡路県民局 中会議室 | 淡路提灯隊練習会 |
| 2016. 10. 22 | 神楽ミュージアム | 淡路島日本遺産フレーム切手贈呈式 |
| 2016. 10. 24 | 五斗長垣内遺跡 | 淡路島日本遺産認定記念フォーラム |
| 2016. 10. 28 | 洲本市文化体育館 文化ホール | 幹事会設営準備 淡路島日本遺産認定記念フォーラム |
| 2016. 10. 29 | 洲本市文化体育館 文化ホール | |
| 2016. 10. 30 | 淡路市家畜市場横 | 淡路島ええもんうまいもんフェア・ブース出展 |
| 2016. 11. 2 | みんなの森ぎふメディアコスモス 1階みんなのホール | 日本遺産連盟総会・研修会 |
| 2016. 11. 24 | 洲本市総合福祉会館 2階研修室 1 | 第 15 回淡路島日本遺産委員会幹事会 |
| 2016. 12. 18 | 洲本市立淡路文化史料館 1F 研修室 | 日本遺産観光ガイド養成講座（第 1 回） |
| 2016. 12. 21 | 洲本市総合福祉会館・竹一 | 第 16 回淡路島日本遺産委員会幹事会・親睦会 |

会員拡大委員会 委員長 植野 泰幸



委員会スローガン

一致団結～広げよう同士の輪～

| | | | | | | |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 担当 | 新家 春輝 | 委員長 | 植野 泰幸 | | 副委員長 | 横山 奈津紀 |
| 委員 | | 吉田 光佑 | 久米 基支 | 高塚 信幸 | 田中 義晴 | |

総括報告

先ず初めに、一年間通じてご支援ご協力頂きましたメンバーの皆さまに深く感謝致します。本当にありがとうございました。

会員拡大委員会では、年当初に掲げました1/2会員拡大という目標を持ち活動させて頂きましたが結果としては10名の新入会員の拡大結果となりました。拡大という大きな課題に向かい一年間活動するなかで、今まで感じていなかった淡路JCのすばらしさを知る機会ともなりました、そして、このすばらしさをまだまだ候補者の皆様に伝えきれていないというように感じさせて頂きました。今後は、この経験を生かしJC活動に邁進し、候補者の皆様に淡路JCのすばらしさを伝えれるよう活動させていただきます。

最後になりましたが、三役の皆様には様々な場面で叱咤激励を頂き本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました横山委員長をはじめとする委員会メンバーの皆様に感謝を申し上げ活動報告とさせていただきます。

委員会報告

| 年 月 日 | 場 所 | 内 容 | 出席者数 |
|--------------|----------|---------------------------------------|------|
| 2015. 10. 20 | 淡路島観光ホテル | 理事長所信・スローガンの件、議長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件 | 3名 |
| | 事務局 | 委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件、 | 3名 |
| 12. 3 | | 会員拡大の件 | 3名 |
| 12. 17 | 事務局 | 会員拡大の件 | 3名 |
| 2016 2. 4 | 事務局 | 会員拡大の件 | 3名 |
| 2. 12 | 事務局 | 会員拡大の件 | 3名 |
| 2. 17 | 事務局 | 会員拡大の件 | 3名 |
| 3. 10 | 事務局 | 会員拡大の件 | 3名 |
| 3. 15 | 事務局 | 会員拡大の件 | 3名 |
| 5. 31 | 事務局 | 会員拡大の件 | 3名 |
| | 事務局 | 会員拡大の件 | 3名 |

事業報告

| 年 月 日 | 場 所 | 内 容 | 出席者数 |
|-------------|----------|---------|-----------------------------|
| 2016. 3. 16 | 淡路島観光ホテル | J C 説明会 | 正会員 27名 準会員 3名 候補者 8名 |
| 6. 8 | 洲本市文化体育館 | 6月例会 | 正会員 29名 準会員 3名 候補者 6名 |
| 9. 21 | 淡路島観光ホテル | J C 説明会 | 正会員 26名 候補者 4名 |

会員交流委員会 委員長 後藤 宏暢



委員会スローガン 交わるこそ大事を成す

| | | | | | |
|----|------------------------------|-----|-------|------|-------|
| 担当 | 藤井 宏昌 | 委員長 | 後藤 宏暢 | 副委員長 | 寺岡 良祐 |
| 委員 | 長尾 亨 中川 貴博 森田 俊寛 池尻 明人 廣田 欣也 | | | | |

総括報告

先ず初めに、一年間通じてご支援ご協力頂きましたメンバーの皆さまに深く感謝致します。本当にありがとうございました。

会員交流委員会では新年会、例会(4月、5月、9月)、島まつり、家族忘年会の企画・設営を行わせていただきました。不測の事態により委員長を7月より務めさせていただきましたが、担当副理事長、委員会メンバーの助けを借りながら何とかやりきることができました。その中で印象深いのは9月例会であります。JC活動を開始してから2年間、他団体との交流をもっとすればJCの発信力の強化に繋がると感じてきました。9月例会には各種青年部団体との繋がり強化していく第一歩になったと確信しております。本年度で卒業させて頂きますが、何とかこの繋がりを今後に生かして頂けると幸いです。

最後になりましたが、三役の皆様には様々な場面で陰ながらご協力を頂き本当にありがとうございました。また、不測の事態から急遽副委員長を受けて頂きました寺岡副委員長、また会員交流委員会メンバーの皆様には感謝を申し上げ活動報告とさせていただきます。

委員会報告

| 年月日 | 場所 | 内 容 | 出席者数 |
|-------------|----------|---------------------------------------|------|
| 2015. 9. 20 | 淡路島観光ホテル | 理事長所信・スローガンの件、議長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件 | 4名 |
| 10. 30 | 事務局 | 議長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件、 | 3名 |
| 11. 17 | 事務局 | 新年会の件、 | 3名 |
| 12. 11 | 事務局 | 新年会の件、 | 3名 |
| 12. 23 | 事務局 | 新年会の件、 | 3名 |
| 2016 1. 11 | 事務局 | 新年会の件 | 3名 |
| 1. 12 | 事務局 | 新年会の件 | 3名 |
| 2. 8 | 事務局 | 4. 5 の件 | 4名 |
| 3. 6 | 事務局 | 4. 5 会の件 | 3名 |
| 3. 25 | 事務局 | 4. 5 例会の件 | 3名 |
| 4. 7 | 事務局 | 4. 5 月例会の件 | 3名 |
| 4. 17 | 事務局 | 淡路島祭りの件 4. 5 月例会の件 | 3名 |
| 5. 2 | 事務局 | 淡路島祭りの件 5. 9 月例会の件 | 3名 |
| 6. 31 | 事務局 | 淡路島祭り件 9 月例会の件 | 3名 |
| 7. 16 | 事務局 | 淡路島祭りの件 9 月例会の件 | 3名 |
| 9. 31 | 事務局 | 家族忘年会の件 9 月例会の件 | 4名 |
| 11. 21 | 事務局 | 家族忘年会の件 | 4名 |
| 11. 30 | 事務局 | 家族忘年会の件 | 4名 |
| 12. 13 | 事務局 | 家族忘年会の件 | 4名 |

事業報告

| 年月日 | 場所 | 内 容 | 出席者数 |
|-------------|----------|---------|-------------------|
| 2016. 1. 14 | 淡路夢泉景 | 新年会 | 正会員 36名 |
| 4. 14 | 洲本市文化体育館 | 4 月例会 | 正会員 32名 準会員 3名 |
| 5. 11 | 洲本市文化体育館 | 5 月例会 | 正会員 32名 準会員 1名 |
| 8. 6 | 厳島神社 | 淡路島踊り大会 | 正会員 23名 |
| 9. 9 | 洲本市文化体育館 | 9 月例会 | 正会員 32名 |
| 12. 17 | 夢海遊淡路島 | 家族懇親会 | 正会員 22名 準会員 1名 |

次世代育成委員会 委員長 藤川 龍介



委員会スローガン

温故知“真” ～「真」の先の「新」へ～

| | | | | | |
|----|-------------------------------------|-----|-------|------|-------|
| 担当 | 岸本 篤人 | 委員長 | 藤川 龍介 | 副委員長 | 小川 優一 |
| 委員 | 波戸 大樹、横山 泰明、柴田 大介、松井 孝明、加藤 治久、富永 浩司 | | | | |

総括報告

まず初めに、2016 年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として委員長という大役を任命いただきました中田理事長に心から感謝申し上げます。

理事長所信の中にもある次世代育成の重要性を踏まえ、事業のみならず 2 月・8 月・10 月の 3 回の例会においても若手メンバーに積極的に関わっていただき、受動的な成長のみならず能動的な育成を促すことを目的に活動を行って参りました。事業においては 4 か月という長期間のなか、事業内で組閣させていただいた 3 名の若手委員長が中心となって活動を行っていただきました。若手のみならずベテランメンバーにも多くご参加をいただき、若手育成に関わっていただきました。また広報面の担いにおいては HP の管理・運営、対内広報誌の発行を行うことで LOM の情報発信を内外に行い、2016 年度の活動を知っていただきました。

最後になりましたが中田理事長、また担当でもある岸本副理事長には 1 年間様々な場面で叱咤激励、アドバイスをいただき、他の三役関係の皆さまにも多くご指導を賜りました。また 1 年間ともに活動を行い、委員会を支えていただいた小川副委員長をはじめとする委員会メンバーに感謝申し上げ、活動報告とさせていただきます。

委員会報告

| 年月日 | 場 所 | 内 容 | 出席者数 |
|--------------|----------|--|------|
| 2015. 10. 20 | 淡路島観光ホテル | 理事長所信・スローガンの件、委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件 | 8名 |
| 10. 26 | 事務局 | 委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件 ホームページの件、対内広報誌の件 | 5名 |
| 11. 6 | 事務局 | 委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件 ホームページの件、対内広報誌の件 | 5名 |
| 11. 24 | 事務局 | 委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件 ホームページの件、対内広報誌の件 | 3名 |
| 12. 28 | 事務局 | ホームページの件、対内広報誌の件、2月例会の件 | 5名 |
| 2016. 1. 8 | 事務局 | 2月例会の件 | 6名 |
| 1. 27 | 事務局 | 2月例会の件 | 6名 |
| 2. 4 | 事務局 | 2月例会の件 | 3名 |
| 2. 15 | 事務局 | 次世代育成事業の件 | 5名 |
| 3. 24 | 事務局 | 次世代育成事業の件 | 3名 |
| 4. 4 | 事務局 | 次世代育成事業の件 | 5名 |
| 4. 19 | 事務局 | 次世代育成事業の件 | 3名 |
| 4. 27 | 事務局 | 次世代育成事業の件 | 5名 |
| 5. 26 | 事務局 | 次世代育成事業の件 | 3名 |
| 6. 2 | 事務局 | 次世代育成事業の件、8月例会の件 | 5名 |
| 6. 6 | 事務局 | 次世代育成事業の件、8月例会の件 | 4名 |
| 7. 1 | 事務局 | 次世代育成事業の件、8月例会の件 | 4名 |
| 7. 20 | 事務局 | 次世代育成事業の件、8月例会の件 | 5名 |
| 8. 8 | 事務局 | 次世代育成事業の件、8月例会の件 | 4名 |
| 8. 23 | 淡路島観光ホテル | 次世代育成事業の件、10月例会の件 | 3名 |
| 9. 19 | 事務局 | 10月例会の件 | 3名 |
| 10. 7 | 事務局 | 10月例会の件 | 5名 |

事業報告

| 年月日 | 場 所 | 内 容 | 出席者数 |
|-------------|------------------|---------------------------|------|
| 2016. 2. 10 | ホテルニューアワジ | 2月例会 ～輝く未来のために～ | 32名 |
| 6. 9 | サンセットビューホテル けひの海 | 次世代育成事業 ～未来への点鐘事業説明会 | 28名 |
| 7. 7 | サンセットビューホテル けひの海 | 次世代育成事業 第1回 JCY カンファレンス | 27名 |
| 7. 27 | サンセットビューホテル けひの海 | 次世代育成事業 第2回 JCY カンファレンス | 26名 |
| 8. 13 | 洲本市文化体育館 | 8月例会～言葉のチカラ～ | 31名 |
| 8. 17 | サンセットビューホテル けひの海 | 次世代育成事業 第3回 JCY カンファレンス | 27名 |
| 8. 24 | サンセットビューホテル けひの海 | 次世代育成事業 第1回臨時 JCY カンファレンス | 25名 |
| 9. 7 | サンセットビューホテル けひの海 | 次世代育成事業 第2回臨時 JCY カンファレンス | 23名 |
| 9. 17 | サンセットビューホテル けひの海 | 次世代育成事業 第3臨時 JCY カンファレンス | 22名 |
| 10. 12 | 洲本市文化体育館 | 10月例会～無限大の可能性～ | 33名 |
| 10. 19 | サンセットビューホテル けひの海 | 次世代育成事業 第4回 JCY カンファレンス | 20名 |

未来創造委員会 委員長 竹田 良平



委員会スローガン

未来志向～愛する故郷に誇りを～

| | | | | | |
|----|------------------------------------|-----|-------|------|-------|
| 担当 | 川越 勇輔 | 委員長 | 竹田 良平 | 副委員長 | 伊山 真司 |
| 委員 | 苫屋 千賀 法月 正義 三浦 義崇 山本 賢 松浦 清志 山田 義徳 | | | | |

総括報告

本年度、未来創造委員会委員長として「LOM 役員懇談会」「第 22 回わんぱく相撲淡路場所」「青少年育成事業 ミライノカタチ～AMBITION of AWAJI～」 「11 月卒業例会」を担当させていただきました。

委員会メンバーも副委員長の伊山君をはじめ、強力なメンバー体制もあり無事に全事業を終えることができたことを何より感謝しております。また、事業メインの委員会ということもあり、委員会の枠を超えた全メンバーの協力体制が無ければ成しえなかったと考えております。本年度は日本遺産認定という大きな話題があったことで、淡路青年会議所への注目度、そして存在意義を対外に広くアピールできた年でありました。その中で、中田理事長が掲げられましたスローガン「心ひとつに～志高き大義を以て～」のもと、全メンバーが一丸となり、日本遺産のPRに、そして事業実施に向けて邁進できたことが何よりの成果であったように感じます。近年は卒業生も多く、メンバー数が減少してきておりますが、今年度その存在意義をしっかりと示せたことと、そして心ひとつにメンバーの意識を底上げできたことにより、改めて拡大活動に繋げ、淡路JCの隆盛に尽力を尽くしていかなければならないと実感しました。

最後になりましたが、理事長をはじめ、三役の皆様には様々な場面での叱咤激励、そして全面的なバックアップをしていただきまして本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました伊山副委員長をはじめとする未来創造委員会メンバーの皆様にご感謝を申し上げ活動報告とさせていただきます。

委員会報告

| 年月日 | 場 所 | 内 容 | 出席者数 |
|--------------|-----------|--|------|
| 2015. 10. 20 | 淡路島観光ホテル | 理事長所信・スローガンの件、委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件 | 4名 |
| 10. 26 | 事務局 | 委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件 | 2名 |
| 10. 30 | 事務局 | 委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件 | 2名 |
| 11. 24 | 事務局 | 委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件 | 2名 |
| 12. 4 | 事務局 | 青少年事業の件, LOM 役員懇談会の件 | 2名 |
| 12. 11 | 事務局 | 青少年事業の件, LOM 役員懇談会の件 | 3名 |
| 12. 14 | 事務局 | 青少年事業の件, LOM 役員懇談会の件 | 3名 |
| 12. 25 | 事務局 | 青少年事業の件, LOM 役員懇談会の件 | 2名 |
| 2016 1. 18 | 事務局 | 青少年事業の件, LOM 役員懇談会の件 拡大の件 | 6名 |
| 1. 27 | 事務局 | 青少年事業の件, LOM 役員懇談会の件 | 3名 |
| 2. 1 | 事務局 | 拡大の件, わんぱく相撲の件 | 3名 |
| 2. 2 | 事務局 | LOM 役員懇談会の件, 拡大の件 | 3名 |
| 2. 8 | ホテルニューアワジ | LOM 役員懇談会の件, 拡大の件 | 4名 |
| 2. 9 | ホテルニューアワジ | LOM 役員懇談会の件, 拡大の件 | 4名 |
| 2. 17 | 事務局 | 拡大の件, わんぱく相撲の件 青少年事業の件 | 3名 |
| 2. 24 | 事務局 | 拡大の件, わんぱく相撲の件 青少年事業の件 | 4名 |
| 3. 3 | 事務局 | 拡大の件, わんぱく相撲の件 青少年事業の件 | 4名 |
| 3. 24 | 事務局 | 拡大の件, わんぱく相撲の件 | 4名 |
| 3. 25 | 事務局 | 拡大の件, わんぱく相撲の件 | 4名 |
| 4. 11 | 事務局 | 拡大の件, わんぱく相撲の件 | 4名 |
| 4. 27 | 事務局 | 拡大の件, わんぱく相撲の件 | 4名 |
| 5. 3 | 事務局 | 拡大の件, わんぱく相撲の件 | 5名 |
| 5. 4 | 事務局 | 拡大の件, わんぱく相撲の件 | 6名 |
| 5. 24 | 事務局 | 拡大の件, 青少年事業の件 | 3名 |
| 6. 21 | 事務局 | 拡大の件, 青少年事業の件 | 3名 |
| 7. 20 | 事務局 | 拡大の件, 青少年事業の件 | 4名 |
| 7. 21 | 事務局 | 拡大の件, 青少年事業の件 | 4名 |
| 7. 28 | 事務局 | 拡大の件, 青少年事業の件 | 2名 |
| 8. 4 | 事務局 | 拡大の件, 青少年事業の件 | 2名 |
| 8. 19 | 事務局 | 拡大の件, 青少年事業の件 | 4名 |
| 8. 23 | 事務局 | 拡大の件, 青少年事業の件 | 3名 |
| 9. 6 | 事務局 | 拡大の件, 青少年事業の件 | 5名 |
| 9. 27 | 事務局 | 拡大の件, 青少年事業の件 | 5名 |
| 10. 4 | 事務局 | 拡大の件, 青少年事業の件 | 4名 |
| 10. 14 | 事務局 | 拡大の件, 青少年事業の件 | 3名 |
| 10. 22 | 事務局 | 青少年事業の件, 11 月例会の件 | 4名 |
| 10. 24 | 事務局 | 青少年事業の件, 11 月例会の件 | 4名 |
| 10. 25 | 事務局 | 青少年事業の件, 11 月例会の件 | 3名 |

| 年月日 | 場所 | 内容 | 出席者数 |
|--------|---------|---------|------|
| 10. 27 | 洲本文化体育館 | 青少年事業の件 | 4名 |
| 10. 28 | 洲本文化体育館 | 青少年事業の件 | 6名 |
| 11. 03 | 事務局 | 11月例会の件 | 2名 |
| 11. 7 | 事務局 | 11月例会の件 | 5名 |
| 11. 8 | 事務局 | 11月例会の件 | 6名 |

事業報告

| 年月日 | 場所 | 内容 | 出席者数 |
|-------------|-----------------------|--|------------------------------------|
| 2016. 2. 10 | ホテルニューアワジ | L O M役員懇談会 | 正会員 24名 |
| 5. 5 | 津名スポーツセンター 洲本文化体育館 | 第 22 回わんぱく相撲淡路場所 | 正会員 31名 準会員 2名 |
| 10. 29 | うめ丸 | 青少年育成事業 ミライノカタチ～AMBITION of AWAJI～ | 正会員 38名 準会員 1名 淡路島島民 600名 |
| 11. 9 | | 11月例会 | 正会員 41名 準会員 2名 |

5. 委員会別事業決算明細

委員会別事業決算明細（1）

2016年1月1日～12月31日

2016年度 委員会別事業決算明細

| 2016年度 委員会別事業決算明細 | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|------|---------|---------|---------|------|---------|---------|---------|------|-----------|---------|-----------|----|
| 委員会名 | 収入の部 | | 支出の部 | | 収入の部 | | 支出の部 | | 収入の部 | | 支出の部 | | 備考 |
| | 科目 | 予算額 | 科目 | 予算額 | 科目 | 補正予算額 | 科目 | 補正予算額 | 科目 | 決算額 | 科目 | 決算額 | |
| 理事長公室 | 事業収入 | 370,000 | 会場費 賃借料 | 35,600 | 事業収入 | 386,000 | 会場費 賃借料 | 35,600 | 事業収入 | 386,000 | 会場費 賃借料 | 35,600 | |
| | | | 消耗品 | 10,800 | | | 消耗品 | 10,800 | | | 消耗品 | 10,980 | |
| | | | 食糧費 | 0 | | | 食糧費 | 0 | | | 食糧費 | 0 | |
| | | | 人件費 | 0 | | | 人件費 | 0 | | | 人件費 | 0 | |
| | | | 支払手数料 | 0 | | | 支払手数料 | 0 | | | 支払手数料 | 0 | |
| | | | 講師関係費 | 0 | | | 講師関係費 | 0 | | | 講師関係費 | 0 | |
| | | | 諸謝金 | 0 | | | 諸謝金 | 0 | | | 諸謝金 | 0 | |
| | | | 資料作成費 | 1,640 | | | 資料作成費 | 2,070 | | | 資料作成費 | 2,070 | |
| | | | 広告普及費 | 0 | | | 広告普及費 | 0 | | | 広告普及費 | 0 | |
| | | | 報告書作成費 | 820 | | | 報告書作成費 | 980 | | | 報告書作成費 | 980 | |
| | | | 旅費交通費 | 0 | | | 旅費交通費 | 0 | | | 旅費交通費 | 0 | |
| | | | 交際費 | 0 | | | 交際費 | 0 | | | 交際費 | 0 | |
| | | | 保険料 | 0 | | | 保険料 | 0 | | | 保険料 | 0 | |
| | | | 印刷製本費 | 315,000 | | | 印刷製本費 | 315,000 | | | 印刷製本費 | 315,000 | |
| | | 通信運搬費 | 0 | | | 通信運搬費 | 0 | | | 通信運搬費 | 0 | | |
| | | 支払負担金 | 0 | | | 支払負担金 | 0 | | | 支払負担金 | 0 | | |
| | | 雑費 | 0 | | | 雑費 | 0 | | | 雑費 | 0 | | |
| | | 予備費 | 6,140 | | | 予備費 | 5,550 | | | 予備費 | 0 | | |
| | 小計 | 370,000 | 小計 | 370,000 | 小計 | 386,000 | 小計 | 370,000 | 小計 | 386,000 | 小計 | 364,630 | |
| 日本遺産推進会議 | 事業収入 | 150,000 | 会場費 賃借料 | 66,000 | 事業収入 | 150,000 | 会場費 賃借料 | 66,000 | 事業収入 | 150,000 | 会場費 賃借料 | 66,000 | |
| | | | 消耗品 | 41,984 | | | 消耗品 | 41,984 | | | 消耗品 | 41,984 | |
| | | | 食糧費 | 0 | | | 食糧費 | 0 | | | 食糧費 | 0 | |
| | | | 人件費 | 0 | | | 人件費 | 0 | | | 人件費 | 0 | |
| | | | 支払手数料 | 0 | | | 支払手数料 | 0 | | | 支払手数料 | 0 | |
| | | | 講師関係費 | 36,480 | | | 講師関係費 | 7,280 | | | 講師関係費 | 7,280 | |
| | | | 諸謝金 | 0 | | | 諸謝金 | 0 | | | 諸謝金 | 0 | |
| | | | 資料作成費 | 2,666 | | | 資料作成費 | 2,666 | | | 資料作成費 | 2,666 | |
| | | | 広告普及費 | 0 | | | 広告普及費 | 0 | | | 広告普及費 | 0 | |
| | | | 報告書作成費 | 0 | | | 報告書作成費 | 0 | | | 報告書作成費 | 0 | |
| | | | 旅費交通費 | 0 | | | 旅費交通費 | 30,000 | | | 旅費交通費 | 30,000 | |
| | | | 交際費 | 0 | | | 交際費 | 0 | | | 交際費 | 0 | |
| | | | 保険料 | 0 | | | 保険料 | 0 | | | 保険料 | 0 | |
| | | | 印刷製本費 | 0 | | | 印刷製本費 | 0 | | | 印刷製本費 | 0 | |
| | | 通信運搬費 | 492 | | | 通信運搬費 | 492 | | | 通信運搬費 | 492 | | |
| | | 支払負担金 | 0 | | | 支払負担金 | 0 | | | 支払負担金 | 0 | | |
| | | 雑費 | 0 | | | 雑費 | 0 | | | 雑費 | 0 | | |
| | | 予備費 | 2,378 | | | 予備費 | 1,578 | | | 予備費 | 0 | | |
| | 小計 | 150,000 | 小計 | 150,000 | 小計 | 150,000 | 小計 | 150,000 | 小計 | 150,000 | 小計 | 148,422 | |
| 会員拡大 | 事業収入 | 139,000 | 会場費 賃借料 | 61,200 | 事業収入 | 139,000 | 会場費 賃借料 | 61,200 | 事業収入 | 139,000 | 会場費 賃借料 | 62,700 | |
| | | | 消耗品 | 16,200 | | | 消耗品 | 16,200 | | | 消耗品 | 20,520 | |
| | | | 食糧費 | 0 | | | 食糧費 | 0 | | | 食糧費 | 0 | |
| | | | 人件費 | 0 | | | 人件費 | 0 | | | 人件費 | 0 | |
| | | | 支払手数料 | 0 | | | 支払手数料 | 0 | | | 支払手数料 | 0 | |
| | | | 講師関係費 | 5,400 | | | 講師関係費 | 5,400 | | | 講師関係費 | 5,400 | |
| | | | 諸謝金 | 0 | | | 諸謝金 | 0 | | | 諸謝金 | 0 | |
| | | | 資料作成費 | 2,460 | | | 資料作成費 | 2,460 | | | 資料作成費 | 3,600 | |
| | | | 広告普及費 | 0 | | | 広告普及費 | 0 | | | 広告普及費 | 0 | |
| | | | 報告書作成費 | 0 | | | 報告書作成費 | 0 | | | 報告書作成費 | 0 | |
| | | | 旅費交通費 | 50,000 | | | 旅費交通費 | 50,000 | | | 旅費交通費 | 0 | |
| | | | 交際費 | 0 | | | 交際費 | 0 | | | 交際費 | 0 | |
| | | | 保険料 | 0 | | | 保険料 | 0 | | | 保険料 | 0 | |
| | | | 印刷製本費 | 0 | | | 印刷製本費 | 0 | | | 印刷製本費 | 0 | |
| | | 通信運搬費 | 246 | | | 通信運搬費 | 246 | | | 通信運搬費 | 164 | | |
| | | 支払負担金 | 0 | | | 支払負担金 | 0 | | | 支払負担金 | 0 | | |
| | | 雑費 | 0 | | | 雑費 | 0 | | | 雑費 | 0 | | |
| | | 予備費 | 3,494 | | | 予備費 | 3,494 | | | 予備費 | 0 | | |
| | 小計 | 139,000 | 小計 | 139,000 | 小計 | 139,000 | 小計 | 139,000 | 小計 | 139,000 | 小計 | 92,384 | |
| 会員交流 | 事業収入 | 677,000 | 会場費 賃借料 | 141,200 | 事業収入 | 677,000 | 会場費 賃借料 | 153,200 | 事業収入 | 677,000 | 会場費 賃借料 | 175,600 | |
| | | | 消耗品 | 178,000 | | | 消耗品 | 185,000 | | | 消耗品 | 196,818 | |
| | | | 食糧費 | 0 | | | 食糧費 | 0 | | | 食糧費 | 0 | |
| | | | 人件費 | 0 | | | 人件費 | 0 | | | 人件費 | 0 | |
| | | | 支払手数料 | 110,000 | | | 支払手数料 | 110,000 | | | 支払手数料 | 215,000 | |
| | | | 講師関係費 | 5,000 | | | 講師関係費 | 8,000 | | | 講師関係費 | 3,240 | |
| | | | 諸謝金 | 15,000 | | | 諸謝金 | 3,240 | | | 諸謝金 | 8,000 | |
| | | | 資料作成費 | 3,280 | | | 資料作成費 | 3,280 | | | 資料作成費 | 4,100 | |
| | | | 広告普及費 | 0 | | | 広告普及費 | 0 | | | 広告普及費 | 1,680 | |
| | | | 報告書作成費 | 0 | | | 報告書作成費 | 0 | | | 報告書作成費 | 0 | |
| | | | 旅費交通費 | 0 | | | 旅費交通費 | 0 | | | 旅費交通費 | 0 | |
| | | | 交際費 | 120,000 | | | 交際費 | 120,000 | | | 交際費 | 2,408,000 | |
| | | | 保険料 | 16,300 | | | 保険料 | 12,540 | | | 保険料 | 7,790 | |
| | | | 印刷製本費 | 3,000 | | | 印刷製本費 | 3,000 | | | 印刷製本費 | 5,400 | |
| | | 通信運搬費 | 10,825 | | | 通信運搬費 | 11,001 | | | 通信運搬費 | 12,180 | | |
| | | 支払負担金 | 1,000 | | | 支払負担金 | 1,000 | | | 支払負担金 | 1,000 | | |
| | | 雑費 | 51,578 | | | 雑費 | 49,578 | | | 雑費 | 26,600 | | |
| | | 予備費 | 21,817 | | | 予備費 | 17,161 | | | 予備費 | 0 | | |
| | 小計 | 677,000 | 小計 | 677,000 | 小計 | 677,000 | 小計 | 677,000 | 小計 | 3,080,000 | 小計 | 3,065,408 | |

| | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|-----------|---------|-----------|------|-----------|-----------|-----------|--------|-----------|---------|-----------|
| 次世代育成 | 事業収入 | 694,000 | 会場費 賃借料 | 105,000 | 事業収入 | 694,000 | 会場費 賃借料 | 58,180 | 事業収入 | 694,000 | 会場費 賃借料 | 64,180 |
| | | | 消耗品 | 26,200 | | | 消耗品 | 21,600 | | | 消耗品 | 166,850 |
| | | | 食糧費 | 0 | | | 食糧費 | 0 | | | 食糧費 | 0 |
| | | | 人件費 | 0 | | | 人件費 | 0 | | | 人件費 | 0 |
| | | | 支払手数料 | 0 | | | 支払手数料 | 0 | | | 支払手数料 | 0 |
| | | | 講師関係費 | 0 | | | 講師関係費 | 0 | | | 講師関係費 | 0 |
| | | | 諸謝金 | 0 | | | 諸謝金 | 0 | | | 諸謝金 | 0 |
| | | | 資料作成費 | 201,460 | | | 資料作成費 | 147,280 | | | 資料作成費 | 147,280 |
| | | | 広告普及費 | 0 | | | 広告普及費 | 0 | | | 広告普及費 | 0 |
| | | | 報告書作成費 | 0 | | | 報告書作成費 | 0 | | | 報告書作成費 | 0 |
| | | | 旅費交通費 | 0 | | | 旅費交通費 | 0 | | | 旅費交通費 | 0 |
| | | | 交際費 | 0 | | | 交際費 | 0 | | | 交際費 | 0 |
| | | | 保険料 | 0 | | | 保険料 | 0 | | | 保険料 | 0 |
| | | | 印刷製本費 | 342,000 | | | 印刷製本費 | 312,000 | | | 印刷製本費 | 312,000 |
| | | 通信運搬費 | 0 | | | 通信運搬費 | 0 | | | 通信運搬費 | 0 | |
| | | 支払負担金 | 0 | | | 支払負担金 | 140,000 | | | 支払負担金 | 0 | |
| | | 雑費 | 0 | | | 雑費 | 0 | | | 雑費 | 0 | |
| | | 予備費 | 19,340 | | | 予備費 | 14,940 | | | 予備費 | 0 | |
| | 小計 | 694,000 | 小計 | 694,000 | | 小計 | 694,000 | | 小計 | 694,000 | 小計 | 690,310 |
| 未来創造 | 事業収入 | 1,092,000 | 会場費 賃借料 | 370,480 | 事業収入 | 1,092,000 | 会場費 賃借料 | 331,480 | 事業収入 | 1,092,000 | 会場費 賃借料 | 55,080 |
| | 助成金 | 0 | 消耗品 | 190,800 | 助成金 | 200,000 | 消耗品 | 136,660 | 助成金 | 200,000 | 消耗品 | 86,750 |
| | | | 食糧費 | 65,000 | | | 食糧費 | 44,580 | | | 食糧費 | 14,580 |
| | | | 人件費 | 0 | | | 人件費 | 0 | | | 人件費 | 0 |
| | | | 支払手数料 | 0 | | | 支払手数料 | 0 | | | 支払手数料 | 20,000 |
| | | | 講師関係費 | 0 | | | 講師関係費 | 0 | | | 講師関係費 | 0 |
| | | | 諸謝金 | 150,000 | | | 諸謝金 | 0 | | | 諸謝金 | 0 |
| | | | 資料作成費 | 2,870 | | | 資料作成費 | 2,870 | | | 資料作成費 | 2,460 |
| | | | 広告普及費 | 164,480 | | | 広告普及費 | 694,980 | | | 広告普及費 | 720,980 |
| | | | 報告書作成費 | 0 | | | 報告書作成費 | 10,000 | | | 報告書作成費 | 10,000 |
| | | | 旅費交通費 | 50,000 | | | 旅費交通費 | 0 | | | 旅費交通費 | 0 |
| | | | 交際費 | 0 | | | 交際費 | 0 | | | 交際費 | 0 |
| | | | 保険料 | 60,000 | | | 保険料 | 16,200 | | | 保険料 | 6,200 |
| | | | 印刷製本費 | 0 | | | 印刷製本費 | 0 | | | 印刷製本費 | 0 |
| | | 通信運搬費 | 2,378 | | | 通信運搬費 | 1,886 | | | 通信運搬費 | 1,886 | |
| | | 支払負担金 | 10,000 | | | 支払負担金 | 10,000 | | | 支払負担金 | 291,000 | |
| | | 雑費 | 15,500 | | | 雑費 | 10,000 | | | 雑費 | 0 | |
| | | 予備費 | 10,492 | | | 予備費 | 33,344 | | | 予備費 | 0 | |
| | 小計 | 1,092,000 | 小計 | 1,092,000 | | 小計 | 1,292,000 | | 小計 | 1,292,000 | 小計 | 1,208,936 |
| 全体 | 事業収入 | 3,122,000 | 会場費 賃借料 | 779,480 | 事業収入 | 3,138,000 | 会場費 賃借料 | 705,660 | 事業収入 | 3,138,000 | 会場費 賃借料 | 459,160 |
| | 助成金 | 0 | 消耗品 | 463,984 | 助成金 | 200,000 | 消耗品 | 412,244 | 助成金 | 200,000 | 消耗品 | 523,902 |
| | | | 食糧費 | 65,000 | | 登録料 | 0 | 食糧費 | 44,580 | | 登録料 | 2,403,000 |
| | | | 人件費 | 0 | | | 人件費 | 0 | | | 人件費 | 0 |
| | | | 支払手数料 | 110,000 | | | 支払手数料 | 110,000 | | | 支払手数料 | 235,000 |
| | | | 講師関係費 | 46,880 | | | 講師関係費 | 20,680 | | | 講師関係費 | 15,920 |
| | | | 諸謝金 | 165,000 | | | 諸謝金 | 3,240 | | | 諸謝金 | 8,000 |
| | | | 資料作成費 | 214,376 | | | 資料作成費 | 160,626 | | | 資料作成費 | 162,176 |
| | | | 広告普及費 | 164,480 | | | 広告普及費 | 694,980 | | | 広告普及費 | 722,660 |
| | | | 報告書作成費 | 820 | | | 報告書作成費 | 10,980 | | | 報告書作成費 | 10,980 |
| | | | 旅費交通費 | 100,000 | | | 旅費交通費 | 80,000 | | | 旅費交通費 | 30,000 |
| | | | 交際費 | 120,000 | | | 交際費 | 120,000 | | | 交際費 | 2,408,000 |
| | | | 保険料 | 76,300 | | | 保険料 | 28,740 | | | 保険料 | 13,990 |
| | | | 印刷製本費 | 660,000 | | | 印刷製本費 | 630,000 | | | 印刷製本費 | 632,400 |
| | | 通信運搬費 | 13,941 | | | 通信運搬費 | 13,625 | | | 通信運搬費 | 14,722 | |
| | | 支払負担金 | 11,000 | | | 支払負担金 | 151,000 | | | 支払負担金 | 292,000 | |
| | | 雑費 | 67,078 | | | 雑費 | 59,578 | | | 雑費 | 26,600 | |
| | | 予備費 | 63,661 | | | 予備費 | 76,067 | | | 予備費 | 0 | |
| | 合計 | 3,122,000 | 合計 | 3,122,000 | 合計 | 3,338,000 | 合計 | 3,322,000 | 合計 | 5,741,000 | 合計 | 5,570,090 |

委員会別事業決算明細(2)

2016年1月1日~12月31日

2016年度 理事長公室事業決算明細

| 2016年度 理事長公室事業決算明細 | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------------|----------------|--|
| 委員会名 | 事業名称 | 科目 | 収入の部 | 支出の部 | 収入の部 | 支出の部 | 収入の部 | 支出の部 | 備考 | | |
| | | | 予算額 | 予算額 | 補正予算額 | 補正予算額 | 決算額 | 決算額 | | | |
| 理事長公室 | 役員名簿及び名刺の作成 | 事業収入 | 320,000 | | 320,000 | | 320,000 | | | | |
| | | 小計 | 320,000 | | 320,000 | | 320,000 | | | | |
| | | 会場費 賃借料 | | | | | | | | | |
| | | 消耗品 | | | | | | | | | |
| | | 食糧費 | | | | | | | | | |
| | | 人件費 | | | | | | | | | |
| | | 支払手数料 | | | | | | | | | |
| | | 講師関係費 | | | | | | | | | |
| | | 諸謝金 | | | | | | | | | |
| | | 資料作成費 | | | | | | | | | |
| | | 広告普及費 | | | | | | | | | |
| | | 報告書作成費 | | | | | | | | | |
| | | 旅費交通費 | | | | | | | | | |
| | | 交際費 | | | | | | | | | |
| | | 保険料 | | | | | | | | | |
| | | 印刷製本費 | | 315,000 | | 315,000 | | 315,000 | | | |
| | 通信運搬費 | | | | | | | | | | |
| | 支払負担金 | | | | | | | | | | |
| | 雑費 | | | | | | | | | | |
| | 子備費 | | 5,000 | | 5,000 | | 5,000 | | | | |
| | 小計 | | 320,000 | | 320,000 | | 320,000 | | 315,000 | | |
| | 合計 | | 320,000 | 320,000 | 320,000 | 320,000 | 320,000 | 320,000 | 315,000 | 5,000 事業費に繰り戻す | |
| | 事業収入 | | 21,000 | | 21,000 | | 21,000 | | 21,000 | | |
| | 小計 | | 21,000 | | 21,000 | | 21,000 | | 21,000 | | |
| | 会場費 賃借料 | | | 14,000 | | 14,000 | | 14,000 | | 14,000 | |
| | 消耗品 | | | 5,400 | | 5,400 | | 5,400 | | 5,400 | |
| | 食糧費 | | | | | | | | | | |
| | 人件費 | | | | | | | | | | |
| | 支払手数料 | | | | | | | | | | |
| | 講師関係費 | | | | | | | | | | |
| | 諸謝金 | | | | | | | | | | |
| | 資料作成費 | | 820 | | | 1,250 | | 1,250 | | 1,250 | |
| | 広告普及費 | | | | | | | | | | |
| | 報告書作成費 | | | | | | | | | | |
| | 旅費交通費 | | | | | | | | | | |
| | 交際費 | | | | | | | | | | |
| | 保険料 | | | | | | | | | | |
| | 印刷製本費 | | | | | | | | | | |
| | 通信運搬費 | | | | | | | | | | |
| | 支払負担金 | | | | | | | | | | |
| 雑費 | | | | | | | | | | | |
| 子備費 | | | 780 | | 350 | | | | | | |
| 小計 | | | 21,000 | | 21,000 | | | 20,650 | | | |
| 合計 | | 21,000 | 21,000 | 21,000 | 21,000 | 21,000 | 21,000 | 20,650 | 350 事業費に繰り戻す | | |
| 事業収入 | | 28,000 | | 28,000 | | 28,000 | | 28,000 | | | |
| 小計 | | 28,000 | | 28,000 | | 28,000 | | 28,000 | | | |
| 会場費 賃借料 | | | 21,600 | | 21,600 | | 21,600 | | 21,600 | | |
| 消耗品 | | | 5,400 | | 5,400 | | 5,400 | | 5,580 | | |
| 食糧費 | | | | | | | | | | | |
| 人件費 | | | | | | | | | | | |
| 支払手数料 | | | | | | | | | | | |
| 講師関係費 | | | | | | | | | | | |
| 諸謝金 | | | | | | | | | | | |
| 資料作成費 | | 820 | | 820 | | 820 | | 820 | | | |
| 広告普及費 | | | | | | | | | | | |
| 報告書作成費 | | | | | | | | | | | |
| 旅費交通費 | | | | | | | | | | | |
| 交際費 | | | | | | | | | | | |
| 保険料 | | | | | | | | | | | |
| 印刷製本費 | | | | | | | | | | | |
| 通信運搬費 | | | | | | | | | | | |
| 支払負担金 | | | | | | | | | | | |
| 雑費 | | | | | | | | | | | |
| 子備費 | | | 180 | | 180 | | | | | | |
| 小計 | | | 28,000 | | 28,000 | | | 28,000 | | | |
| 合計 | | 28,000 | 28,000 | 28,000 | 28,000 | 28,000 | 28,000 | 28,000 | 0 | | |
| 事業収入 | | 1,000 | | 1,000 | | 1,000 | | 1,000 | | | |
| 小計 | | 1,000 | | 1,000 | | 1,000 | | 1,000 | | | |
| 会場費 賃借料 | | | | | | | | | | | |
| 消耗品 | | | | | | | | | | | |
| 食糧費 | | | | | | | | | | | |
| 人件費 | | | | | | | | | | | |
| 支払手数料 | | | | | | | | | | | |
| 講師関係費 | | | | | | | | | | | |
| 諸謝金 | | | | | | | | | | | |
| 資料作成費 | | | | | | | | | | | |
| 広告普及費 | | | | | | | | | | | |
| 報告書作成費 | | 820 | | 980 | | 980 | | 980 | | | |
| 旅費交通費 | | | | | | | | | | | |
| 交際費 | | | | | | | | | | | |
| 保険料 | | | | | | | | | | | |
| 印刷製本費 | | | | | | | | | | | |
| 通信運搬費 | | | | | | | | | | | |
| 支払負担金 | | | | | | | | | | | |
| 雑費 | | | | | | | | | | | |
| 子備費 | | | 180 | | 20 | | | | | | |
| 小計 | | | 1,000 | | 1,000 | | | 980 | | | |
| 合計 | | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 980 | 20 事業費に繰り戻す | | |
| 総合計 | | 370,000 | 370,000 | 370,000 | 370,000 | 370,000 | 370,000 | 364,630 | | | |

2016年度 日本遺産推進会議事業決算明細

| 委員会名 | 事業名称 | 科目 | 収入の部 | 支出の部 | 収入の部 | 支出の部 | 収入の部 | 支出の部 | 備考 |
|----------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------------|--------------|
| | | | 予算額 | 予算額 | 補正予算額 | 補正予算額 | 決算額 | 決算額 | |
| 日本遺産推進会議 | 1月例会 | 事業収入 | 85,000 | | 85,000 | | 85,000 | | |
| | | 小計 | 85,000 | | 85,000 | | 85,000 | | |
| | | 会場費 賃借料 | | 50,000 | | 50,000 | | 50,000 | |
| | | 消耗品 | | 32,264 | | 32,264 | | 32,264 | |
| | | 食糧費 | | | | | | | |
| | | 人件費 | | | | | | | |
| | | 支払手数料 | | | | | | | |
| | | 講師関係費 | | | | | | | |
| | | 謝礼金 | | | | | | | |
| | | 資料作成費 | | 1,846 | | 1,846 | | 1,846 | |
| | | 広告普及費 | | | | | | | |
| | | 報告書作成費 | | | | | | | |
| | | 旅費交通費 | | | | | | | |
| | | 交際費 | | | | | | | |
| | | 保険料 | | | | | | | |
| | 印刷製本費 | | | | | | | | |
| | 通信運搬費 | | | | | | | | |
| | 支払負担金 | | | | | | | | |
| | 雑費 | | | | | | | | |
| | 予備費 | | 890 | | 890 | | | | |
| | 小計 | | 85,000 | | 85,000 | | 84,110 | | |
| | 合計 | | 85,000 | 85,000 | 85,000 | 85,000 | 85,000 | 84,110 | 890 事業費に繰り戻す |
| | 3月例会 | 事業収入 | 65,000 | | 65,000 | | 65,000 | | |
| | | 小計 | 65,000 | | 65,000 | | 65,000 | | |
| | | 会場費 賃借料 | | 16,000 | | 16,000 | | 16,000 | |
| | | 消耗品 | | 9,720 | | 9,720 | | 9,720 | |
| | | 食糧費 | | | | | | | |
| 人件費 | | | | | | | | | |
| 支払手数料 | | | | | | | | | |
| 講師関係費 | | | 36,480 | | 7,280 | | 7,280 | | |
| 謝礼金 | | | | | | | | | |
| 資料作成費 | | | 820 | | 820 | | 820 | | |
| 広告普及費 | | | | | | | | | |
| 報告書作成費 | | | | | | | | | |
| 旅費交通費 | | | | | 30,000 | 30,000 | | | |
| 交際費 | | | | | | | | | |
| 保険料 | | | | | | | | | |
| 印刷製本費 | | | | | | | | | |
| 通信運搬費 | | 492 | | 492 | | 492 | | | |
| 支払負担金 | | | | | | | | | |
| 雑費 | | | | | | | | | |
| 予備費 | | 1,488 | | 688 | | | | | |
| 小計 | | 65,000 | | 65,000 | | 64,312 | | | |
| 合計 | | 65,000 | 65,000 | 65,000 | 65,000 | 65,000 | 64,312 | 688 事業費に繰り戻す | |
| 総合計 | | 150,000 | 150,000 | 150,000 | 150,000 | 150,000 | 148,422 | | |

2016年度 会員拡大委員会事業決算明細

| 委員会名 | 事業名称 | 科目 | 収入の部 | 支出の部 | 収入の部 | 支出の部 | 収入の部 | 支出の部 | | 備考 |
|----------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|----------|-----|----------|
| | | | 予算額 | 予算額 | 補正予算額 | 補正予算額 | 決算額 | 決算額 | | |
| 会員拡大委員会 | 前期候補者説明会 | 事業収入 | 28,500 | | 28,500 | | 28,500 | | | |
| | | 小計 | 28,500 | | 28,500 | | 28,500 | | | |
| | | 会場費 賃借料 | | 21,600 | | 21,600 | | 21,600 | | |
| | | 消耗品 | | 5,400 | | 5,400 | | 5,400 | | |
| | | 食糧費 | | | | | | | | |
| | | 人件費 | | | | | | | | |
| | | 支払手数料 | | | | | | | | |
| | | 講師関係費 | | | | | | | | |
| | | 諸謝金 | | | | | | | | |
| | | 資料作成費 | | 820 | | 820 | | 820 | | |
| | | 広告普及費 | | | | | | | | |
| | | 報告書作成費 | | | | | | | | |
| | | 旅費交通費 | | | | | | | | |
| | | 交際費 | | | | | | | | |
| | 保険料 | | | | | | | | | |
| | 印刷製本費 | | | | | | | | | |
| | 通信運搬費 | | | | | | | | | |
| | 支払負担金 | | | | | | | | | |
| | 雑費 | | | | | | | | | |
| | 予備費 | | 680 | | 680 | | 680 | | | |
| | 小計 | | 28,500 | 28,500 | 28,500 | 28,500 | 27,820 | | | |
| | 合計 | | 28,500 | 28,500 | 28,500 | 28,500 | 28,500 | 27,820 | 680 | 事業費に繰り戻す |
| | 6月例会 | 事業収入 | 82,000 | | 82,000 | | 82,000 | | | |
| | | 小計 | 82,000 | | 82,000 | | 82,000 | | | |
| | | 会場費 賃借料 | | 18,000 | | 19,500 | | 19,500 | | |
| | | 消耗品 | | 5,400 | | 9,720 | | 9,720 | | |
| | | 食糧費 | | | | | | | | |
| | | 人件費 | | | | | | | | |
| | | 支払手数料 | | | | | | | | |
| | | 講師関係費 | | 5,400 | | 5,400 | | 5,400 | | |
| | | 諸謝金 | | | | | | | | |
| | | 資料作成費 | | 820 | | 1,960 | | 1,960 | | |
| | | 広告普及費 | | | | | | | | |
| 報告書作成費 | | | | | | | | | | |
| 旅費交通費 | | | 50,000 | | | | | | | |
| 交際費 | | | | | | | | | | |
| 保険料 | | | | | | | | | | |
| 印刷製本費 | | | | | 164 | | 164 | | | |
| 通信運搬費 | | 246 | | | | | | | | |
| 支払負担金 | | | | | | | | | | |
| 雑費 | | | | | | | | | | |
| 予備費 | | 2,134 | | 45,256 | | | | | | |
| 小計 | | 82,000 | 82,000 | 82,000 | 82,000 | 36,744 | | | | |
| 合計 | | 82,000 | 82,000 | 82,000 | 82,000 | 36,744 | 45,256 | 事業費に繰り戻す | | |
| 後期候補者説明会 | 事業収入 | 28,500 | | 28,500 | | 28,500 | | | | |
| | 小計 | 28,500 | | 28,500 | | 28,500 | | | | |
| | 会場費 賃借料 | | 21,600 | | 21,600 | | 21,600 | | | |
| | 消耗品 | | 5,400 | | 5,400 | | 5,400 | | | |
| | 食糧費 | | | | | | | | | |
| | 人件費 | | | | | | | | | |
| | 支払手数料 | | | | | | | | | |
| | 講師関係費 | | | | | | | | | |
| | 諸謝金 | | | | | | | | | |
| | 資料作成費 | | 820 | | 820 | | 820 | | | |
| | 広告普及費 | | | | | | | | | |
| | 報告書作成費 | | | | | | | | | |
| | 旅費交通費 | | | | | | | | | |
| | 交際費 | | | | | | | | | |
| 保険料 | | | | | | | | | | |
| 印刷製本費 | | | | | | | | | | |
| 通信運搬費 | | | | | | | | | | |
| 支払負担金 | | | | | | | | | | |
| 雑費 | | | | | | | | | | |
| 予備費 | | 680 | | 680 | | 680 | | | | |
| 小計 | | 28,500 | 28,500 | 28,500 | 28,500 | 27,820 | | | | |
| 合計 | | 28,500 | 28,500 | 28,500 | 28,500 | 27,820 | 680 | 事業費に繰り戻す | | |
| 総合計 | | 139,000 | 139,000 | 139,000 | 139,000 | 139,000 | 92,384 | | | |

2016年度 会員交流委員会事業決算明細

| 委員会名 | 事業名称 | 科目 | 収入の部 | 支出の部 | 収入の部 | 支出の部 | 収入の部 | 支出の部 | 備考 |
|------|------|---------|---------|---------|---------|-----------|-----------|-------|-----------|
| | | | 予算額 | 予算額 | 補正予算額 | 補正予算額 | 決算額 | 決算額 | |
| 委員会名 | 事業名称 | 事業収入 | 250,000 | | 250,000 | | 250,000 | | |
| | | 登録料 | | | | | 1,500,000 | | |
| | | 小計 | 250,000 | | 250,000 | | 1,750,000 | | |
| | | 会場費 賃借料 | | 43,200 | | | 43,200 | | 43,200 |
| | | 消耗品 | | 141,800 | | | 141,800 | | 110,354 |
| | | 食糧費 | | | | | | | |
| | | 人件費 | | | | | | | |
| | | 支払手数料 | | 30,000 | | | 30,000 | | 80,000 |
| | | 講師関係費 | | | | | | | |
| | | 諸謝金 | | | | | | | |
| | | 資料作成費 | | | | | | | |
| | | 広告普及費 | | | | | | | 1,680 |
| | | 報告書作成費 | | | | | | | |
| | | 旅費交通費 | | | | | | | |
| | | 交際費 | | | | | | | 1,500,000 |
| | | 保険料 | | | | | | | |
| | | 印刷製本費 | | | | | | | |
| | | 通信運搬費 | | 6,145 | | | 6,145 | | 5,080 |
| | | 支払負担金 | | | | | | | |
| | | 雑費 | | 21,578 | | | 21,578 | | 3,600 |
| 予備費 | | 7,277 | | | 7,277 | | | | |
| 小計 | | 250,000 | 250,000 | | 250,000 | | 1,743,914 | | |
| 合計 | | 250,000 | 250,000 | 250,000 | 250,000 | 1,750,000 | 1,743,914 | 6,086 | 事業費に繰り戻す |
| 委員会名 | 事業名称 | 事業収入 | 21,000 | | 21,000 | | 21,000 | | |
| | | 小計 | 21,000 | | 21,000 | | 21,000 | | |
| | | 会場費 賃借料 | | 14,000 | | | 14,000 | | 14,000 |
| | | 消耗品 | | 5,400 | | | 5,400 | | 5,400 |
| | | 食糧費 | | | | | | | |
| | | 人件費 | | | | | | | |
| | | 支払手数料 | | | | | | | |
| | | 講師関係費 | | | | | | | |
| | | 諸謝金 | | | | | | | |
| | | 資料作成費 | | 820 | | | 820 | | 820 |
| | | 広告普及費 | | | | | | | |
| | | 報告書作成費 | | | | | | | |
| | | 旅費交通費 | | | | | | | |
| | | 交際費 | | | | | | | |
| | | 保険料 | | | | | | | |
| | | 印刷製本費 | | | | | | | |
| | | 通信運搬費 | | | | | | | |
| | | 支払負担金 | | | | | | | |
| | | 雑費 | | | | | | | |
| | | 予備費 | | 780 | | | 780 | | |
| 小計 | | 21,000 | 21,000 | | 21,000 | | 20,220 | | |
| 合計 | | 21,000 | 21,000 | 21,000 | 21,000 | 21,000 | 20,220 | 780 | 事業費に繰り戻す |
| 委員会名 | 事業名称 | 事業収入 | 57,000 | | 57,000 | | 57,000 | | |
| | | 小計 | 57,000 | | 57,000 | | 57,000 | | |
| | | 会場費 賃借料 | | 20,000 | | | 32,000 | | 32,000 |
| | | 消耗品 | | 5,400 | | | 5,400 | | 5,400 |
| | | 食糧費 | | | | | | | |
| | | 人件費 | | | | | | | |
| | | 支払手数料 | | | | | | | |
| | | 講師関係費 | | 5,000 | | | 8,000 | | 3,240 |
| | | 諸謝金 | | 15,000 | | | 3,240 | | 8,000 |
| | | 資料作成費 | | 820 | | | 820 | | 820 |
| | | 広告普及費 | | | | | | | |
| | | 報告書作成費 | | | | | | | |
| | | 旅費交通費 | | | | | | | |
| | | 交際費 | | | | | | | |
| | | 保険料 | | 9,180 | | | 5,040 | | 5,040 |
| | | 印刷製本費 | | | | | | | |
| | | 通信運搬費 | | | | | 82 | | 82 |
| | | 支払負担金 | | | | | | | |
| | | 雑費 | | | | | | | |
| | | 予備費 | | 1,600 | | | 2,418 | | |
| 小計 | | 57,000 | 57,000 | | 57,000 | | 54,582 | | |
| 合計 | | 57,000 | 57,000 | 57,000 | 57,000 | 57,000 | 54,582 | 2,418 | 事業費に繰り戻す |
| 委員会名 | 事業名称 | 事業収入 | 160,000 | | 160,000 | | 160,000 | | |
| | | 登録料 | | | | | 426,000 | | |
| | | 小計 | 160,000 | | 160,000 | | 586,000 | | |
| | | 会場費 賃借料 | | 20,000 | | | 20,000 | | 20,000 |
| | | 消耗品 | | 20,000 | | | 27,000 | | 27,000 |
| | | 食糧費 | | | | | | | |
| | | 人件費 | | | | | | | |
| | | 支払手数料 | | 80,000 | | | 80,000 | | 80,000 |
| | | 講師関係費 | | | | | | | |
| | | 諸謝金 | | | | | | | |
| | | 資料作成費 | | 820 | | | 820 | | 820 |
| | | 広告普及費 | | | | | | | |
| | | 報告書作成費 | | | | | | | |
| | | 旅費交通費 | | | | | | | |
| | | 交際費 | | | | | | | 426,000 |
| | | 保険料 | | 7,120 | | | 7,500 | | 2,750 |
| | | 印刷製本費 | | | | | | | |
| | | 通信運搬費 | | 480 | | | 574 | | 656 |
| | | 支払負担金 | | 1,000 | | | 1,000 | | 1,000 |
| | | 雑費 | | 25,000 | | | 23,000 | | 23,000 |
| 予備費 | | 5,580 | | | 106 | | | | |
| 小計 | | 160,000 | 160,000 | | 160,000 | | 581,226 | | |
| 合計 | | 160,000 | 160,000 | 160,000 | 160,000 | 586,000 | 581,226 | 4,774 | 事業費に繰り戻す |

| | | | | | | | | | | |
|--|-------|---------|---------|---------|---------|-----------|-----------|---------|----------|--|
| | | 事業収入 | 21,000 | | 21,000 | | 21,000 | | | |
| | | 小計 | 21,000 | | 21,000 | | 21,000 | | | |
| | 9月例会 | 会場費 賃借料 | | 14,000 | | 14,000 | | 14,000 | | |
| | | 消耗品 | | 5,400 | | 5,400 | | 5,400 | | |
| | | 食糧費 | | | | | | | | |
| | | 人件費 | | | | | | | | |
| | | 支払手数料 | | | | | | | | |
| | | 講師関係費 | | | | | | | | |
| | | 諸謝金 | | | | | | | | |
| | | 資料作成費 | | 820 | | 820 | | 820 | | |
| | | 広告普及費 | | | | | | | | |
| | | 報告書作成費 | | | | | | | | |
| | | 旅費交通費 | | | | | | | | |
| | | 交際費 | | | | | | | | |
| | | 保険料 | | | | | | | | |
| | | 印刷製本費 | | | | | | | | |
| | | 通信運搬費 | | | | | | | 246 | |
| | | 支払員税金 | | | | | | | | |
| | | 雑費 | | | | | | | | |
| | 予備費 | | 780 | | 780 | | | | | |
| | 小計 | | 21,000 | | 21,000 | | 20,466 | | | |
| | 合計 | 21,000 | 21,000 | 21,000 | 21,000 | 21,000 | 20,466 | 534 | 事業費に繰り戻す | |
| | 家族忘年会 | 事業収入 | 168,000 | | 168,000 | | 168,000 | | | |
| | | 登録料 | | | | | 477,000 | | | |
| | | 小計 | 168,000 | | 168,000 | | 645,000 | | | |
| | | 会場費 賃借料 | | 30,000 | | 30,000 | | 52,400 | | |
| | | 消耗品 | | | | | | 43,264 | | |
| | | 食糧費 | | | | | | | | |
| | | 人件費 | | | | | | | | |
| | | 支払手数料 | | | | | | 55,000 | | |
| | | 講師関係費 | | | | | | | | |
| | | 諸謝金 | | | | | | | | |
| | | 資料作成費 | | | | | | 820 | | |
| | | 広告普及費 | | | | | | | | |
| | | 報告書作成費 | | | | | | | | |
| | | 旅費交通費 | | | | | | | | |
| | | 交際費 | | 120,000 | | 120,000 | | 482,000 | | |
| | | 保険料 | | | | | | | | |
| | | 印刷製本費 | | 3,000 | | 3,000 | | 5,400 | | |
| | | 通信運搬費 | | 4,200 | | 4,200 | | 6,116 | | |
| | | 支払員税金 | | | | | | | | |
| | | 雑費 | | 5,000 | | 5,000 | | | | |
| | 予備費 | | 5,800 | | 5,800 | | | | | |
| | 小計 | | 168,000 | | 168,000 | | 645,000 | | | |
| | 合計 | 168,000 | 168,000 | 168,000 | 168,000 | 645,000 | 645,000 | | | |
| | 総合計 | 677,000 | 677,000 | 677,000 | 677,000 | 3,080,000 | 3,065,408 | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|--|
| | | 事業収入 | 148,000 | | 148,000 | | 148,000 | | |
| | | 小計 | 148,000 | | 148,000 | | 148,000 | | |
| | ホームページ作成 | 会場費 賃借料 | | | | | | | |
| | | 消耗品 | | | | | | 4,000 | |
| | | 食糧費 | | | | | | | |
| | | 人件費 | | | | | | | |
| | | 支払手数料 | | | | | | | |
| | | 講師関係費 | | | | | | | |
| | | 諸謝金 | | | | | | | |
| | | 資料作成費 | | 144,000 | | 144,000 | | 144,000 | |
| | | 広告普及費 | | | | | | | |
| | | 報告書作成費 | | | | | | | |
| | | 旅費交通費 | | | | | | | |
| | | 交際費 | | | | | | | |
| | | 保険料 | | | | | | | |
| | | 印刷製本費 | | | | | | | |
| | 通信運搬費 | | | | | | | | |
| | 支払負担金 | | | | | | | | |
| | 雑費 | | | | | | | | |
| | 予備費 | | 4,000 | | 4,000 | | | | |
| | 小計 | | 148,000 | | 148,000 | | 148,000 | | |
| | 合計 | | 148,000 | 148,000 | 148,000 | 148,000 | 148,000 | 0 | |
| | 次世代育成事業 | 事業収入 | 150,000 | | 150,000 | | 150,000 | | |
| | | 小計 | 150,000 | | 150,000 | | 150,000 | | |
| | | 会場費 賃借料 | | 50,000 | | 3,180 | | 9,180 | |
| | | 消耗品 | | 10,000 | | 5,400 | | 138,650 | |
| | | 食糧費 | | | | | | | |
| | | 人件費 | | | | | | | |
| | | 支払手数料 | | | | | | | |
| | | 講師関係費 | | | | | | | |
| | | 諸謝金 | | | | | | | |
| | | 資料作成費 | | 55,000 | | 820 | | 820 | |
| | | 広告普及費 | | | | | | | |
| | | 報告書作成費 | | | | | | | |
| | | 旅費交通費 | | | | | | | |
| | | 交際費 | | | | | | | |
| | | 保険料 | | | | | | | |
| | | 印刷製本費 | | 30,000 | | | | | |
| | | 通信運搬費 | | | | | | | |
| | | 支払負担金 | | | | 140,000 | | | |
| | | 雑費 | | | | | | | |
| | 予備費 | | 5,000 | | 600 | | | | |
| | 小計 | | 150,000 | | 150,000 | | 148,650 | | |
| | 合計 | | 150,000 | 150,000 | 150,000 | 150,000 | 148,650 | 1,350 | |
| | 総合計 | | 694,000 | 694,000 | 694,000 | 694,000 | 690,310 | 事業費に繰り戻す | |

2016年度 未来創造委員会事業決算明細

| 委員会名 | 事業名称 | 科目 | 収入の部 | 支出の部 | 収入の部 | 支出の部 | 収入の部 | 支出の部 | 備考 | |
|---------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|----------|----------|
| | | | 予算額 | 予算額 | 補正予算額 | 補正予算額 | 決算額 | 決算額 | | |
| 未来創造委員会 | 兵庫ブロック公式訪問 | 事業収入 | 63,000 | | 63,000 | | 63,000 | | | |
| | | 小計 | 63,000 | | 63,000 | | 63,000 | | | |
| | | 会場費 賃借料 | | 32,400 | | 32,400 | | 32,400 | | |
| | | 消耗品 | | 10,800 | | 10,800 | | 10,800 | | |
| | | 食糧費 | | 15,000 | | 14,580 | | 14,580 | | |
| | | 人件費 | | | | | | | | |
| | | 支払手数料 | | | | | | | | |
| | | 講師関係費 | | | | | | | | |
| | | 諸謝金 | | | | | | | | |
| | | 資料作成費 | 820 | | 820 | | 820 | | | |
| | | 広告普及費 | | | | | | | | |
| | | 報告書作成費 | | | | | | | | |
| | | 旅費交通費 | | | | | | | | |
| | | 交際費 | | | | | | | | |
| | | 保険料 | | | | | | | | |
| | 印刷製本費 | | | | | | | | | |
| | 通信運搬費 | 1,968 | | 1,476 | | 1,476 | | 1,476 | | |
| | 支払負担金 | | | | | | | | | |
| | 雑費 | | | | | | | | | |
| | 予備費 | 2,012 | | 2,924 | | 2,924 | | | | |
| | 小計 | 63,000 | | 63,000 | | 63,000 | | 60,076 | | |
| | 合計 | 63,000 | 63,000 | 63,000 | 63,000 | 63,000 | 63,000 | 60,076 | 2,924 | 事業費に繰り戻す |
| | わんぱく相撲浜路場所 | 事業収入 | 129,000 | | 129,000 | | 129,000 | | | |
| | | 小計 | 129,000 | | 129,000 | | 129,000 | | | |
| | | 会場費 賃借料 | | 10,000 | | | | | | |
| | | 消耗品 | | 10,000 | | 12,660 | | 12,660 | | |
| | | 食糧費 | | 20,000 | | | | | | |
| | | 人件費 | | | | | | | | |
| | | 支払手数料 | | | | | | | | |
| | | 講師関係費 | | | | | | | | |
| | | 諸謝金 | | | | | | | | |
| | | 資料作成費 | 410 | | 410 | | 410 | | 410 | |
| | | 広告普及費 | 64,480 | | 94,480 | | 94,480 | | 94,480 | |
| 報告書作成費 | | | | | | | | | | |
| 旅費交通費 | | | | | | | | | | |
| 交際費 | | | | | | | | | | |
| 保険料 | | 10,000 | | 6,200 | | 6,200 | | 6,200 | | |
| 印刷製本費 | | | | | | | | | | |
| 通信運搬費 | 410 | | 410 | | 410 | | 410 | | | |
| 支払負担金 | 10,000 | | 10,000 | | 10,000 | | 10,000 | | | |
| 雑費 | 500 | | | | | | | | | |
| 予備費 | 3,200 | | 4,840 | | 4,840 | | | | | |
| 小計 | 129,000 | | 129,000 | | 129,000 | | 124,160 | | | |
| 合計 | 129,000 | 129,000 | 129,000 | 129,000 | 129,000 | 129,000 | 124,160 | 4,840 | 事業費に繰り戻す | |
| 青少年育成事業 | 事業収入 | 800,000 | | 800,000 | | 800,000 | | | | |
| | 助成金 | | | 200,000 | | 200,000 | | | | |
| | 小計 | 800,000 | | 1,000,000 | | 1,000,000 | | | | |
| | 会場費 賃借料 | | 300,000 | | 271,000 | | 271,000 | | | |
| | 消耗品 | | 100,000 | | 43,200 | | 40,800 | | | |
| | 食糧費 | | 30,000 | | 30,000 | | 30,000 | | | |
| | 人件費 | | | | | | | | | |
| | 支払手数料 | | | | | | | | | |
| | 講師関係費 | | | | | | | | | |
| | 諸謝金 | 150,000 | | | | | | | | |
| | 資料作成費 | 820 | | 820 | | 820 | | 820 | | |
| | 広告普及費 | 100,000 | | 600,500 | | 599,500 | | 599,500 | | |
| | 報告書作成費 | | | 10,000 | | 10,000 | | 10,000 | | |
| | 旅費交通費 | 50,000 | | | | | | | | |
| | 交際費 | | | | | | | | | |
| 保険料 | 50,000 | | 10,000 | | 10,000 | | 10,000 | | | |
| 印刷製本費 | | | | | | | | | | |
| 通信運搬費 | | | | | | | | | | |
| 支払負担金 | | | | | | | 281,000 | | | |
| 雑費 | 15,000 | | 10,000 | | 10,000 | | 10,000 | | | |
| 予備費 | 4,180 | | 24,480 | | 24,480 | | | | | |
| 小計 | 800,000 | | 1,000,000 | | 1,000,000 | | 932,120 | | | |
| 合計 | 800,000 | 800,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | 932,120 | 67,880 | 事業費に繰り戻す | |
| 11月例会 | 事業収入 | 100,000 | | 100,000 | | 100,000 | | | | |
| | 小計 | 100,000 | | 100,000 | | 100,000 | | | | |
| | 会場費 賃借料 | | 28,080 | | 28,080 | | 22,680 | | | |
| | 消耗品 | | 70,000 | | 70,000 | | 22,490 | | | |
| | 食糧費 | | | | | | | | | |
| | 人件費 | | | | | | | | | |
| | 支払手数料 | | | | | | | 20,000 | | |
| | 講師関係費 | | | | | | | | | |
| | 諸謝金 | | | | | | | | | |
| | 資料作成費 | 820 | | 820 | | 820 | | 410 | | |
| | 広告普及費 | | | | | | | 27,000 | | |
| | 報告書作成費 | | | | | | | | | |
| | 旅費交通費 | | | | | | | | | |
| | 交際費 | | | | | | | | | |
| | 保険料 | | | | | | | | | |
| 印刷製本費 | | | | | | | | | | |
| 通信運搬費 | | | | | | | | | | |
| 支払負担金 | | | | | | | | | | |
| 雑費 | | | | | | | | | | |
| 予備費 | 1,100 | | 1,100 | | 1,100 | | | | | |
| 小計 | 100,000 | | 100,000 | | 100,000 | | 92,580 | | | |
| 合計 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 92,580 | 7,420 | 事業費に繰り戻す | |
| 総合計 | 1,092,000 | 1,092,000 | 1,292,000 | 1,292,000 | 1,292,000 | 1,292,000 | 1,208,936 | | | |

6. 直前理事長報告

直前理事長 平川 智己



2016年度は中田理事長の下、直前理事長の立場で一年間を過ごさせていただきました。まずは一年間しかないこの貴重な経験をさせていただきましたことに感謝申し上げます。この一年、理事長を筆頭に2016年度の組織が描く「明るい豊かな淡路島づくり」のお手伝いをさせていただこうと邁進してまいりました。直前理事長という立場の難しさを実感することも多々ありました。メンバー数も減少する中、数年に渡って念願であった「日本遺産」認定という、喜ばしい出来事もあり、私自身も大変嬉しく思います。創立より掲げていた「淡路はひとつ」の一つの形になったのではないかと思います。昨年の理事長という役職が終わったからといって、のんびりしてはいけないと思い、様々なところで経験則から得た自分の考えをばらまいてまいりました。そして今後もしっかりとした調査研究の上、例年通りだからというのではなく、本質を追い求めていていただきたいと思えます。私自身、この社団法人淡路青年会議所を今年で卒業する事になります。これからは背負っていくメンバーの皆様が「明るい豊かな淡路島づくり」の為、信念を持って行動していくことと確信し、一年の報告とさせていただきます

7. 出 向 報 告

公益社団法人日本青年会議所

国際アカデミー委員会

委員 平川 智己



本年度、公益社団法人日本青年会議所 国際アカデミー委員会に出向させていただきました。人口減少に直面する日本社会において「JC だから出来ること」は何か、そして、これからのまちづくりで必要なことを改めて考える機会となりました。また、全国各地のメンバーと出会え、同じ目標に向かって一緒に汗をかいたことで、気心通じ合う友ができました。今後この経験をLOMに伝えて参りたいと考えます。このような機会を与えてくださりましたこと、心より感謝いたしております。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
事務局次長

波戸 大樹



公益社団法人日本青年会議所 近畿地区兵庫ブロック協議会 に事務局次長として出向させていただきました。兵庫ブロックを事務方として一年間関わりを持たせて頂いて、大変貴重な体験をさせていただきました。兵庫ブロックという広い地域の中で多くの仲間ができ、また楽しく活動させていただきました。このような機会を与えて頂いた事に感謝しまして、報告と致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
書 記

伊山 真司



本年度兵庫ブロック協議会へ書記団として出向させて頂きました。各地で行われる会議の設営、進行の補助、議事録の作成など、兵庫ブロック協議会の裏方として一年間務めて参りました。兵庫各地から集まったメンバーで執り行われる会議・活動に一員として参加させていただいたことは大変貴重な機会となり、多くの学びや気づき、そして何より繋がりを得ることができました。機会を与えていただいた事に感謝申し上げ、出向報告と致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
日本 JC 連携推進会議

委員 時枝 弘記



本年度、兵庫ブロック協議会 日本 JC 連携推進会議に出向させていただきました。会議では、地域再興政策に関する業務・共感経済社会の実現に向けた運動推進・選挙における公開討論会の実施に関する業務等を担い、各 LOM からは副理事長が多く出向されたこともあり、毎回の会議は内容が濃く厳しい意見も飛び交っておりました。私自身どれだけ協力できたのかはわかりませんが、兵庫ブロック全事業の中で最優秀事業賞を当会議体を受賞できたことは、三輪議長のリーダーシップの賜物であったと感じております。またこの会議体に出向された中から次年度理事長が多数出しており、個人的にも大変有意義な出向であったことは言うまでもありません。このような機会をいただいたことに感謝申し上げ、報告と変えさせていただきます。

出 向 記 録

| 年月日 | 場 所 | 内 容 |
|------------|-----------------|-----------|
| 2015.11.23 | 神戸ポートピアホテル | 第 1 回委員会 |
| 2015.12.11 | 北京閣 本館 | 第 2 回委員会 |
| 2016.1.15 | 三田中央公民館 | 第 3 回委員会 |
| 2016.2.7 | 神戸ポートピアホテル | 第 4 回委員会 |
| 2016.3.6 | 湊川神社 楠公会館 | 第 5 回委員会 |
| 2016.4.14 | 芦屋市民センター | 第 6 回委員会 |
| 2016.4.23 | 西宮商工会議所 | 地域再興政策事業 |
| 2016.5.23 | 赤穂市立 加里屋まちづくり会館 | 第 7 回委員会 |
| 2016.8.27 | 但馬空港ターミナル 中会議室 | VSOP 推進事業 |
| 2016.10.15 | チェサピーク（川西） | 第 8 回委員会 |

公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会

兵庫創造委員会

委員長 三浦 義崇



2016年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会兵庫創造委員会へ委員長として出向させていただきました。主な担いとして、JCカップ、兵庫県知事との懇談会、ブロック大会における分科会を担わしていただきました。どの事業も各地青年会議所のご協力を得なければできない事業ばかりでしたが、多くの方々に支えていただき、事業成功へと導けました。また、兵庫ブロック内から多くのメンバーに出向していただいた責任と兵庫ブロック協議会の役員団の一員としての責任を全うできるように一年間邁進してまいりました。様々なメンバーと関わりを持たせていただいたおかげで、多くの学びをいただき、私自身も成長の糧をいただけたと考えております。本当にご支援、ご協力いただいた皆様に厚く感謝御礼を申し上げます。

出 向 記 録

| 年 月 日 | 場 所 | 内 容 |
|--------------|-----|--------------------------------|
| 2015. 09. 19 | 明石 | 第1回 正副・役員候補者会議 |
| 2015. 10. 06 | 明石 | 第2回 正副・役員候補者会議 |
| 2015. 10. 18 | 明石 | 第1回 予定者理事長会議 |
| 2015. 10. 20 | 明石 | 第3回 正副・役員候補者会議 |
| 2015. 10. 30 | 明石 | 第2回 予定者理事長会議 |
| 2015. 11. 11 | 明石 | 第4回 正副・役員候補者会議 |
| 2015. 11. 23 | 神戸 | 第2回 予定者理事長会議・合同委員長会議 |
| 2015. 12. 13 | 明石 | 第5回 正副・役員候補者会議 |
| 2016. 01. 17 | 西宮 | 第1回正副会長・役員会議 |
| 2016. 01. 23 | 京都 | 京都會議 |
| 2016. 01. 30 | 淡路 | 第2回 兵庫創造委員会 |
| 2016. 02. 01 | 西宮 | LOM 役員懇談会 |
| 2016. 02. 04 | 豊岡 | LOM 役員懇談会 |
| 2016. 02. 07 | 神戸 | 第1回委員会議所会議・合同委員長会議 |
| 2016. 02. 10 | 淡路 | LOM 役員懇談会 |
| 2016. 02. 21 | 淡路 | 第2回 正副会長・役員会議 |
| 2016. 02. 24 | 神戸 | 兵庫県議会 JC 議員連盟と兵庫ブロック内 JC との交流会 |
| 2016. 02. 25 | 姫路 | LOM 役員懇談会 |
| 2016. 03. 02 | 尼崎 | LOM 役員懇談会 |
| 2016. 03. 04 | 伊丹 | 第4回 兵庫創造委員会 |
| 2016. 03. 05 | 尼崎 | 第3回正副会長・役員会議 |
| 2016. 03. 19 | 伊丹 | 第2回 委員会議所会議 |
| 2016. 03. 23 | 南但 | LOM 役員懇談会 |
| 2016. 03. 25 | 加古川 | LOM 役員懇談会 |
| 2016. 04. 02 | 香住 | LOM 役員懇談会 |
| 2016. 04. 07 | 丹波 | LOM 役員懇談会 |
| 2016. 04. 09 | 姫路 | 第4回 正副・役員会議 |
| 2016. 04. 11 | 川西 | LOM 役員懇談会 |
| 2016. 04. 16 | 三木 | 第5回 兵庫創造委員会 |
| 2016. 04. 19 | 三田 | LOM 役員懇談会 |
| 2016. 04. 20 | 三木 | LOM 役員懇談会 |
| 2016. 04. 22 | 小野 | LOM 役員懇談会 |

| | | | |
|--------------|-----|-------|---------------------------------------|
| 2016. 04. 23 | 西宮 | | 地域再興政策トークセッション |
| 2016. 04. 24 | 西脇 | | 第3回 会員会議所会議 |
| 2016. 05. 01 | 神戸 | 姫路 明石 | 国民の憲法に対する意識調査 |
| 2016. 05. 22 | 南但 | | 第5回 正副・役員会議 |
| 2016. 05. 23 | 川西 | | 第6回 兵庫創造委員会 |
| 2016. 06. 11 | 篠山 | | 第6回 正副・役員会議 |
| 2016. 06. 17 | 淡路 | | 第7回 兵庫創造委員会 |
| 2016. 06. 18 | 淡路 | | 第2回 JC カップ U-11 少年少女サッカー大会 兵庫予選大会 |
| 2016. 06. 26 | 姫路 | | 第4回 会員会議所 |
| 2016. 07. 08 | 姫路 | | 第5回 会員会議所会議 |
| 2016. 07. 08 | | | 第7回 正副会長・役員会議 |
| 2016. 07. 11 | 明石 | | LOM 役員懇談会 |
| 2016. 07. 26 | 神戸 | | 兵庫県知事との懇談会 |
| 2016. 07. 30 | 熊本県 | 御船町 | 平成28年熊本地震支援事業 |
| 2016. 07. 31 | | | |
| 2016. 08. 18 | 豊岡 | | 第8回 兵庫創造委員会 |
| 2016. 08. 27 | 豊岡 | | 兵庫ブロック協議会ブロック大会豊岡大会 分科会 |
| 2016. 09. 03 | 加古川 | | 第8回 正副会長・役員会議 |
| 2016. 09. 18 | 神戸 | | 日本における近現代史を学び憲法の歴史とこ れからの日本を確立する事業 |
| 2016. 09. 24 | 三木 | | 第2回アカデミー事業 |
| 2016. 10. 16 | 西宮 | | 第9回 正副会長・役員会議 |
| 2016. 10. 26 | 鳥取県 | 倉吉市 | 鳥取県中部地震復興支援 |
| 2016. 10. 28 | 丹波 | | 第6回 会員会議所 |
| 2016. 11. 23 | 神戸 | | 第7回 会員会議所 |

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫創造委員会

委員 竹田 良平



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会兵庫創造委員会に出向させていただきました。同郷LOMからの出向となりました三浦委員長のもと、事業・委員会を通じ、JC活動の基本や考え、活動について多くの学びを得る事ができました。三浦委員長を輝かせるため、事業を成功裏に収めるよう尽力しましたが、委員長にはご迷惑をおかけした場面も多々ありました。しかしながら、多くの場面で仕事を与えていただいたことでJC活動における大きな気づきを教えていただき深く感謝しております。今後この経験をLOMに伝えていきたいと考えます。このような機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会

兵庫創造委員会 三浦委員長セクレタリー

委員長 寺岡 良祐



一年という短い期間ではありましたが、多くの出会いと普段の仕事や生活では触れることのない貴重な機会をいただきました。兵庫未来は明るいと感じてやみません。今後ますますの発展を記念いたします。一年間お世話になり本当にありがとうございました。また、どこかでお会いしました時は宜しくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会

兵庫創造委員会 三浦委員長セクレタリー

委員長 横山 泰明



2016年度、三浦委員長のセクレタリーとして、一年間兵庫ブロックへ出向させていただきました。LOM役員懇談会や会員会議所等にご一緒させていただき、ブロックの役員の皆様や各地青年会議所の方々と交流することができ、多くの経験、学びがあり良い機会を得られました。一年間このような機会を与えていただき本当にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会

兵庫創造委員会 三浦委員長セクレタリー

委員長 萩本 雅彦



兵庫創造委員長のセクレタリーとして 兵庫ブロック協議会に出向させていただきました。初めての出向であり、セクレタリーでしたので、当初は戸惑いばかりでしたが、三浦委員長を始め、委員会のメンバーに助けられ一年を乗り切ることが出来ました。そして、多くの淡路 JC のメンバーからも支援をして頂きました。多くの方の支えがあればこそ、出向ができるのだということを感じ させていただきました。この経験を生かし、今後の JC 活動をより 充実したものにしたいと思えます。一年間ありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員 小川 優一



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会兵庫アカデミー委員会に出向させていただきました。古屋委員長のもと、事業・委員会を通じ、JC 活動の基本や考え、活動について多くの学びを得る事ができました。そして各地の兵庫ブロックメンバーと深い関わりを持つ事が出来ました。特に同じ LOM の横山さんと菅屋さんとは、深く関わる事ができました。このような機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員 横山 奈津紀



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会アカデミー委員会に出向させて頂きました。古屋委員長の元、様々な経験した事のない事業に参加させて頂きました。しかしながら、LOM 事業や例会と重なる日も多く、公欠となることもあり、委員長にはご迷惑をおかけした場面も多々ありましたが、JC 活動における大きな気づきを与えていただいたこと深く感謝しております。今後この経験を LOM に伝えていきたいと思えます。このような機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員 苦屋 千賀



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会アカデミー委員会に出向させていただきました。出向する中で、多くの方々と出会い絆を深めることができました。そして各LOMの多くの方々と出会い・共に学び・事業を上げる事で多くの学びを得る事ができました。この出向させて頂きました1年間での学びや気づきを、今後の活動して行く上で活用していきたいと思えます。このような機会を与えて頂きありがとうございました。

| 年月日 | 場 所 | 内 容 |
|--------------|------------|---------------|
| 2016. 11. 23 | 神戸ポートピアホテル | 第1回合同委員長予定者会議 |
| 2016. 2. 7 | 神戸市商工会議所 | 第2回アカデミー委員会 |
| 2016. 3. 26 | 篠山 | 第3回アカデミー委員会 |
| 2016. 4. 16 | 美方うずかの森 | 第4回アカデミー委員会 |
| 2016. 7. 18 | 加古川 | 第5回アカデミー委員会 |
| 2016. 11. 26 | 西宮 | 第6回アカデミー委員会 |
| 2016. 5. 14 | 八北高原 | 第1回アカデミー事業 |
| 2016. 9. 24 | 豊岡 | 第2回アカデミー事業 |

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
日本の姿確立委員会

委員 植野 泰幸



本年度、近畿地区兵庫ブロック協議会日本の姿確率委員会に出向させていただきました。委員会として憲法に関する事業、国史にまつわる事業を行いました。西嶋委員長そして委員会メンバーの中でも最年少で各地からのメンバーはご経験が豊かな方がそろっており、自身にとって良い経験をさせていただきました。また、普段はあまり考えたことのない憲法事業を通じて、改めて憲法について学ぶ機会にもなりました。そして何よりも、各地から出向されているメンバーと交流でき、今後JC活動を行っていく上で良き友人ができ、出向させていただきました、理事長をはじめとします淡路JCのメンバーに感謝申し上げます。そしてこの経験を LOM で活かしたいと思っております。

| 年月日 | 場所 | 内容 |
|-------------|-------------|--------|
| 2016. 2. 6 | 神戸ポートピアホテル | 第1回委員会 |
| 2016. 3. 14 | 神戸青年会議所 事務局 | 第2回委員会 |
| 2016. 4. 15 | 焼肉 入り江 | 第3回委員会 |
| 2016. 5. 20 | 香住公民館 | 第4回委員会 |
| 2016. 6. 30 | 神戸青年会議所 事務局 | 第5回委員会 |
| 2016. 7. 16 | 焼肉 入り江 | 第6回委員会 |
| 2016. 8. 20 | 尼崎青年会議所 事務局 | 第7回委員会 |
| 2016. 9. 10 | 焼肉入り江 | 第8回委員会 |

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

JC 運動発信委員会

委員 藤川 龍介



本年度、近畿地区兵庫ブロック協議会 JC 運動発信委員会 に出向させていただきました。ブロックのHP・Facebookの管理・運営、各事業の広報活動、各ブロックナイトの設営、近畿地区大会へのブース出展を担いとして一年を通じて活動を行ってきました。兵庫県内各LOMより出向されたメンバーは年齢・経験ともに様々で、LOM内とはまた違った交流を行えたとともに様々な気づき・学びを得ることができました。また広報活動が主な担いであるということは、今年度LOMにおける担いと連動する点、他LOM出向メンバーも広報を担われているメンバーが多かったため、実務的な情報交換という点においても非常に有益な出向であったと思っております。この経験を活かし、次年度以降の活動をより有意義なものにしていきたいと思っております。貴重な機会を与您えいただきありがとうございました。

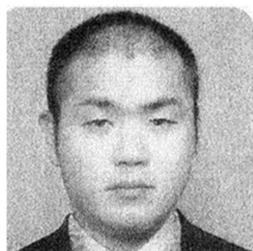
出 向 記 録

| 年 月 日 | 場 所 | 内 容 |
|-----------------|--------------|--------------------|
| 2015. 11. 23 | 神戸ポートピアホテル | 第1回委員会 |
| 2015. 12. 12/20 | 尼崎市中小企業センター | 第2回委員会 |
| 16. 1. 9 | 西宮青年会議所 事務局 | 第3回委員会 |
| 2016. 1. 23 | ホテル日航プリンセス京都 | 京都会議 ブロックナイト |
| 2016. 2. 7 | 神戸ポートピアホテル | 第4回委員会 |
| 2016. 3. 26 | 岡田金属工業 | 第5回委員会 |
| 2016. 4. 28 | 三田市総合文化センター | 第6回委員会 |
| 2016. 5. 24 | アステ市民プラザ | 第7回委員会 |
| 2016. 6. 18 | 旅館うめ丸 | 第8回委員会 |
| 2016. 7. 2 | 株式会社ユービーエル | 第9回委員会 |
| 2016. 7. 9 | 茨木中央公園グラウンド | 近畿地区大会 ブース出展 |
| 2016. 7. 17 | 横浜ベイホテル東急 | サマーカンファレンス ブロックナイト |
| 2016. 8. 20 | 羅漢の里 | 第10回委員会 |

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

ブロック大会運営委員会

委員 新家 春輝



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会ブロック大会運営委員会に出向させていただきました。杉下委員長のもと、大懇親会ブースの担当としての設営や運営手法について多くのことを学び、また多くの友人を作ることができました。大会当日の来場者は4,000人を超え、淡路JCからも多くのメンバーが参加していただき、大会は大成功に終わることができました。この経験を活かして今後のLOM活動に邁進してまいります。このような機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

出 向 記 録

| 年 月 日 | 場 所 | 内 容 |
|--------------|----------------|----------------------|
| 2015. 11. 23 | 神戸ポートピアホテル | 第 1 回 ブロック大会運営予定者委員会 |
| 2015. 12. 26 | コウノトリ但馬空港ターミナル | 第 2 回 ブロック大会運営予定者委員会 |
| 2016. 1. 30 | 姫路商工会議所 | 第 1 回 ブロック大会運営委員会 |
| 2016. 2. 7 | 神戸ポートピアホテル | 第 2 回 ブロック大会運営委員会 |
| 2016. 3. 20 | 明石 明康殿 | 第 3 回 ブロック大会運営委員会 |
| 2016. 5. 20 | 三木市立市民活動センター | 第 4 回 ブロック大会運営委員会 |
| 2016. 6. 23 | 姫路商工会議所 | 第 5 回 ブロック大会運営委員会 |
| 2016. 7. 23 | 三田市総合文化センター | 第 6 回 ブロック大会運営委員会 |
| 2016. 8. 20 | コウノトリ但馬空港ターミナル | 第 7 回 ブロック大会運営委員会 |
| 2016. 8. 26 | コウノトリ但馬空港ターミナル | 第 8 回 ブロック大会運営委員会 |
| 2016. 8. 27 | コウノトリ但馬空港ターミナル | 第 4 9 回 ブロック大会豊岡大会 |
| 2016. 9. 30 | 兵庫県民会館 | 第 9 回 ブロック大会運営委員会 |
| 2016. 10. 22 | 川西市文化会館 | 第 1 0 回 ブロック大会運営委員会 |

8. 監事報告

監事 原田 啓行 平川 智己



近年、経験年数の浅いメンバーが増え続けている現状において、いかに事業が円滑に進められるか、理事会において議論されるべきところがなされているか、そういった点に特に留意し役職を履行してまいりました。さまざまな場面においても、今までの経験を可能な限り皆様にお伝えするとともに、偏重しないよう客観的な意見も述べさせていただきました。しかし、経験不足からくる判断基準の曖昧さをたびたび目の当たりにすることになりました。やはり、組織の仕組みをしっかりと把握し、物事の本質を見る目を養う事が喫緊の課題であるように感じます。受け止めるべきところは真摯に受け止めていただき、しかし、JCマンらしく何事にも恐れず挑戦し、淡路島の未来のために邁進していただきますようご祈念申し上げ、監事報告とさせていただきます。

10. 会 員 動 向

1. 2015 年度末会員数

正会員 57名 特別会員 308名 準会員 4名

2. 2016 年度入会者

| 新入会者名 | 推 薦 者 | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 加藤 治久 | 時枝 弘記 | 三浦 義崇 | 植野 泰幸 |
| 福条 秀紀 | 時枝 弘記 | 三浦 義崇 | 川越 勇輔 |
| 本名 佑至 | 時枝 弘記 | 横山 泰明 | 植野 泰幸 |
| 山本 賢 | 藤井 宏昌 | 三浦 義崇 | 植野 泰幸 |
| 平山 友樹 | 横山奈津紀 | 竹田 良平 | 植野 泰幸 |
| 松浦 清志 | 竹田 良平 | 藤井 宏昌 | 植野 泰幸 |
| 森田 俊寛 | 藤川 龍介 | 時枝 弘記 | 植野 泰幸 |
| 有馬 輝行 | 横山奈津紀 | 竹田 良平 | 植野 泰幸 |
| 富永 浩司 | 横山奈津紀 | 藤川 龍介 | 植野 泰幸 |
| 中川 貴弘 | 竹田 良平 | 植野 泰幸 | 藤井 宏昌 |
| 山田 義徳 | 竹田 良平 | 植野 泰幸 | 横山奈津紀 |
| 岩本 章男 | 藤川 龍介 | 植野 泰幸 | 横山奈津紀 |
| | | | |

3. 2016 年度会員数

正会員 45名 特別会員 320名

4. 2016 年度退会者

甚尾 篤弘 大漁 みさ 滝本 拓之 平山 友樹 福條 秀紀 丸尾 幸大

5. 2016 年度休会者

なし

6. 2016 年度物故会員

小谷 正晴 満井 勝

7. 2016 年度除名者

なし

8. 2016 年度末会員数

正会員 47名 特別会員 318名 準会員 1名

9. 2016 年度卒業会員

9名

池澄泰彦 久米基支 後藤宏暢 柴田大介 高見恵文 中田勝文 法月正義 平川智己 吉井崇行

10. 2016 年度役員選考委員

平川 智己 中田 勝文 時枝 弘記 竹田 良平 川越 勇輔 藤川 龍介
藤井 宏昌

11. 2016 年度 一般社団法人淡路青年会議所 役員名簿

| | |
|------------|-------|
| 【理事長】 | 中田 勝文 |
| 【直前理事長兼監事】 | 平川 智己 |
| 【監事】 | 原田 啓行 |
| 【副理事長】 | 新家 春輝 |
| | 岸本 篤人 |
| | 時枝 弘記 |
| | 藤井 宏昌 |
| 【室長】 | 川越 勇輔 |
| 【専務理事】 | 池澄 泰彦 |
| 【出向理事】 | 三浦 義崇 |
| 【理事】 | 植野 泰幸 |
| | 後藤 宏暢 |
| | 竹田 良平 |
| | 藤川 龍介 |
| | 村田 泰志 |
| | 吉井 崇行 |

12. 出向者一覧

公益社団法人日本青年会議所

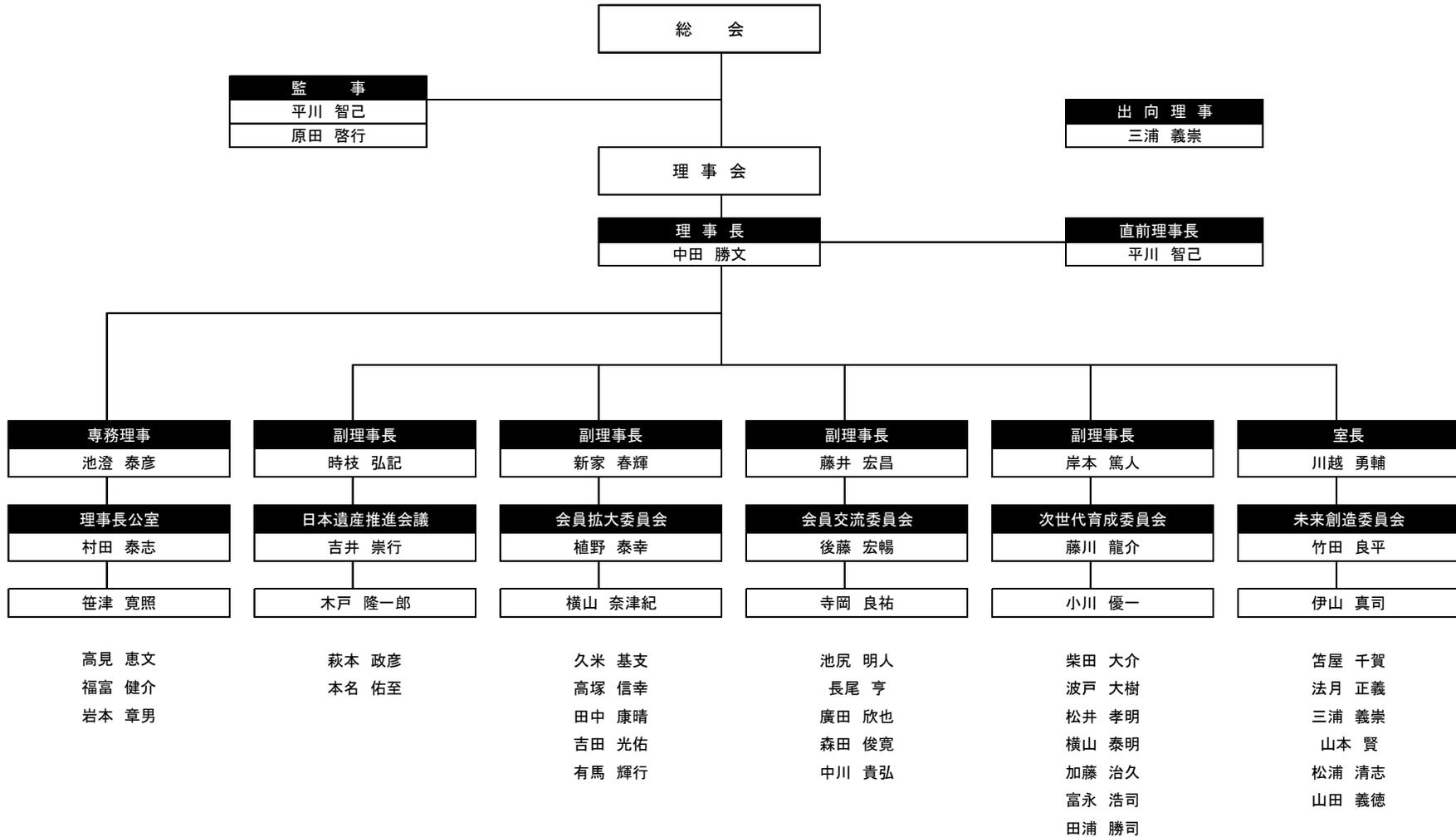
| 出 向 先 | 役 職 | 出向者氏名 |
|------------|-----|-------|
| 国際アカデミー委員会 | 委 員 | 平川 智己 |

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

| 出 向 先 | 役 職 | 出向者氏名 |
|-------------|-------|-------|
| | 事務局次長 | 波戸 大樹 |
| | 書 記 | 伊山 真司 |
| 兵庫創造委員会 | 委員長 | 三浦 義崇 |
| 兵庫創造委員会 | 委 員 | 竹田 良平 |
| 日本JC連携推進会議 | 委 員 | 時枝 弘記 |
| 兵庫アカデミー委員会 | 委 員 | 小川 優一 |
| 兵庫アカデミー委員会 | 委 員 | 筈屋 千賀 |
| 兵庫アカデミー委員会 | 委 員 | 横山奈津紀 |
| 日本の姿確立委員会 | 委 員 | 植野 泰彦 |
| JC運動発信委員会 | 委 員 | 藤川 龍介 |
| ブロック大会運営委員会 | 委 員 | 新家 春輝 |

13. 組織及び委員会構成

2016 年度 一般社団法人淡路青年会議所 組織図



14. 褒 賞

| | | |
|-------|------------|-------------|
| 褒賞委員会 | 中田 勝文 理事長 | 平川 智己 直前理事長 |
| | 原田 啓行 監事 | 新家 春輝 副理事長 |
| | 岸本 篤人 副理事長 | 藤井 宏昌 副理事長 |
| | 時枝 弘記 副理事長 | 川越 勇輔 室長 |
| | 池澄 泰彦 専務理事 | |

1. 最優秀委員会賞 日本遺産推進会議

2. 優秀委員会賞 会員交流

3. 最優秀事業賞 ミライノカタチ

4. 優秀事業賞 次世代育成

5. 最優秀会員賞 伊山真司

6. 優秀会員賞 小川優一

7. 最優秀新会員賞 松浦清志

8. 優秀新会員賞 中川貴弘

9. LOM 功労賞 会員拡大

10. LOM 奨励賞 理事長公室

11. 努力賞

12. 例会出席奨励賞

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 中田 勝文 | 平川 智己 | 池澄 泰彦 | 時枝 弘記 |
| 藤井 宏昌 | 川越 勇輔 | 村田 泰志 | 吉井 崇行 |
| 植野 泰幸 | 後藤 宏暢 | 寺岡 良祐 | 藤川 龍介 |
| 小川 優一 | 竹田 良平 | 三浦 義崇 | |

13. 特別功労賞 原田啓行

14. 卒業生感謝状 池澄泰彦 久米基支 後藤宏暢 柴田大介 高見恵文 中田勝文
法月正義 平川智己 吉井崇行

15. 決算報告

| 賃借対照表 | | | |
|-------------------|------------|------------|-----------|
| 平成28年12月31日 現在 | | | |
| 一般社団法人淡路青年会議所 | | | (単位：円) |
| 科 目 | 当年度 (第4期) | 前年度 (第3期) | 増減 |
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 7,409,063 | 7,633,382 | △ 224,319 |
| 流動資産合計 | 7,409,063 | 7,633,382 | △ 224,319 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 基本財産合計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 特定財産 | | | |
| 特定財産合計 | 0 | 0 | 0 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 什器備品 | 74,804 | 143,397 | △ 68,593 |
| 有価証券 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| 敷 金 | 300,000 | 300,000 | 0 |
| その他固定資産合計 | 384,804 | 453,397 | △ 68,593 |
| 資 産 合 計 | 7,793,867 | 8,086,779 | △ 292,912 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 流動負債合計 | 0 | 0 | 0 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 固定負債合計 | 0 | 0 | 0 |
| 負 債 合 計 | 0 | 0 | 0 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 指定正味財産合計 | 0 | 0 | 0 |
| 2. 一般正味財産 | | | |
| (うち基本財産への充当額) | 7,793,867 | 8,086,779 | △ 292,912 |
| (うち特定財産への充当額) | 0 | 0 | 0 |
| 一般正味財産合計 | 7,793,867 | 8,086,779 | △ 292,912 |
| 正味財産合計 | 7,793,867 | 8,086,779 | △ 292,912 |
| 負債及び正味財産合計 | 7,793,867 | 8,086,779 | △ 292,912 |

正味財産増減計算書（総括表）

第4期 平成28年1月1日～平成28年12月31日

一般社団法人淡路青年会議所

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|--------------|------------|------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| ①受取入会金 | 0 | 0 | 0 |
| 入会金 | 0 | 0 | 0 |
| ②受取会費 | 6,840,000 | 7,770,000 | △ 930,000 |
| 正会員受取会費 | 6,480,000 | 7,440,000 | △ 960,000 |
| その他受取会費 | 360,000 | 330,000 | 30,000 |
| ③事業収益 | 2,828,000 | 2,629,280 | 198,720 |
| 受託事業収益 | 0 | 0 | 0 |
| 登録料 | 2,403,000 | 2,399,280 | 3,720 |
| その他事業収益 | 425,000 | 230,000 | 195,000 |
| ④受取負担金 | 0 | 0 | 0 |
| ⑤受取寄付金 | 510,000 | 480,000 | 30,000 |
| 寄付金 | 510,000 | 480,000 | 30,000 |
| ⑥雑収益 | 10,692 | 13,520 | △ 2,828 |
| 受取利息 | 1,099 | 1,627 | △ 528 |
| 受取配当金 | 500 | 500 | 0 |
| 雑収入 | 9,093 | 11,393 | △ 2,300 |
| 経常収益 計 | 10,188,692 | 10,892,800 | △ 704,108 |
| (2) 経常費用 | | | |
| ①事業費 | | | |
| 給料手当 | 294,489 | 277,100 | 17,389 |
| 福利厚生費 | 34,650 | 36,452 | △ 1,802 |
| 会場費、賃借料 | 741,205 | 1,055,785 | △ 314,580 |
| 消耗品費 | 619,179 | 474,103 | 145,076 |
| レンタル料 | 0 | 241,280 | △ 241,280 |
| 食糧費 | 14,580 | 473,770 | △ 459,190 |
| 減価償却費 | 18,967 | 26,433 | △ 7,466 |
| 水道光熱費 | 58,585 | 66,704 | △ 8,119 |
| 支払手数料 | 235,000 | 430,000 | △ 195,000 |
| 講師関係費 | 15,920 | 14,190 | 1,730 |
| 諸謝金 | 8,000 | 325,000 | △ 317,000 |
| 資料作成費 | 162,176 | 164,900 | △ 2,724 |
| 広告普及費 | 722,660 | 731,246 | △ 8,586 |
| 報告書作成費 | 10,980 | 59,799 | △ 48,819 |
| 旅費交通費 | 30,000 | 306,500 | △ 276,500 |
| 交際費 | 2,408,000 | 2,158,000 | 250,000 |
| 保険料 | 13,990 | 20,900 | △ 6,910 |
| 印刷製本費 | 639,717 | 662,297 | △ 22,580 |
| 通信・運搬費 | 128,955 | 130,260 | △ 1,305 |
| 支払負担金 | 292,000 | 21,000 | 271,000 |
| 雑費 | 26,600 | 24,836 | 1,764 |
| 事業費 計 | 6,475,653 | 7,700,555 | △ 1,224,902 |

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|---------------|------------|------------|-----------|
| ② 管理費 | | | |
| 会議費 | 0 | 9,360 | △ 9,360 |
| 給料手当 | 581,083 | 698,320 | △ 117,237 |
| 福利厚生費 | 90,659 | 86,923 | 3,736 |
| 渉外費 | 198,800 | 162,030 | 36,770 |
| 慶弔費 | 65,000 | 80,600 | △ 15,600 |
| 減価償却費 | 49,626 | 63,032 | △ 13,406 |
| 消耗品費 | 249,286 | 301,724 | △ 52,438 |
| 通信費 | 298,884 | 288,801 | 10,083 |
| 印刷製本費 | 19,143 | 19,783 | △ 640 |
| 賃借料 | 737,955 | 718,637 | 19,318 |
| 光熱水料費 | 153,283 | 159,063 | △ 5,780 |
| 諸謝金 | 86,400 | 100,000 | △ 13,600 |
| 修理費 | 88,862 | 126,565 | △ 37,703 |
| 租税公課 | 22,552 | 22,552 | 0 |
| 雑費 | 117,418 | 88,099 | 29,319 |
| 管理費 計 | 2,758,951 | 2,925,489 | △ 166,538 |
| ③ 負担金 | | | 0 |
| JCI会費 | 61,875 | 63,000 | △ 1,125 |
| 日本JC会費 | 255,000 | 280,000 | △ 25,000 |
| 国際協力資金 | 82,125 | 91,250 | △ 9,125 |
| 近畿地区会費 | 83,000 | 92,000 | △ 9,000 |
| 兵庫ブロック会費 | 265,000 | 290,000 | △ 25,000 |
| 淡路島日本遺産委員会 | 500,000 | 0 | 500,000 |
| 負担金 計 | 1,247,000 | 816,250 | 430,750 |
| 経常費用計 | 10,481,604 | 11,442,294 | △ 960,690 |
| 当期経常増減額 | △ 292,912 | △ 549,494 | 256,582 |
| 2.経常外増減の部 | | | 0 |
| (1) 経常外収益 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | 0 | 0 | 0 |
| 什器備品除却損 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 292,912 | △ 549,494 | 256,582 |
| 一般正味財産期首残高 | 8,086,779 | 8,636,273 | △ 549,494 |
| 一般正味財産期末残高 | 7,793,867 | 8,086,779 | △ 292,912 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | 0 |
| 基本財産評価益 | 0 | 0 | 0 |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | 7,793,867 | 8,086,779 | △ 292,912 |

正味財産増減決算書

平成28年1月1日から平成28年12月31日まで

| 科 目 | 決算額 | 補正予算額 | 修正予算額 | 当初予算額 | 決算額 | 備考 |
|--------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------------|
| | H28.1.1～H28.12.31 | H28.1.1～H28.12.31 | H28.1.1～H28.12.31 | H28.1.1～H28.12.31 | H27.1.1～H27.12.31 | |
| I 一般正味財産増減の部 | | | | | | |
| 1 経常増減の部 | | | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | | | |
| ① 受取入金 | | | 0 | 0 | 0 | |
| ② 受取会費 | 6,840,000 | 6,840,000 | 7,080,000 | 6,920,000 | 7,770,000 | |
| 正会員受取会費 | 6,480,000 | 6,480,000 | 6,720,000 | 6,560,000 | 7,440,000 | 37名×¥180,000、7名×80,000 |
| その他受取会費 | 360,000 | 360,000 | 360,000 | 360,000 | 330,000 | 卒業生12名×¥30,000 |
| ③ 事業収益 | 2,828,000 | 200,000 | 0 | 0 | 2,629,280 | |
| 受託事業収益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 登録料 | 2,403,000 | 0 | 0 | 0 | 2,399,280 | |
| その他事業収益 | 425,000 | 200,000 | 0 | 0 | 230,000 | |
| ④ 受取負担金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| ⑤ 寄付金 | 510,000 | 0 | 0 | 0 | 480,000 | |
| ⑥ 雑収益 | 10,692 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 13,520 | |
| 受取利息 | 1,099 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | 1,627 | |
| 配当金 | 500 | 0 | 0 | 0 | 500 | |
| 雑収益 | 9,093 | 0 | 0 | 0 | 11,393 | |
| 経常収益 計 | 10,188,692 | 7,041,500 | 7,081,500 | 6,921,500 | 10,892,800 | |
| (2) 経常費用 | | | | | | |
| ① 事業費 | | | | | | |
| 給料手当 | 72,400 | 72,400 | 72,400 | 72,400 | 152,400 | |
| 福利厚生費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 会議費 賃借料 | 459,160 | 705,660 | 779,480 | 779,480 | 754,422 | |
| 消耗品費 | 523,902 | 488,741 | 527,809 | 527,809 | 347,574 | |
| レンタル料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 241,280 | |
| 食糧費 | 14,580 | 44,580 | 65,000 | 65,000 | 473,770 | |
| 人件費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 支払手数料 | 235,000 | 110,000 | 110,000 | 110,000 | 430,000 | |
| 講師関係費 | 15,920 | 20,680 | 46,880 | 46,880 | 14,190 | |
| 謝礼金 | 8,000 | 3,240 | 165,000 | 165,000 | 325,000 | |
| 資料作成費 | 162,176 | 161,176 | 215,196 | 215,196 | 164,900 | |
| 広告普及費 | 722,660 | 694,980 | 164,480 | 164,480 | 731,246 | |
| 報告書作成費 | 10,980 | 10,000 | 0 | 0 | 59,799 | |
| 旅費交通費 | 30,000 | 80,000 | 100,000 | 100,000 | 306,500 | |
| 交際費 | 2,408,000 | 120,000 | 120,000 | 120,000 | 2,158,000 | |
| 保険料 | 13,990 | 28,740 | 76,300 | 76,300 | 20,900 | |
| 印刷製本費 | 632,400 | 630,000 | 660,000 | 660,000 | 654,000 | |
| 通信運搬費 | 14,722 | 13,625 | 13,777 | 13,777 | 9,150 | |
| 支払負担金 | 292,000 | 151,000 | 11,000 | 11,000 | 21,000 | |
| 雑費 | 26,600 | 59,578 | 67,078 | 67,078 | 24,836 | |
| 小 計 | 5,642,490 | 3,394,400 | 3,194,400 | 3,194,400 | 6,888,967 | |

| 科 目 | 決算額 | 補正予算額 | 修正予算額 | 当初予算額 | 決算額 | 備考 |
|--------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-----------------------|
| | H28.1.1～H28.12.31 | H28.1.1～H28.12.31 | H28.1.1～H28.12.31 | H28.1.1～H28.12.31 | H27.1.1～H27.12.31 | |
| ②管理費 | | | | | | |
| 会議費 | 0 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 9,360 | |
| 給料手当 | 803,172 | 907,600 | 907,600 | 907,600 | 823,020 | |
| 退職給付引当金 | | | | | 0 | |
| 福利厚生費 | 125,309 | 155,000 | 155,000 | 155,000 | 123,375 | 交通費・雇用保険料 |
| 渉外費 | 198,800 | 200,000 | 200,000 | 200,000 | 162,030 | 旅費¥60,000+各種登録¥78,000 |
| 慶弔費 | 65,000 | 200,000 | 200,000 | 200,000 | 80,600 | |
| 減価償却費 | 68,593 | 80,000 | 80,000 | 130,000 | 89,465 | |
| 消耗品費 | 344,563 | 450,000 | 450,000 | 450,000 | 428,253 | コピー用紙・トナー他 |
| 消耗什器備品費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 通信費 | 413,117 | 500,000 | 500,000 | 500,000 | 409,911 | 電話代・JCBレス送料等 |
| 印刷製本費 | 26,460 | 30,000 | 30,000 | 30,000 | 28,080 | |
| 賃借料 | 1,020,000 | 1,020,000 | 1,020,000 | 1,020,000 | 1,020,000 | ¥85,000×12ヶ月 |
| 光熱水料費 | 211,868 | 250,000 | 250,000 | 250,000 | 225,767 | |
| 謝礼金 | 86,400 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 税理士報酬 |
| 修理費 | 88,862 | 100,000 | 50,000 | 50,000 | 126,565 | |
| 租税公課 | 22,552 | 25,000 | 25,000 | 25,000 | 22,552 | 印紙代・県民税(¥22,000) |
| 雑費 | 117,418 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 88,099 | 新聞代等 |
| 小 計 | 3,592,114 | 4,127,600 | 4,077,600 | 4,127,600 | 3,737,077 | |
| ③負担金 | | | | | | |
| JCI会費 | 61,875 | 61,875 | 61,875 | 56,375 | 63,000 | ¥1,375×45名 |
| 日本JC会費 | 255,000 | 255,000 | 255,000 | 235,000 | 280,000 | ¥30,000+¥5,000×45名 |
| 国際協力資金 | 82,125 | 82,125 | 82,125 | 74,825 | 91,250 | ¥5×365日×45名 |
| 近畿地区会費 | 83,000 | 83,000 | 83,000 | 75,800 | 92,000 | ¥2,000+¥1,800×45名 |
| 兵庫ブロック会費 | 265,000 | 265,000 | 265,000 | 245,000 | 290,000 | ¥40,000+¥5,000×45名 |
| 淡路島日本遺産委員会 | 500,000 | 500,000 | | | | |
| 小 計 | 1,247,000 | 1,247,000 | 747,000 | 687,000 | 816,250 | |
| 管理費計 | 4,839,114 | 5,374,600 | 4,824,600 | 4,814,600 | 4,553,327 | |
| 経常費用計 | 10,481,604 | 8,769,000 | 8,019,000 | 8,009,000 | 11,442,294 | |
| 当期経常増減額 | △ 292,912 | △ 1,727,500 | △ 937,500 | △ 1,087,500 | △ 549,494 | |
| 2.経常外増減の部 | | | | | | |
| (1)経常外収益 | | | | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| (2)経常外費用 | | | | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 経常外費用増減額 | | | | | | |
| 一般正味財産増減額 | △ 292,912 | △ 1,727,500 | △ 937,500 | △ 1,087,500 | △ 549,494 | |
| 一般正味財産期首残高 | 8,086,779 | 8,086,779 | 8,086,779 | 8,086,779 | 8,636,273 | |
| 一般正味財産期末残高 | 7,793,867 | 6,359,279 | 7,149,279 | 6,999,279 | 8,086,779 | |
| II 正味財産期末残高 | 7,793,867 | 6,359,279 | 7,149,279 | 6,999,279 | 8,086,779 | |

自 2016年 1月 1日
至 2016年12月31日

2016年度 事業収益明細一覧

| 款 | 中科目 | 事業名 | 合計 | 金額（1人当り） | 参加人数 | 小計 | 返金 | 担当委員会 | 備考 |
|------|---------|---------|-----------|----------|------|-----------|----|---------|--------------|
| 事業収益 | 受託事業収益 | | | | | | | | |
| | 小計 | | 0 | | | | | | |
| | 登録料 | 新年会 | 1,500,000 | 15,000 | 100 | 1,500,000 | 0 | 会員交流委員会 | |
| | | 淡路島まつり | 132,000 | 3,000 | 44 | 132,000 | 0 | 会員交流委員会 | 淡路島まつり大会 出立 |
| | | | 294,000 | 6,000 | 49 | 294,000 | 0 | 会員交流委員会 | 淡路島まつり大会 交流会 |
| | | 家族忘年会 | 370,000 | 10,000 | 37 | 370,000 | 0 | 会員交流委員会 | |
| | | | 10,000 | 10,000 | 1 | 10,000 | 0 | 会員交流委員会 | |
| | | | 40,000 | 5,000 | 8 | 40,000 | 0 | 会員交流委員会 | |
| | | | 57,000 | 3,000 | 19 | 57,000 | 0 | 会員交流委員会 | |
| | 小計 | | 2,403,000 | | | 2,403,000 | 0 | | |
| | その他事業収益 | 新年会 | 225,000 | | | 225,000 | 0 | 会員交流委員会 | お祝い |
| | 助成金 | ミライノカタチ | 200,000 | | | 200,000 | 0 | 未来創造委員会 | |
| | 小計 | | 425,000 | | | 425,000 | | | |
| | 合計 | | 2,828,000 | | | | | | |

2016年度 寄付金収入明細一覧

| | | | | | | | | | |
|-----|-------|--|---------|--|--|--|--|--|-------------------|
| 寄付金 | 寄付金 | | 0 | | | | | | |
| | 一般寄付金 | | 150,000 | | | | | | 09会 |
| | | | 360,000 | | | | | | 卒業生記念品12名×¥30,000 |
| | 小計 | | 510,000 | | | | | | |
| | 合計 | | 510,000 | | | | | | |

財 産 目 録

一般社団法人淡路青年会議所

平成28年12月31日現在

(単位：円)

| 科 目 | | 金 額 | 摘 要 |
|-------|--------------------|-----------|------------------------|
| 現金・預金 | 合 計 | 7,409,063 | |
| | 現 金 | 0 | |
| | 淡路信用金庫/本町支店 / 普通預金 | 815,562 | No.0454865 |
| | 淡路信用金庫/本店営業部/普通預金 | 2,706,189 | No.0300206 |
| | 〃 | 500,200 | No.0319813 |
| | 〃 | 160,049 | No.0319821 |
| | 〃 | 502,930 | No.0321012 |
| | 淡路信用金庫/本町支店 / 普通預金 | 2,724,133 | No.0749012 |
| 流動資産 | | | |
| 有価証券 | 合 計 | 10,000 | |
| | 淡路信用金庫 出資証券 | 10,000 | 額面50円 200口 No.21942 |

監査報告

一般社団法人淡路青年会議所
代表理事 中田 勝文 殿

私たち監事は、平成28年1月1日から平成28年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示

しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重

大な事実は認められません。

（2）計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正

に表示してしるものと認めます。

平成28年12月28日

一般社団法人淡路青年会議所

監事

印

監事

印

17. 資 料

1. 各事業別写真
2. 新聞記事切抜

17.資料 事業写真

1月例会～確固たる決意で明日への扉を開く～ 2016年1月13日(水)



2016年度新年会 2015年1月14日(木)



LOM 役員懇談会 2016年2月10日(水)



2月例会～輝く未来のために～ 2016年2月10日()



3月例会～淡路島の魅力と日本遺産～ 2016年3月9日(水)

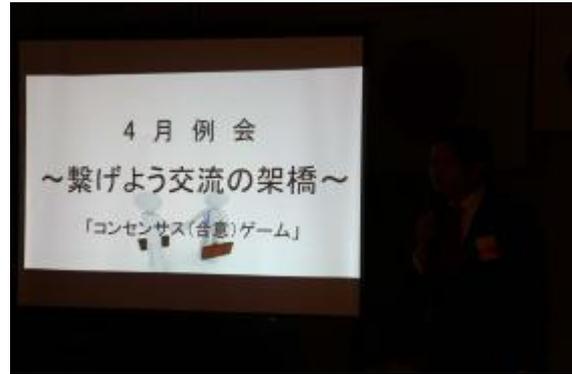


淡路JC説明会 2016年3月16日(水)



4月例会～繋げよう交流の架橋～

2016年4月13日(水)



第22回わんぱく相撲 淡路場所

2016年5月5日(木)





5月例会～邁進疾走 ひとりの力を繋げ～ 2016年5月11日(水)



6月例会～JCプライドの伝承～ 2016年6月8日(水)



次世代育成事業「未来への点鐘」 事業説明会 2016年6月9日(木)



7月例会～その一票が未来を創る～

2016年7月13日(水)



第69回淡路島まつり 踊り大会 2016年8月6日(土)



8月例会 ～言葉のチカラ～ 2016年8月10日(水)



9月例会～未来に残せるモノ～ 2016年9月14日(水)





10月例会～無限大の可能性～ 2016年10月12日(水)



次世代育成事業「未来への点鐘」事業報告 2016年10月19日(水)



淡路島日本遺産認定記念フォーラム

2015年9月16日(水)



11月例会 轍～次代への継承～

2016年11月9日(水)



12月例会 ～未来への想起～

2016年12月17日(土)





家族懇親会 ～感謝のカタチ～



2016年12月17日(土)



12月例会 ～卒業そして次代～

2015年12月9日(水)



わんぱく相撲 参加者を募集

来月5日、淡路市

淡路青年会議所は5月5日に淡路市大谷の津名スポーツセンターで開催する「第22回わんぱく相撲淡路場所」に参加する小学1～6年生を募集している。写真。

相撲を通じて子供たちに礼儀や努力を身に付けても



らおと毎年実施している。国技館で開催される全国大会。低学年は男女混合、高学年は男女別で行い、4～6年の男子優勝者は6月26日の兵庫ブロック地区大会（西宮市）に出場、さらに地区大会で4位以内に入れば、7月31日に東京・両国

国技館で開催される全国大会に参加できる。参加費無料。全員に参加のほかに低学年、高学年に分けて三賞（殊勲、敢闘、技能）が贈られる。申し込みは29日までに同会議所のホームページにある申込書に必要事項を記入して郵送

（〒7656-0013 淡路市下加茂1-1の86）か
FAX（0799・22・6626）
せは（0799・22・6611）。

淡路

■淡路総局
〒656-0021
洲本市栄町3丁目3-6
電話…0799-22-1277
FAX…0799-23-1189
■本社支店
〒656-0021
洲本市栄町3丁目3-6
電話…0799-22-1277
FAX…0799-23-1189
■南あわじ支局
〒658-0436
南あわじ市八木新庄
301-1
電話…0799-42-7411
FAX…
■本社編集部
〒650-8571
神戸市中央区
東川崎町1-7
電話…078-362-7040
FAX…078-366-6501
■本社印刷
〒650-8571
神戸市中央区
東川崎町1-7
電話…078-362-7040
FAX…078-366-6501



国立高度産業技術研究所（茨城県つくば市）が登録国指定文化財となった。淡路市は、登録文化財の調査・研究や保存に努め、文化財の活用を推進する。

3市協力 努力実る



淡路市、三宮市、淡路市が協力して「日本遺産」認定に成功した。写真は認定式の様子。

2年越しの認定に歓声

【淡路市】淡路市、三宮市、淡路市の3市が協力して「日本遺産」認定に成功した。認定式は26日、淡路市役所で行われ、両市長が互を称賛し、今後のさらなる連携を誓った。認定されたのは、淡路市が誇る「日本遺産の島、淡路」である。認定は2014年に開始された「日本遺産」認定制度の第100号認定となる。淡路市は、2014年に「日本遺産の島、淡路」として「日本遺産」認定の申請を提出し、2016年4月に認定された。認定されたのは、淡路市が誇る「日本遺産の島、淡路」である。認定は2014年に開始された「日本遺産」認定制度の第100号認定となる。淡路市は、2014年に「日本遺産の島、淡路」として「日本遺産」認定の申請を提出し、2016年4月に認定された。

7月以降に開催など構想

【淡路市】淡路市は、7月以降に「日本遺産」認定を記念するイベントを開催する構想がある。淡路市は、認定されたことで、さらなる観光振興を図りたいと考えている。具体的には、7月以降に「日本遺産」認定を記念するイベントを開催する構想がある。淡路市は、認定されたことで、さらなる観光振興を図りたいと考えている。具体的には、7月以降に「日本遺産」認定を記念するイベントを開催する構想がある。

文化庁への提出文書要旨

淡路市は、文化庁へ「日本遺産」認定の申請文書として、以下の内容を提出した。淡路市は、認定されたことで、さらなる観光振興を図りたいと考えている。具体的には、7月以降に「日本遺産」認定を記念するイベントを開催する構想がある。淡路市は、認定されたことで、さらなる観光振興を図りたいと考えている。具体的には、7月以降に「日本遺産」認定を記念するイベントを開催する構想がある。

問われる真の「オール淡路」

淡路市は、認定されたことで、さらなる観光振興を図りたいと考えている。具体的には、7月以降に「日本遺産」認定を記念するイベントを開催する構想がある。淡路市は、認定されたことで、さらなる観光振興を図りたいと考えている。具体的には、7月以降に「日本遺産」認定を記念するイベントを開催する構想がある。

神戸新聞事業社
淡路支社
〒656-0021
洲本市栄町3丁目3-6
電話…0799-22-1277
FAX…0799-23-1189

淡路市観光協会
〒656-0021
洲本市栄町3丁目3-6
電話…0799-22-1277
FAX…0799-23-1189



日本遺産に認定され記念撮影する淡路島内の3市長ら。洲本市塩屋

日本遺産に淡路

国生みの島、練り直して認定

文化庁が25日発表した日本遺産に、県内から淡路、洲本、南あわじの3市による『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」が選ばれた。古代から現代に至る島の歴史のストーリーが認定されたことに、活動にあたってきた3市や団体の関係者らから喜びの声が上がった。

人々の営みアピール

3市は昨年度も「日本のほじまりの地」淡路島」として申請したが、歴史的事実の羅列が多くストーリー

性が不十分だったこともあり選ばれず、県内からは篠山市の「丹波篠山デカンショ節 民謡に乗せて歌い継ぐふるさと」の記憶」が選ばれた。そこで3市と県、淡路青年会議所などが連携を深めようと昨年6月に「淡路島日本遺産委員会」を発足。漁業や航海術を備えた淡路島の海の民「海人」に焦点を当てストーリーを練り直した。

申請内容には昨年4月に南あわじ市で見つかった弥生時代前期～中期の「松帆銅鐸」の話も新たに盛り込み、古事記の「国生み神話」の背景にある人々の営みをアピールした。

認定を受けて同委員会は25日、洲本市内で会見を開いた。会長を務める淡路市の門康彦市長は「島の歴史

文化の奥深さや魅力の発信に大きな力を発揮できる」と期待を寄せ、「認定されたストーリーを生かして、国内だけでなく全世界の人々に淡路島の魅力を体感していただきたい」と今後の展望を語った。

日本遺産に選ばれたことで観光面での認知度アップに加えて文化庁からPR活動に対する補助金が出される。同委員会では今後、フォーラムの開催やウェブサイトを開設などを通してPRにあたりたいとしている。

今年度は県内から朝来市など6市町が「近代日本の鉱山システムを生み出した、生野鉱山と馬車の道」、高砂市が「神々の力が宿る石」古代から伝わる竜山石の文化の継承」を申請していた。

淡路



洲本支局 〒656-0024
洲本市山手3-1-16 ガイアビル
☎0799-22-0960 FAX 22-0961

神戸総局 ☎078-333-5115
FAX 333-5120

阪神支局 ☎0798-67-2155
FAX 67-2156

三田支局 ☎079-564-6613
FAX 564-6616

姫路支局 ☎079-222-2431
FAX 222-5010

豊岡支局 ☎0796-22-6201
FAX 22-6202

明石通信部 ☎078-917-0410
三木通信部 ☎0794-82-0040

ホームページ
<http://www.yomiuri.co.jp/local/hyogo/>

折込広告 ☎0799-22-8784

ISO14001 本社・神戸・名古屋・大阪支店認証取得

白蟻 日本しろアリ対策協会々員
日本PCO協会々員

今村白蟻研究所

世界遺産「国宝姫路城」等
シロアリ防除施工実績あります。

神戸本部 神戸市西区伊川谷町潤和 858-1
☎(078)975-8805 日・夜・日
<http://www.imamurakagaku.co.jp> 0120-2779 既刊

「海人」が物語結ぶ

国生み神話・淡路
日本遺産に認定

天地創造の「国生み神話」に始まる、淡路島の歴史絵巻が「日本遺産」に認定さ

れた。島内3市などは、地域に点在する様々な文化財を一つの物語としてつな

は、「古事記」の国生み神話、神々が今の淡路島があ

るあたりの海をかき混ぜた

から滴った潮が固まり、初めて

の証拠は多くが島の海岸部から見つかる。「日本書紀」

銅鑠」をはじめ、古代文化の証拠は多くが島の海岸部から見つかる。「日本書紀」

に登場する海人は航海術に優れ、淡路の塩や海の幸を都に送って食を支え、「御食国」に島を育てた。

認定を目指して昨年6月に結成された「淡路島日本遺産委員会」（会長、門康彦・淡路市長）は、失敗に終わった昨年の初挑戦を糧に、壮大な歴史について海人をキーワードに、ひとつの物語にまとめた。

同委には、3市のほか淡路青年会議所、淡路島観光協会などが参加した。25日、洲本市内で開いた記者会見で、門市長は「3市域それ



門会長（中央）らは「淡路が一枚岩になり、島の魅力を発信しよう」と誓った（洲本市で）

それぞれ育まれてきた、特色のある歴史と個性豊かな文化を、日本遺産として一に束ねた。これから、我々は一枚岩になり、国内外島の魅力を伝えていく、力を込めた。

井戸知事は、この日の例記者会見で「ようやく生みの島として公認されたい」と話した。同委は今後、歴史物語国内外に発信する具体的な方策作りに着手する。以降、情報発信サイト開設や外国人向けツアーなどの事業を展開する予定だ。

読売 4/26

歴史ストーリー認定

国生みの島・淡路



文化庁が25日に認定した「日本遺産」の19件に、県内からは淡路島3市が申請した「古事記」の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」が選ばれた。

【登口修】

「国生みの島・淡路」を冠した歴史ストーリーを認定し、関係機関が連携を図りながらストーリーを生かしたさまざまな活動を展開していく。全国はもとより全世界の人の存在がある。淡路々に淡路島の魅力を体感し、この古代国家形を成る中核を支えた海待している」と述べた。淡路島観光協会の木

島内3市「日本遺産」

日本遺産は、地域の歴史的魅力や特色を通じて文化・伝説を語るストーリーを認定するもの。日本遺産を通じて取り組むことで地域の認知度アップやランド化などが期待される。全国から所件が申請あり、県内からは3件のうち淡路洲本、南あわじの3市の申請が認められた。

国生みの島・淡路のストーリー概要は、天地創造の神話で最初に誕生する淡路島では、
井戸知事「期待」
淡路島の歴史を軸としたストーリーが認定されたことを受け、井戸知事は「松帆銅鑼など一つ一つの遺跡をストーリーとして評価されたこと、公認されたことで、大変期待している」と笑顔で話した。【井上元宏】

4/26

日本遺産第2弾に19件

「国生みの島・淡路」認定

文化庁

文化庁は25日、地域の文化財にまつわる特色あるストーリーを認定する「日本遺産」として、淡路市、洲本市、南あわじ市が共同で申請していた「古事記の冒頭を飾る『国生みの島・淡路』〜古代国家を支えた海人の営み〜」など19件を選んだ。

山市の「丹波篠山」が「丹波篠山」に続き2件目。

淡路島3市が申請した。認定件数は、昨年度分と合わせ37件となった。

あつたと強調。昨年4月に南あわじ市で集中出土した弥生時代の「松帆銅鐸」や、国生み神話ゆかりの伊弉諾神宮（淡路市）、淡路入形浄瑠璃（南あわじ市）など多彩な文化財31点を交えて構成した。

認定はほかに、仙台藩主伊達政宗が育んだ文化に関するストーリー（仙台市など）や、戦国時代に瀬戸内海で活動した「村上海賊」にまつわるストーリー（愛媛県今治市、広島県尾道市）など。

文化庁は2016年度予算に12億円を計上。情報発信や普及啓発などを支援するため認定自治体に配分する。（藤森恵一郎）

日本遺産は、地域が有形・無形の文化財群を活用しながら独自のストーリーを立て、国内外に魅力を発信し、地域活性化を図る狙いで昨年度に創設された。第2回となる本年度は47都府県の219市町村から67件の申請

背景には、古代国家を支えた「海人」と呼ばれる海の民の存在が

認定はほかに、仙台藩主伊達政宗が育んだ文化に関するストーリー（仙台市など）や、戦国時代に瀬戸内海で

認定自治体に配分する。（藤森恵一郎）

神戸 4/26

「島の魅力発信に力」

「国生みの島・淡路」日本遺産に認定

文化庁が認定する「日本遺産」の一つに、淡路島の3市が申請した「『古事記』の冒頭を飾る『国生みの島・淡路』」が選ばれる。各市長らは25日、会見を開いて喜びを語り、地域活性化に役立てていくとした。



3市の再挑戦実る

「日本遺産」は、有形・無形の文化財を組み合わせて地域の歴史や文化を伝える「ストーリー」を認定する制度。今年度は全国から申請があった67件のうち19件が選ばれた。

今回認定されたのは、古事記の「国生み神話」で最初に誕生したとされる淡路島と、島を拠点に活動した海の民「海人」を題材にしたストーリー。神話で淡路島が最初に誕生したと位置づけられた背景には、金属器文化や製塩技術、航海術で畿内の王権や都の暮らしを支えた海人の活躍があった、と説明している。

日本遺産認定を喜ぶ「淡路島日本遺産委員会」のメンバー＝洲本市

化財には、南あわじ市沿岸部で昨春7個が出土した弥生時代の「松帆銅鐙」や、同時代の国内最大規模の鉄器工房跡「五斗長垣内遺跡」(淡路市)、製塩土器が見つかっていた遺跡など、31点を掲げている。島内3市は昨年度も申請したが選ばれず、昨年6月に3市と淡路青年会議所などが「淡路島日本遺産委員会」を結成。申請内容を見直し、2度目の挑戦で実現した。同委員会会長の門康彦・淡路市長らは25日、会見で「淡路島の歴史、文化の奥深さが再認識され、島の魅力発信の大きな力になる」と喜びを語った。今後、遺産認定のPR活動に取り組み、ポータルサイトの開設やツアーの開催などを検討するとしている。(吉田博行)

朝日 4/26

神々からの伝言

熊本地方では余震がつづき、被災者の半月近い避難生活は想像を絶するものである。九州新幹線や高速道路も復旧した。政府や民間の復興支援が加速することを祈ってやまない。

伊弉諾神宮の例祭(22日)では、熊本地方の震災の終息と復興、そして伊勢志摩サミットの無事成功の祈願詞を併せて奏上させていた。その翌日には安倍晋三首相が被災地を視察され、激甚災害指定などの支援策を指示し、天皇皇后両陛下もお見舞いの行幸啓をご検討されるとの報道があった。被災神社の復興支援策を早急に具体化してほしいと心を誓った。

文化庁は昨年からの各地の有形、無形の文化財をストーリーでまとめ、地域の魅力を発信する「日本遺産」の認定をすすめ、東京五輪、パラリンピックが開催される平成32年までには100件を認定したいとしている。
今年の第2弾は42都府県67件の申請

祝・日本遺産認定

317

国生みの島の歴史を世界に発信

から19件が認定され、淡路、洲本、南あわじの3市が共同申請した『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」が、みごと難関を突破して認定された。

今年6月に3市と兵庫県、淡路青年会議所(JC)などが連携して「淡路島日本遺産委員会」を組織し、古事記の冒頭で生まれる淡路島が、古代国家の重要な役割を担っていたことを立証しようと、官民連携の専門委員会をつくって挑み、淡路市教委の伊藤宏幸社会教育課長らが古代の海人族の民謡に乗せて歌い継ぐことこの

「淡路島日本遺産委員会」を組織し、古事記の冒頭で生まれる淡路島が、古代国家の重要な役割を担っていたことを立証しようと、官民連携の専門委員会をつくって挑み、淡路市教委の伊藤宏幸社会教育課長らが古代の海人族の民謡に乗せて歌い継ぐことこの



日本遺産認定を祝い、伊弉諾神宮の大鳥居に看板を掲げた

文明の先進性と活躍を取りまとめた。神社関係では伊弉諾神宮、大和天國魂神社、自凝島神社、遺跡では貴船神社遺跡、五斗長垣内遺跡、出土品では中川原銅鐸、古津路銅剣、昨年4月発見の松帆銅鐸など「構成文化財」計31項目が文化庁に認定された。

日本遺産認定への推進役を務めた淡路JCでは、日本遺産推進会議(吉井崇行議長)を置き、国生み伝承の勉強会も陳情活動なども行ってきた。2月26日には推進会議のメンバーが伊弉諾神宮に参拝し、認定成就を祈願した。

認定会見の25日には、境内上空を取材ヘリが飛び、NHKのインタビュアーもあった。早朝に参拝した吉井議長から「発表会に出席する前にお礼の参拝です」と挨拶があった。5月2日午後には揃って奉告参拝することだ。

同日朝に「祝・日本遺産認定」と看板に揮毫して正面大鳥居に掲げた。精神文化の原点である民族の発祥伝承を世界に発信するとともに「敬神崇祖」の美風を継承する便とした。

(伊弉諾神宮 本名孝至宮司)

産経 4/30

小学生力士60人 熱戦 わんぱく相撲淡路場所

津名スポーツセンターで歓声



熱戦が繰り上げられた「わんぱく相撲淡路場所」＝淡路市大谷の津名スポーツセンター

真剣勝負を通じて健全な肉体と精神を養ってもらうと、淡路市大谷の津名スポーツセンターで「第22回わんぱく相撲淡路場所」が淡路青年会館主催で開催され、1年生から6年生の60人が土俵上で熱戦を繰り広げた。

1～3年生は男女混合、4～6年生は男女別の総当たりリーグ戦方式などで行われた。小さな力士たちがぶつかり合いや投げを繰り出すと、土俵の周りから大きな歓声が飛んだ。

4～6年生の男子優勝者は6月26日に西宮市で開催される「兵庫ブロック大会」に出場、ブロック大会で4位までに入れば、7月31日に東京・両国国技館で開催される全国大会に出場できる。各学年の1～3位は次の通り（敬称略）

①1年生の部 ①村本勇人（神代小）②遠坂颯季（学南小）③松澤瑞（八木小）④2年生の部 ①和泉悠矢（学南小）②眞田音和（北淡小）③木内翔（八木小）④3年生の部 ①佐藤智聡（神代小）②上田亘（同）③菊井琉聖（八木小）④4年生男子の部 ①溝上方雄（松原小）②新宮武（神代小）③山上雅佳（豊列小）④5年生男子の部 ①中川凌我（塩田小）②菊田旺来（由良小）③八川幹（赤松小）④6年生男子の部 ①古東幹平（神代小）②西田まいき（育成小）③難寛瑠星（福良小）④高学年女子の部 ①稲井葵（八木小）②船越美咲（豊列小）③原海藍（市小）

産経 5/10

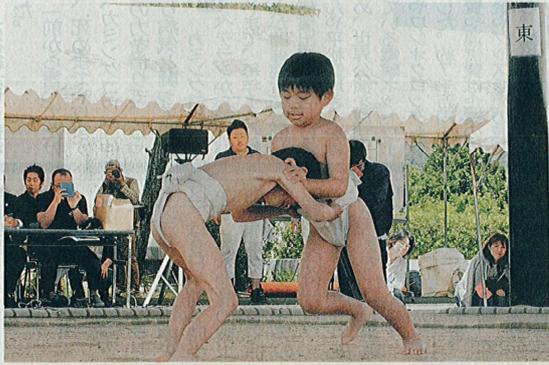
小学生力士はつけよい

淡路市 わんぱく相撲に60人

淡路島の子ども力士たちが熱戦を繰り広げる「第22回わんぱく相撲淡路場所」が5日、淡路市立王侯場（津名スポーツセンター内）で開かれた。小学1～6年生の計60人がまわし姿で、力対力のぶつかり合いに挑んだ。青少年の健全育成を

目的に淡路青年会議所（洲本市）が企画し、1～3年生は男女混合で、4～6年生は男女別に部を設定。リーグ戦やトーナメントで頂点を競った。島内各地から集まった力士たち。行司か

淡路島（白）
わたる
電話 079-422-3737



白熱した取組を展開する子ども力士ら
淡路市立王侯場

ら呼び出しを受けて土俵に上がると、あどけなかった。激しい立ち合

いから突き押しやまわしの奪い合いで一進一退の攻防を見せ、豪快な投げが決まると、応援席は沸き返った。

4～6年の男子優勝者は6月25日に西宮市である兵庫ブロック地区大会に進出。同大会上位4人は全国大会（7月31日、東京・両国国技館）の切符を得る。（佐藤健介）

- 成績は次の通り。
- 1年 ①村本勇人（神代）
 - ②逢坂颯季（学習）
 - ③松下愛琉（八木）▽2年 ①和泉朔矢（学習）
 - ②眞田音和
 - ③北淡
 - ④木内翔（八木）
 - ▽3年 ①佐藤智隆（神代）
 - ②上田巨（神代）
 - ③菊井琉聖（八木）
 - ▽4年男子 ①溝上方皇（松帆）
 - ②新宮武（神代）
 - ③山上確佳（覆刈）
 - ▽5年男子 ①中川凌我
 - ②須田旺来（由良）
 - ③塩田
 - ④大介恭平（志筑）
 - ▽6年男子 ①古東諒斗（神代）
 - ②西田まいき（育政）
 - ③雑賀留星（福良）
 - ▽高学年女子 ①稲井歩美（八木）
 - ②船越美咲（覆刈）
 - ③原潤藍（市）

神戸 5/7

6月2日(木曜日)

富山

富山

富山

富山



淡路J.Cの中田理事長(左)らは、積極的なコンテストへの参加を呼びかけている(洲本市で)

強い力で島描こう

中高生制作CM募集

淡路J.C 故郷の歴史見直して

淡路青年会議所(淡路J.C)は1日、淡路島の中学、高校生に島の魅力を物語る映像作品やコマーション(CM)を制作してもらって、新たな試みを始めると発表した。神話から始まる島の歴史絵巻が「日本遺産」に認定されたことをきっかけに、次の時代を担う世代の視点から、故郷の歴史・文化や伝統を見つめ直す意味を込めているという。

映像作品は10分以内、Cは15秒と30秒で、島の歴史や伝統、文化を背景に、いかに島が魅力的かが伝わるストーリーを求める。優秀作は動画投稿サイト「YouTube」で公開する。ほかに「故郷を誇ること」をテーマにした論文(1200字以内)も募集する。参加申し込みの締め切りは31日まで、作品の提出は8月31日まで。学校の放送部など団体での応募もできる。映像の最優秀作品には10万円、優秀作(2点)は3万円が贈られる。CMと論文はともに最優秀で5万円、優秀に3万円を贈る。

10月下旬に受賞作品の紹介と表彰式を洲本市文化体育館で開く予定だ。淡路J.Cの中田勝文理事長は「子どもたちには、試みに参加して生まれ育った地域の歴史や文化、伝統を見つめ直すことで、淡路島の魅力を島外へ発信し続けることの重要性に気づいてほしい」と話している。

問い合わせは淡路J.C(0799・22・6611)。(斎藤剛)

中高生目線 島を発信

日本遺産PR 映像・CM・論文募る



中高生から淡路島の魅力を伝える映像などを募る
淡路青年会議所のメンバー＝洲本市下加茂1丁目

日本遺産認定記念事業として、同会議所が「ミライノカタチ AMBITION」の「AWAJI」主題イベントを実施。中高生たちに淡路島の歴史や伝統、文化を調べてもらい、その魅力を伝えるドキュメンタリー映像やCM、論文を応募してもらう。

映像は10分以内、CMは15秒か30秒の作品として出品してもらう。論文は「故郷を誇る」というテーマに1200字以内。いずれも個人や団体で応募でき、6月末までにコンテストへの参加を申し込む。作品の締め切りは8月末必着。

調査した内容やPRの方法、獨創性などを審査。最優秀賞には、映像に賞金10万円、CMと論文に各5万円を贈る。10月下旬に洲本市文化体育館で作品の発表会や表彰式がある。映像やCMの受賞作は動画サイトのユーザーで公開し、観光PRに役立てる。

「魅力や誇り感じて」

コンテストを担う同会議所未来創造委員会の竹田良平委員長は「作品づくりを通して中高生たちが淡路島の魅力に気づいてもらい、誇りを感得してほしい」と話している。

応募方法などの詳細は淡路青年会議所のホームページ（<http://awaji-jc.or.jp/>）で詳しく調べ、問い合わせは同会議所（079・22・6011）。

6/4

<第三種郵便物認可>

中高生対象に動画、論文募集

淡路島の魅力PRでコンテスト



淡路青年会議所は中高生を対象に、淡路島の魅力をPRする映像や論文を募るコンテスト「ミライノカタチ」AWAJI」を開催すると発表した。

日本遺産認定の記念事業で、中田勝文理事長は「淡路の歴史や文化が認められたい。子供たちにも誇りを持ってもらいたい」と話し、地元の魅力を子供たちが自身が発見して発信すること

で、故郷に誇りを持ってもらうことが狙いという。コンテストは映像、CM、論文の3部門で、応募資格は淡路島に在住・在学している中学生、高校生。

映像部門はドラマやドキュメンタリーなど10分以内、CM部門は15秒から30秒で、いずれも淡路島がイメージできるものなら動画、静止画、アニメなどの形式は問わない。淡路青年会議所ホームページにある応募

淡路青年会議所は中高生を対象に淡路島をPRする映像などを募集している

—— 洲本市下加茂

用紙に必要事項を記入し、DVD-Rに映像を記録して郵送、持参する。スマートフォンで撮影することもでき、メールでの応募も可。論文部門は「故郷を誇ること」をテーマに1200字以内で提出する。

いずれも「淡路島の魅力を調査・研究し、うまくPRできているか。獨創性、美観性、発想力にすぐれているか」を基準に審査し、映像部門の最優秀賞は10万円、CM、論文部門の最優秀賞は各5万円、3部門とも優秀賞は3万円の賞金が贈られる。映像作品は動画共有サイト「ユーチューブ」で公開される。

6月中旬に参加エントリーを受け付け、作品の締め切りは8月31日。今秋に洲本市内で表彰式が開催される予定。問い合わせは同会議所（☎0799・22・6611）。

岐阜市で7月1日にあった「日本遺産サミット」。「淡路日本遺産委員会」の門塚会長(淡路市長)が認定証を授けられた。胸に熱いものがこぼれてきた。淡路島内各市や各種団体がひとつにして取りまとめた島のストーリー「生みの島、淡路」が日本遺産に認定されたことで世界のものとして美意識を醸成した。淡路青年会議所(淡路JC)は2014年度から「国生尊誼」を基にしたまちづくりの推進を島内外に訴えかけてきた。淡路島の魅力的な場所は島内全域に点在し、情報は単独で発信されるのがほとんど。島外から見た淡路島の印象はさまざま、偏っていた。

淡路青年会議所理事長

中田 勝文

淡路島一丸で日本遺産PR

いものあつたらうに思。淡路島といふはこれだ！とこのことを明確にする確を感じていた。淡路JCはこれを「国生尊誼」に担いでいく。今年で設立54年を迎えたが、島が市10郡たつた初から「淡路はひとつ」の

理念を掲げ、明るい豊かな淡路島の表現のために活動している。島だからと行政区を越えたまちづくりが盛んだと訴え、「淡路市運動」を展開してきた。今回その流れを踏まえ、3市などの調整役として事務局を担った。これはまた「淡路はひとつ」を具現化

させた取り組みを考えている。日本遺産は文化財が15年度に新設した制度だ。地域の文化財を一つのストーリーでつなぐことで、国内はもとより、海外(訪日外国人)の誘致を図り、地域活性化に役立てる仕組み。東京・神奈川に全国で100件の認定を受ける予定だ。



なかた・かつふみ 1976年、洲本市五色町生まれ。同市在住。2016年度、一般団体に淡路青年会議所理事長。中田務店株式会社専務。

しかし、初めて取り組んだ日本遺産は、まだ受け入れられなかった。いま一度、改めて、日本遺産委員会で認定された地域の調査を、持っている団体でも、持っている種別に取り組む。今回の認定を受け、淡路島本遺産を周知して、島民団体が動きだすことをJCとしては、中継対策

見る 思う

神戸新聞 8/7

神楽やガイドで 国生み神話PR

淡路島の「国生み神話」に関連したストーリーが日本遺産に認定されたことを受け、「淡路島日本遺産委員会」は14日、洲本市内で、来年3月末までの事業内容を発表した。文化庁からの初年度の補助金額は約4100万円で、ストーリーに基づいた新たな神楽の創作や核となる「海人」の研究、ガイド育成などを計画している。

(切實滋巨)

日本遺産認定で事業内容発表

県内2件目の日本遺産として認定されたストーリーは「古事記の冒頭を飾る国生みの島・淡路」。古代国家を支えた海人の営みで、島内31の文化財で構成。7月に補助金額の内示を受け、島内3市や県などをつくる同委員会が関連事業の実施に向けて話し合いを進



淡路島日本遺産委員会が作成したロゴマーク(左)とのぼり旗。洲本市内。

洲本で委員会 のぼりとロゴマークお披露目

事務局長の淡路青年会議所によると、事業は情報発信・人材育成約1600万円▽普及啓発約1900万円▽調査研究約23万円▽公開活用のための整備約610万円―の4本柱。記念フォーラムを開催するほか、ホームページ、冊子、マップ作成や、構成文化財に解説・案内板の設置などを計画している。

この日は第一弾として、公式ロゴマークとのぼり旗をお披露目した。ロゴは3種類あり、主要なものは下界をかき回すイザナギ・イザナミの二神と、光り輝く淡路島を表現した。ロゴの入ったのぼり旗(縦180センチ横60センチ)は千本作成し、各市役所や島内の観光施設に設置する。

事務局担当者は「島内外に認定を知らせることに、外国人客にも国生み神話をPRする」と意識して作ったと話している。



淡路島が日本遺産の地であることをPRするロゴマークとのぼり
三洲本市下加茂1で

ロゴマーク、のぼりデザイン完成

ここが日本遺産淡路

淡路島日本遺産委員会は14日、淡路島が日本遺産の地であることを周知するために制作した「ロゴマーク」と「のぼり」のデザインを発表した。国生み神話をモチーフにしており、今後、島民や観光客に「国生みの島・淡路」をPRする。

【登口修】

PR活動思いを一つに

4月、島内3市が文部科学省の日本遺産魅力発信イニシアチブに申請していた。推進事業の補助でロゴマークと「のぼり」を制作。イサナギ・イサナメの神が海を渡って古く代々受け継がれてきた「淡路島アートセンター」が日本遺産認定に依頼して、種類デザインした。のぼりは縦1・8

としてホームページの開設▽案内マップ・冊子の制作▽ガイド育成▽記念プログラム開催▽創作神楽の制作▽淡路島の海人などの調査研究▽構成文化財の解説板・案内板の設置——などに取り組む。委員会事務局を担う淡路青年会議所の吉井洋行・日本遺産推進協議長は「委員会の構成団体の思いを一つに、淡路島が日本遺産の地であることを伝えていきたい」と話している。

毎日 9/15

2016年9月15日 朝日

五訂 淡路 13版 ▲ 2016年(平成28年)9月15日 木曜日 享月 乗斤

神話の島描くロゴ 日本遺産認定PR のほり旗1000本を用意

淡路島内の3市(淡路市、Rするためのロゴマークを
淡路市、淡路市、淡路市)は14日、淡路市に
淡路市、淡路市、淡路市)は14日、淡路市に
淡路市、淡路市、淡路市)は14日、淡路市に



淡路島内の3市(淡路市、Rするためのロゴマークを
淡路市、淡路市、淡路市)は14日、淡路市に
淡路市、淡路市、淡路市)は14日、淡路市に
淡路市、淡路市、淡路市)は14日、淡路市に

淡路島内の3市(淡路市、Rするためのロゴマークを
淡路市、淡路市、淡路市)は14日、淡路市に
淡路市、淡路市、淡路市)は14日、淡路市に
淡路市、淡路市、淡路市)は14日、淡路市に

淡路島内の3市(淡路市、Rするためのロゴマークを
淡路市、淡路市、淡路市)は14日、淡路市に
淡路市、淡路市、淡路市)は14日、淡路市に
淡路市、淡路市、淡路市)は14日、淡路市に

朝日 9/15

「国生みの島」 魅力PR

来月29日・洲本 日本遺産フォーラム

島内3市と淡路青年会議所などをつくる「淡路島日本遺産委員会」が主催。今春、日本遺産に選ばれた淡路島の歴史的な魅力をPRし、島の活性化につなげるのが目的という。フォーラムでは創作演劇「海翔創生神楽」を披露。金器器文化や製塩技術、航海術で畿内の王権や都の暮らしを支えたことを考えられている。海人の活躍を、神楽を通して紹介するという。タレントの春香クリスティーさんと前文部科学相の馳浩さんが「日本の魅力と日本遺産」と題して語り合うトークセッションなどもある。

定員先着500人。参加無料。28日以降に洲本市下加茂1丁目の淡路青年会議所などで配布するチラシ裏面の事前登録用紙に必要事項を記入し、同会議所へファクスで申し込む。問い合わせは同会議所（0799・22・6611）。（吉田博行）

古事記の「国生み神話」で最初に誕生したとも言われる淡路島の日本遺産認定を記念したフォーラムが10月29日、洲本市塩屋1丁目の市文化体育館で開かれる。島を拠点に活動した海人の民「海人」を題材にした神楽の上演や、有識者によるトークセッションなどが予定されている。

記念フォーラムのポスターを掲げる関係者＝洲本市塩屋2丁目

「海人」題材の神楽やトークも

平成28年(2016年)9月30日 金曜日 (淡路) 26

淡路島日本遺産認定記念フォーラム



春香クリスティー 氏



馳浩前文部科学大臣

「日本遺産『国生みの島・淡路』が拓く未来」をテーマに、西村康稔衆議院議員、ホテルニューアワジの木下学社長、淡路おみなおの会の石文字会長らが淡路島の魅力や可能性についてパネルディスカッションを行う。また、島内に住む中高生を対象に島の歴史伝統文化を調査して制作した映像、CM、論文を募集し

淡路島日本遺産認定記念フォーラムのポスター

淡路

AWAJI

洲本支局
〒656-0026
洲本市栄町2-2-15
(本館ビル2階)
☎0799(22)1450
FAX0799(25)2125

神戸総局
☎078(351)1771
FAX078(361)3001

阪神支局
☎0798(33)5881
FAX0798(37)2477

姫路支局
☎079(224)5551
FAX079(226)3191

豊岡支局
☎0796(22)6151
FAX0796(29)2338

今年4月に「古事記」の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」〜古代国家を支えた海人の営み〜が文化庁による日本遺産に認定されたことを受けて、10月29日に洲本市塩屋の市文化体育館で「淡路島日本遺産認定記念フォーラム」が開催される。

馳前文科大臣、春香クリスティー氏ら迎え

淡路青年会議所や島内3市などをつくる「淡路島日本遺産委員会」が主催。国生み神話をテーマに海人達の活躍などを描く創作演劇「海翔創生神楽」が初披露されるほか、「日本の魅力と日本遺産」のテーマで、馳浩前文部科学大臣、スミス出身で日本の歴史文化に詳しいタレントの春香クリスティー氏によるトークセッションが行われる。

来月29日、洲本で開催

た「ミライノカタチ」AMBITION of AWAJI」の優秀作品の表彰式も実施される。

開催は午後0時30分から5時30分まで。無料。参加希望者は淡路青年会議所にメールか、チラシに必要事項を記入してFAX（0799・22・6626）送信する。問い合わせは同会議所（☎0799・22・6611）。

2016年9月30日 神戸

(第3種郵便物認可)

淡路島の「国生み神話」に関連したストーリーが日本遺産に認定されたことを記念したフォーラムが10月29日、洲本市文化体育館（同市塩屋1）で開かれる。ストーリーを題材として制作した神楽が

初披露されるほか、馳浩・前文部科学大臣と、日本の歴史文化に詳しいタレントの春香クリスティーンさんによるトークなどがある。

(切貫滋巨)

国生み神話のストーリー認定

フォーラムは「海翔創生神楽」の上演で幕開け。淡路市の「創生くにうみ神楽」にも関わるエンタメ観光マイスターの表博羅さんが制作した新作で、ストーリーの核となる「海人」の活躍を描いている。続いて馳前大臣と春香さんが「日本の魅力と日本遺産」をテーマに対談する。

その後、淡路島の今後の展望について話し合うパネルディスカッション

日本遺産記念フォーラム

来月29日 本 洲

神楽初披露やトークなど

県内2件目の日本遺産として認定されたストーリーは「古事記の冒頭を飾る『国生みの島・淡路』」。フォーラムは島内3市などをつくる淡路島日本遺産委員会の主催で、参加者を募集している。

ンもある。パネリストには、中高生が制作した映画「西村康稔検察院議員や木下 像・CM・論文のコンテ」学ホテルニューアワジ社「ミライノカタチ」の表彰式と、各部門最優秀の投石文字士会長ら。また、秀賞受賞作のお披露目もある。



日本遺産認定記念フォーラムのポスター＝淡路県民局

「切腹最中」を手にする新正堂の渡辺仁久さん。あんの奥には白い求肥(ぎょうひ)がつまる。「お客さんが、内匠頭のハラの白さよ……って」いずれも東京都港区新橋

の反応もあり、1日3回、会員が企画。地元ゆかりの数個だった売り上げは今、平均4千個に。赤穂義士の討ち入り時期と重なる年の暮

たという。メニューの問い合わせは市産業観光課 ☎079・143・6839(西竹唯太郎)

午後0時半～午後5時半。参加無料。申込用紙を同委事務局までファクス(0799・22・6626)。メールも可。

先着500人で、定員に達し次第締め切る。事務局(淡路青年会議所内) ☎0799・22・6611

国生み神話切手で表現

日本遺産認定記念 49郵便局で発売

熊野の「国生み神話」や「神皇正統記」など、歴にまつわるストーリーが、熊野の歴史を伝える。熊野の歴史を伝える。熊野の歴史を伝える。

熊野の「国生み神話」や「神皇正統記」など、歴にまつわるストーリーが、熊野の歴史を伝える。熊野の歴史を伝える。熊野の歴史を伝える。



切手には神話になんた名所やロケーションなどがデザインされている



日本遺産認定を記念したオリジナルフレーム切手の贈呈式に出席した(左から)井手本昌郎富島郵便局長、門康彦淡路市長、中田勝文淡路青年会議所理事長、安達章日本郵便近畿支社経営管理本部副本部長＝五斗長垣内遺跡

主とした「熊野神皇正統記」などの歴史をあらわした。24日には切手の発行にもなっている。熊野の歴史を伝える。熊野の歴史を伝える。熊野の歴史を伝える。

田原市長は「神戸市は、本市である記念フォーラムなどで、熊野の歴史を伝える。熊野の歴史を伝える。熊野の歴史を伝える。」

(内田世紀)

産経新聞 10/26

「国生みの島・淡路」切手販売

日本遺産認定を記念

今年4月に「『古事記』の冒頭を飾る『国生みの島・淡路』」が古代国家を支えた海人の営み」が文部科学省から日本遺産に認定されたことを喜び、オリジナルフレーム切手「国生みの島・淡路」が完成し、淡路市黒谷の五ノ長理内遺跡で贈呈式が行われた。

日本郵便株式会社は、製作したもので、淡路市形浄瑠璃、松原鎮、三角城跡、伊佐神宮、五ノ長理内遺跡など日本遺産の構成文化財9種を、淡路島日本遺産委員会が制作したロゴマークの計10種がデザインされた切手がセットになっている。シート13000枚で、黒4枚、白2枚を販売している。問い合わせは、郵便局で24時から千部販売

贈呈式では、同委員会の淡路市長と同野事長、淡路青年会議所の中田勝文理事長、日本郵便から完成した切手が手渡された。市長は、「この切手は、初めて、今後色々な意味で活用していきたい」とあいさつした。切手は郵便局のネットショップでも販売している。問い合わせは、郵便局で24時から千部販売



オリジナルフレーム切手「国生みの島・淡路」

「国生みの島」淡路に誇りを



日本遺産認定記念フォーラムでトークセッションを行う春香クリスティーンさん（左）と馳浩氏。洲本市文化体育館

洲本で「日本遺産認定記念フォーラム」

今年4月に「古事記」の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」―古代国家を支えた海人の営み―が文化庁による日本遺産に認定されたことを受けて29日、洲本市塩原の市文化体育館で「淡路島日本遺産認定記念フォーラム」が開催され、約500人が来場した。

淡路青年会議所や島内3市などでつくる「淡路島日本遺産委員会」が主催。井戸敏三知事が「古代への夢やロマンをはせることができる淡路を多くの人に知ってもらい、訪ねていただきたい」とあいさつした。国生み神話をテーマにした創作演劇「海翔創生神楽」が初披露され、馳浩前文部科学大臣から同委員会に認定証が手渡された。

スイス出身で日本の歴史や文化に詳しいタレントの春香クリスティーンさんと馳氏は、

今年4月に「古事記」の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」―古代国家を支えた海人の営み―が文化庁による日本遺産に認定されたことを受けて29日、洲本市塩原の市文化体育館で「淡路島日本遺産認定記念フォーラム」が開催され、約500人が来場した。

淡路青年会議所や島内3市などでつくる「淡路島日本遺産委員会」が主催。井戸敏三知事が「古代への夢やロマンをはせることができる淡路を多くの人に知ってもらい、訪ねていただきたい」とあいさつした。国生み神話をテーマにした創作演劇「海翔創生神楽」が初披露され、馳浩前文部科学大臣から同委員会に認定証が手渡された。

スイス出身で日本の歴史や文化に詳しいタレントの春香クリスティーンさんと馳氏は、

は、「日本の魅力と日本遺産」のテーマでトークセッション。日本遺産を制定した際の文科大臣だった馳氏は「日本遺産は各地の歴史、文化、風土を物語として提案してもらった。子供たちに、生まれ育った場所が誰のおかげであるのかを伝えてほしい。地域に誇りを持つことが、他の地域や国を尊重することにつながる」などと設立経緯を解説した。

一方、春香さんは同市立淡路文化史料館で手作りした銅鑼を披露し、「淡路島に初めて来て面白い所だと知りまして、SNSなどで発信するところとで外国の人も行ってみよう、となる」と話した。

フォーラムではほかに、島内在住の中学生が島の歴史や伝統を調査して制作した映像やCM、論文の表彰式も実施された。

産経 10/30

2016年10月30日 神戸



2016年10月30日 読売



淡路島の魅力 PRしよう



日本遺産の淡路島の魅力などを語り合う春香クリスティーンさん（左）と純浩さん＝熊本市文化体育期

洲本で日本遺産認定記念フォーラム

古事記の「国生み神話」で最初に誕生したとも言われる淡路島が今春、日本遺産に認定されたのを記念したフォーラムが29日、洲本市塩屋1丁目の市文化体育館で開かれた。タレントの春香クリスティーンさんと前文部科学相の馳浩さんらが、日本遺産と淡路島の魅力などについて語った。

春香さんと馳さんは「日本の魅力と日本遺産」と題したトークセッションに出演。馳さんは「日の当たらなかつたところに光を当てよう」と、日本遺産の認定に取り組んできたと説明。「古里にこんなに素晴らしいものがあるんだと国内外にPRし、観光戦略として打ち出したい。輝もれた素晴らしいさをどんどん振り起こして」と訴えた。

初めて淡路島を訪れたという春香さんは、南あわじ市で発見された「松崎廻廊」の模型づくりなどを体験したエピソードを披露。淡路島はこんなに面白い所だったんだと感じた。SNSで発信すれば、外国人観光客が訪れるきっかけになる。面白い所をPRしてほしいと呼びかけた。

フォーラムの冒頭では、「国生み神話」などを題材にした創作演劇「海神船生神楽」を上演。淡路島が日本遺産に認定されたことを示す認定証も会場で披露された。フォーラムは、島内3市と淡路青年会議所などでつくる「淡路島日本遺産委員会」が主催。島民ら約500人が参加した。（三田博行）

朝日 10/30

神戸新聞

(神戸新聞社発行)

中高生が島の魅力PR

文化体育館であった「日本遺産認定記念フォーラム」で表彰式があり、最優秀の作品が披露された。(切真照巨)

淡路島内の中高生による島の魅力をPRする映像・CM・論文のコンテスト「ミライノカタチ」の受賞者が決まった。29日に洲本市

主催者陣は、ドキュメンタリー映像部門が一堂、中学校1年の相木太志さん(13)、洲本市(宮城郡)の生徒らが取り組む「熊牛田生み神楽」に参加しており、市議らの補選風景を中心とした「熊牛田神楽の歴史あるあまごきり」の映像を制作した。CMは洲本市高小の伊藤直樹さん(11)、放送部員らに制作してもらったという。



映像・CM・論文コンテスト

い、淡路(Howay)とハワイ(Hawaii)のアルファベット表記が思いのこで「熊牛田生み神楽のハワイ(淡路島)のミライノカタチCMをまやあなを他にはない魅力を送った。1000年、2000

洲本 最優秀の3人を表彰

なれない」と意気込みを語った。

「国生み神楽」に開催したストリークの日本遺産認定を記念した表彰式で、最優秀の作品が発表された。各部門の最優秀賞受賞者は、次の通り。

【映像】熊田雅也(洲本高2年)、中田夢沙希(洲本高2年)の2人が最優秀賞を受賞した。この2人は、熊田雅也さんが撮影した「熊牛田生み神楽」のCM制作に携わった。今年、熊田雅也さんに送られるという。

各部門の最優秀賞受賞者、左から
①CMの伊藤直樹さん、映像の相木太志さん、論文の近藤翔さん
②洲本市文化体育館

神戸 10/31

2016年11月28日 神戸



2016年11月30 神戸



2017年度

事業計画書

2017年1月1日～12月31日

**一 般 社 団 法 人
淡 路 青 年 会 議 所**

一般社団法人淡路青年会議所

2017年度 スローガン

伝統の昇華

～魅力を新たな領域へ～



2017年度 理事長

時枝 弘記

1. 理事長所信

はじめに

日本人は先祖を大切にするという時間を軸とした縦糸と、家族をはじめ仲間や隣人を大切にするという空間を軸とした横糸を古くから連綿と今に紡いできました。世界で一番長く続く国の民であるがゆえに、潜在意識の中に太古から受け継がれてきた先祖に対する感謝の気持ち、自然への畏敬の念、そして周囲に対して礼節を重んじる心を育んできました。災害などが起き困難な状況にあっても、自己中心的ではなく、他人への配慮を忘れないその姿が、世界から大きな賞賛を受けたのは記憶に新しいところです。そして私たちに受け継がれているそれらの精神は、たやすく変化するものではありません。しかし、何より大切な伝統精神として、素晴らしい形で次世代へ守り伝えていくために、より強く意識する必要があるものと考えます。

創始の志

我々の活動の根源は「淡路はひとつ」という「創始の志」であります。1963年の設立時、先輩諸兄が未来を見据え描かれた想い、そして今日に至るまで情熱をもって遂行されてきた運動や活動があるからこそ、今当たり前に存在するこの環境に心からの感謝を忘れてはなりません。

本年、その「創始の志」に想いを馳せる節目の年となりました。節目の年において最も重要なのは、神道の言葉を借りるなら「中今」という思想であります。今の自分は点として生きているのではなく、過去と未来を繋ぐ線上に生きているという考え方です。過去をしっかりとした形で未来へ繋ぐためには、これまでに積み重ねられてきた歴史を単に振り返るという程度のものではなく、強烈に意識し理解する必要があります。かつての周年とはメンバー数においても経験値においても大変厳しい現状であると認識しています。しかし、だからこそ、チャレンジできるものがあるのも事実です。54年の歴史をメンバー全員に刻み、そして、若さゆえの何事も怖れない勇気と発想力を駆り立てることで、より良い形で受け継がれるべき淡路JCの道を明らめることができると確信しています。

伝統の昇華

我が国最古の歴史書である「古事記」に書かれている伝承には、本来日本人が大切にしなければならない精神が記されています。「淡路島」は、その冒頭を飾る「国生み神話」の中心的な舞台であり、それは、日本で最初に誕生した島、つまりは日本の「はじまりの地」という唯一無二のアイデンティティを持っていることを表しています。

昨年、この「国生み神話」を核とした島内全域にまつわるストーリーが、文化庁の「日本遺産」に認定されました。「日本遺産」は地域に残る文化財を活かした観光振興施策であり、2020年の東京オリンピックに向け、大都市だけではなく地方に人の流れをつくるためのインバウンド（訪日外国人）誘致施策でもあります。淡路JCとして「日本遺産」創設当初から関わり、淡路島三市をはじめ関係諸団体の皆様方にご理解とご指導を得、「淡路島」が一丸となって強く推進してきたからこそその認定は、まさに悲願成就という言葉がふさわしい結果と言えるでしょう。しかしながら、それはあくまで一つの通過点であり目的ではありません。今後は「日本遺産」という武器を手に、「淡路島」の独自性ります。すなわちそれは、「はじまりの地」という唯一無二のアイデンティティを磨き上げ、世界にその存在を示すという事であり、それを「淡路島」という意思決定機関を持って推し進めていくという事に他なりません。またそれだけでなくそのアイデンティティを地域に住む人々がしっかりと認識し、主体的に携わっていくことが必要不可欠であり、さらには内輪だけにその価値をとどめるのではなく、より広域的に多くの人を巻き込んでいく必要があります。そして、その際に重要なのは時代に即した斬新で刺激的な手法、見た目の美しさやセンスの良さなどをもって人の心を掴んでいくことです。歴史や伝統を背景にしたものはどうしても保守的にならざるをえず、価値を守っていくという土壌が優先されがちになります。しかし、それらを活かす魅せ方の工夫や方法論がなければ伝播していきません。いつの時代も若者世代の興味が時代を動かしていくように、次世代への土壌づくりを視野に入れた活動が必要になってくるものと確信します。

継続と発展

近年、減少し続ける会員数に歯止めをかけるために、是が非でもという想いで会員拡大を行ってまいりました。それは、これまでの先輩方が残してこられた歴史と伝統を死守し、未来へ繋ぐための大前提であるからです。その結果、入会人数という意味では明確な成果を出すことができておりますが、卒業生が多い年が続く現状は若干の減少傾向にあります。近年の成果を受け止めその想い

は継承しつつも、今年度は特に今後を担う世代に、より一層フォーカスを当てていく必要があるものと考えます。なぜならば次代を担うメンバーの育成こそが組織の継続的な発展を生むからです。会員拡大活動において必要なのは発信力です。当然会員数が少なければ発信力が弱くなると考えられがちですが、それは活動を縮小している場合に当てはまることです。社会に対して影響力のある活動を行っている自負があるからこそ、戦略的かつ効果的な広報をすることで発信力は高まります。我々の志を、より魅力的かつセンセーショナルに伝え多くの若い世代の心をつらぎ掴んでいきましょう！

最後に

地域のために活動する前に、まずは地域に生かされ育まれてきたことを振り返る必要があります。人は自分の知る範囲外にもたくさんの人に支えられ、助けられています。自らの幼少期に想いを馳せてみましょう。情緒あふれる懐かしい風景や人々とのさまざまなふれあいは、美しい思い出として人生の中で大切な部分を占め、苦しい時や悲しい時の心の支えになっているはずです。実はそれそのものが周りに育まれたということであり、人を含め地域から受けた大きな恩なのです。あなたがいま元気に行われているのは、まぎれもなく多くの人々の助けがあったからではないでしょうか。その感謝の気持ちを、よりいっそう地域に貢献する想いへと変えていきましょう。そして今後生まれてくる子どもたちの素晴らしい未来を描き、今を懸命に生きることにも価値を見出しましょう。40歳までの限られた時間を燃え滾るような情熱で行動してまいりましょう。それが未来の新たな伝統となることを信じて。

2. 基本方針

一、 伝統を重んじ何事も丹念に行動する。

一、 感謝の心を忘れずに行動する。

一、 未来へ繋ぐという覚悟をもって行動する。

3. 副 理 事 長 抱 負

副理事長

波戸大樹

藤川龍介

竹田良平



我々一般社団法人淡路青年会議所はこれまで54年の歴史の中で、明確な大義のもと先駆的な活動を続けて参りました。その歴史を諸先輩方が積み上げてきたからこそ組織力が認められ、昨年には島内3市の調整役として「日本遺産認定」という偉業を成しえることができたのは言うまでもありません。そして本年度その礎を胸に、淡路JCは55周年という節目を迎えます。

「淡路はひとつ」という理念の下活動してきた我々にとって本年は周年、そして日本遺産の事業が本格的に始動する年として更なる組織力が求められます。組織形成において必要なことは何よりもまず、志を同じくする多くの仲間を得ることと考えます。そのためにはメンバー一人ひとりの拡大意識を強化し、一丸となって拡大活動に取り組むことが不可欠であり、その活動基盤を確固たるものとするために、指導的立場からも率先して活動して参ります。また、よりよい活動を展開するためには、入会年度に関係なく、能動的な参画意識をもって活動していくことが必要となります。そのためには、JC活動の基盤でもある委員会、例会、事業への協力体制を強化するという原点に立ち戻った意識享受を成していかなければなりません。そしてそれらを成しえるためにはより一層の人と人としての連携、つまりは絆を育むことが重要となります。本年度はより強い絆を醸成するために、常に相互理解を意識した交流を重ねていくよう努めます。節目の年度であるからこそ、組織力を確固たるものとし、誰もが誇れる組織として参りましょう。

私たち副理事長は本年度の組織をこれまでの伝統を紡ぎ、更なる高みへ昇華させることが最も重要な使命であります。組織全体が理事長の想いを形にし、明確な意思を組織に、そして社会に発信できるよう全身全霊で取り組んで参ります。

基本方針

1. 理事長の指し示すビジョンをメンバーへと伝播し、意識共有を徹底します。
2. 組織力向上を常に意識し、個と個のつながりを高めて参ります。
3. メンバーの意識高揚を図ると共に、メンバーのJC活動を全力でサポート致します。

4. 専務理事抱負

専務理事 藤井宏昌



我々の活動は、本年で55年を迎え、「明るい豊かな淡路島」を実現するために、諸先輩方の高い志のもと活動を展開してまいりました。このような節目の年に改めて創始の活動目的に立ち返り、伝統を再認識し、諸先輩方の功績に感謝と敬意を表すとともに、途絶えることなく受け継がれてきた想いを継承していかなければなりません。その上で、これまでの伝統や思いを踏襲しつつ、時代に即した組織へ展開していく必要があります。

志同じくするものが集い共に切磋琢磨しながら、情熱を持って運動している我々にとって、人づくりや街づくりの重要性を発信し続けることはこれからも変わることはありません。まずは、誰よりもそのことを自らが認識し、これまで以上に発信力を強化していく上で、メンバー一人ひとりを魅力と活力ある人財へと成長させることが必要不可欠であります。互いの良き心響かせる関係構築こそが、今後の拡大活動へも大きく寄与していき、さらなる発信力強化へと繋がられることは間違いありません。専務理事として、常にLOM全体の把握に努め、一人ひとりに目配りや気配りを心掛け、理事長の指し示すビジョン遂行のためにメンバー各々に与えられた役割を全うさせることだけではなく、メンバーの成果にも関心を持ち続け、メンバーのフォローアップをしていきます。また、対外的な窓口としての重要な役割もあり、他LOMや特別会員との連絡・連携を密に行ない、今後のJC活動や見識の幅をよりメンバーが広げられるように迅速な情報を提供していくことを心掛けてまいります。

最後に、LOMの根幹を担う立場であることを自覚し、理事長の指し示すビジョンを形にできるよう全体の運営をしてまいります。その結果、全員が同じ方向を目指し一丸となって行動を積み重ねることにより、「明るい豊かな淡路島」が実現できると確信いたします

基本方針

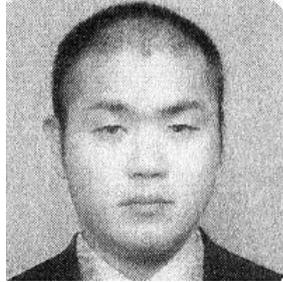
1. 理事長が指し示すビジョンを誰よりも理解し、メンバーに浸透させます。
2. メンバー同士が切磋琢磨しながら新たな自分を見据えていける環境を整えていきます。
3. 組織運営を円滑化していくためにも凡事徹底し、皆のコンセンサスを図っていきます。

5. 監事 抱負

監事 中田 勝文



新家 春輝



我々一般社団法人淡路青年会議所は 54 年間にわたり諸先輩方が築き上げてくれた英知と勇気と情熱が脈々と受け継がれています。今年は 55 周年を迎え、新たな一步を踏み出しいくためにも 55 代時枝理事長のもと、各委員会が目指している目標、目的を見失うことなく事業、予算の執行が行われるよう適切なアドバイス及び監査をしてまいりたいと思います。

基本方針

1. 第三者の立場として、客観性を持った目線からの確なアドバイスを行います。
2. 青年会議所メンバーとしてのあるべき姿を追求し、指導いたします。

6. 公室長・委員長事業計画並びに予算及び役割業務

理事長公室

公室長 植野 泰幸

スローガン

「以心伝心」～Connect Feeling～



本年度は節目の年を迎え、新たな一步を力強く踏み出していく上でも、理事長が指し示す所信のもと、各委員長の想いの詰まった事業を円滑に進める必要があると考えます。そのためには、まずは理事長の秘書的業務や理事会・三役会の設営等、基礎的業務を迅速かつ正確に遂行することはもちろんのこと、自らの立場を客観的に鑑みることと私に与えられた職務を最大限に実行する必要があると考えます。

本年度、理事長公室として「こころ」という言葉を大きな柱に活動してまいります。各事業が円滑に行われるためにも、理事会においてそれぞれの事業を全員の責任として捉え、活発な議論の場になるようにサポートさせていただきます。資料の事前確認を行うことはもちろんのこと、三役と委員長を繋ぐパイプ役として、組織の現状を常に把握し、ただ形式的な情報の共有を行うだけではなく、これまでの理事としての経験を活かし「想い」の部分も踏まえた正確な情報を迅速に発信させていただきます。そして縦の関係だけではなく、各委員長との横のつながりの連絡調整役として、各委員長と関わり合いを深めることで、委員長間の「志」を繋いでいきます。また、わんぱく相撲淡路場所では、日本の国技である相撲が重んじる礼儀礼節、自分の体一つで相手と組み合い勝った時の喜びや、負けた時の悔しさ、負かした相手に対する思いやりの精神、支えてくれている人への感謝など、人生を歩んでいく上で必要な要素を子どもたちに伝え、「心」豊かな青少年の育成を図ります。

理事長公室が積極的に関わり合いを持ち、三役、各委員長そして各委員会の「こころ」を繋ぐことが正確な組織運営となり、ひいては「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信いたします。

事業計画並びに予算及び役割業務

| 事業計画 | 実施月 | 内容 | 対象者 | 予算額(円) | 備考 |
|---------------------------|-----|--------------------------|--------------|---------|-------|
| ・会員名簿の作成 | 2月 | 会員名簿の発行 | 正会員 特別会員 | 330,000 | |
| ・総合資料の作成 | 2月 | PDFデータ及びCD-R | 正会員 | 1,000 | 保存用 |
| ・わんぱく相撲淡路場所の企画・ 設営及び運営 | 5月 | わんぱく相撲淡路場所 の企画・設営及び運営 | 淡路島在 住小学生 | 130,000 | 会場費等 |
| ・例会の企画・設営及び運営 | 12月 | 12月の例会の企画及 び運営 | 正会員 準会員 | 100,000 | 例会設営費 |
| | | | 合計 | 561,000 | |

| 役割業務 | 実施月 | 業務内容 |
|----------------------------------|-----------|----------------------|
| ・2017年度総合資料の作成 | 2月 | わんぱく相撲淡路場所の企画・設営及び運営 |
| ・会員名簿及び名刺の作成 | 2月 | |
| ・わんぱく相撲淡路場所の企画・ 設営及び運営 | 5月 通年 | 例会の企画・設営及び運営 |
| ・例会の企画・設営及び運営 | 11月 通年 | |
| ・例会欠席者へのアテンダンスの 案内及びフォロー | 通年 | |
| ・理事長の秘書的業務及び専務事 の補佐 | 通年 | |
| ・一般庶務事項及び発送文書の管 理 | 通年 | |
| ・選挙管理委員会の設置 | 通年 | |
| ・褒賞に関する報告書作成及び褒 賞委員会企画・設営及び運営 | 通年 通年 | |
| ・財務に関する処理及びコストダ ウンの調査 | 通年 | |
| ・年会費・入会金の調査 | 通年 | |
| ・会費の徴収 | 通年 | |
| ・渉外業務全般 | 通年 | |
| ・事務局全般にわたる業務及び管 理 | 通年 | |
| ・理事会の設営及び議事録の作成 | 通年 | |
| ・三役会の設営 | 通年 | |
| ・通信案内簿及び諸記録の整理 | 通年 | |
| ・55周年事業に関する業務 | 通年 | |
| ・会員拡大に関する業務 | 通年 | |
| ・公室活動の記録保存 | 通年 | |
| ・全事業への参加協力 | 通年 | |
| ・理事長諮問に関する答申業務 | 通年 | |

スローガン

志～感謝を伝え、想いをつなぐ～



一般社団法人淡路青年会議所は、本年度 55 周年を迎えます。2つのスポンサーJCのもと設立した淡路JCは、将来の淡路島のよりよき発展を担うべく新たな意義と情熱を持ってこれまで活動してまいりました。そして、この節目の年に淡路JC創立の原点である「淡路はひとつ」という活動の根源とこれまでの足跡を知る機会を創り、多くの方への感謝を伝えるとともに、私たちの伝統と志を発信しなければなりません。

55周年記念事業では、先輩諸兄をはじめ、行政・各種団体の皆様に対して54年間の感謝を伝え、我々のJC運動を未来へ引き継ぐ場を創造します。そして、54年間淡路島について考え、まちづくりを行ってきた淡路JCの魅力を外へ発信し、参加頂いた方々に淡路島の明るい未来を示します。そのために、全メンバーが関わることのできる55周年記念事業実行委員会を組織します。実行委員会では議論を深められる議案上程と統一性のある55周年記念事業実施のために、資料の確認だけでなく、各委員会と綿密に連絡をとり積極的に関わることで、団結した淡路JCによる55周年記念事業の成功へ導きます。そして担当委員会が全力を尽くすことができ、記念事業へ向けて一致団結した淡路JCとなるために、役割分担を明確に示します。メンバー数が減っている近年の状況だからこそ、メンバー一人ひとりと密に関わりをもち多くの協力をえることは、絆を深めることができ、我々の成長へ繋がる機会となります。チャレンジ精神を発揮したJC運動を行うことで、節目を単なる時間の区切りではなく、記念すべき年となるよう全力を尽くします。

54年間の歴史を次の世代へ向けて引き継ぐべく、淡路JCの伝統を意識し未来への礎になる機会とします。そして関係各者へ感謝を伝え、創立の志を再確認し、我々が魅力ある組織であることを示すことが「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信しております。

事業計画並びに予算及び役割業務

| 事業計画 | 実施月 | 内容 | 対象者 | 予算額(円) | 備考 |
|---------------|------------|------------------|-------------|-----------|----|
| 55周年記念事業実行委員会 | 11月～ 8月 | | 正会員 | 2,300,000 | |
| 1月例会 | 1月 | 例会の企画・設営及び 運営 | 正会員・準 会員 | 85,000 | |
| 4月例会 | 4月 | 例会の企画・設営及び 運営 | 正会員・準 会員 | 61,000 | |
| | | | 合計 | 2,446,000 | |

| 役割業務 | 実施月 | 業務内容 |
|---------------------------|------------|--------------|
| ・ 例会の企画・設営及び運営(2回) | 1・4月 | 例会の企画・設営及び運営 |
| ・ 例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー | 通年 | |
| ・ 55周年記念事業に関する企画・設営及び運営 | 11月～ 5月 | |
| ・ 公的出向の際のLOMナイトの企画・設営 | 通年 | LOM ナイトの設営 |
| ・ 会員拡大に関する業務(関連委員会との連絡調整) | 通年 | |
| ・ 委員会活動の記録保存 | 通年 | |
| ・ 全事業への参加協力 | 通年 | |
| ・ 理事長諮問に関する答申業務 | 通年 | |

スローガン

受け継ぐ伝統、伝える喜び



どんな物事においても、達成するには、準備と手筈が基本です。我々一般社団法人淡路青年会議所も、理事長の所信に基づき各委員長が円滑な事業を行うには、手順のよい設営及び運営が必要不可欠です。我々事業推進委員会は各委員会に正確かつ円滑な事業の場を提供できるよう準備、サポートすることを目的としています。又、例会の企画、設営及び運営、総会の設営及び運営という淡路 JC の根幹を担うのが役割と考えます。

拡大活動は常に行っておりますが会員数は若干の減少傾向にあります。また卒業生の数が多く、経験豊かなメンバーの多くは卒業されて、その結果、経験の浅いメンバーの割合が多くなりました。このような状況でも 55 年の歴史の中で培われてきた事業の成り立ちやプロセスを、今後の淡路 JC を担うメンバー達に繋ぎ、そして進化の積み重ねが組織をより発展させることが出来ます。それこそが、我々淡路 JC の伝統だと考えます。事業推進委員会はその誇り高き伝統を、様々な事業の設営の補助業務を通じて次の世代に伝えていく事が、使命だと認識致しております。また、総会や例会など淡路 JC の原点とも言える重要性を全員に認知してもらいます。その為にも、各委員長との連携を図り、例会や事業の意義や意味合い、大切さ等を伝え、全員が自覚を持ち、自ら進んで行動する事ができるよう務め、LOM 全体が活性化できると確信します。事業を行う事によりメンバー同士が関わり合い、得る事の出来る経験や学びは、一人ひとりの成長に繋がり、その自己成長こそが組織の発展となり今後の淡路 JC を担うものの使命であると考えます。

当委員会が行動をもって、着実に遂行していくことにより、LOM の活動がスムーズで活発になり、淡路 JC が継続と発展していく組織となっていく原動力になるものと確信いたします。

事業計画並びに予算及び役割業務

| 事業計画 | 実施月 | 内容 | 対象者 | 予算額(円) | 備考 |
|----------------|-----|----------------|------------|----------|---------|
| ・ 総会の設営及び運営 | 1月 | 総会資料及び議事録の作成 | 正会員 準会員 | 0円 | 一般会計会議費 |
| ・ 例会の企画・設営及び運営 | 5月 | 5月例会の企画・設営及び運営 | 正会員 準会員 | 69,000円 | 例会設営費 |
| ・ 例会の企画・設営及び運営 | 6月 | 6月例会の企画・設営及び運営 | 正会員 準会員 | 21,000円 | 例会設営費 |
| ・ 例会の企画・設営及び運営 | 7月 | 7月例会の企画・設営及び運営 | 正会員 準会員 | 21,000円 | 例会設営費 |
| ・ 総会の設営及び運営 | 8月 | 総会資料及び議事録の作成 | 正会員 準会員 | 0円 | 一般会計会議費 |
| ・ 総会の設営及び運営 | 12月 | 総会資料及び議事録の作成 | 正会員 準会員 | 0円 | 一般会計会議費 |
| | | | 合計 | 111,000円 | |

| 役割業務 | 実施月 | 業務内容 |
|-----------------------------|---------|------------------------|
| ・ 例会の設営及び補助業務(12回) | 通年 | 5月、6月、7月例会の企画・設営及び運営 |
| ・ 例会の企画・設営及び運営(3回) | 5・6・7月 | |
| ・ 例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー | 通年 | |
| ・ 総会の設営及び運営、総会資料及び議事録の作成 | 1・8・12月 | 総会の設営及び運営、総会資料及び議事録の作成 |
| ・ 55周年事業に関する業務(関連委員会との連絡調整) | 月 | |
| ・ 会員拡大に関する業務(関連委員会との連絡調整) | 通年 | |
| ・ ゴルフ同好会・卒業コンペの補助業務 | 通年 | |
| ・ 委員会活動の記録保存 | 通年 | |
| ・ 全事業のサポートに関する業務 | 通年 | |
| ・ 全事業への参加協力 | 通年 | |
| ・ 理事長諮問に関する答申業務 | 通年 | |

スローガン

共創力～人の繋がりを拡大へと繋げる～



一般社団法人淡路青年会議所では近年の拡大成果により、多くのメンバーが入会しました。しかし、その一方で多くの先輩方が卒業し、全体をみると会員数は若干の減少となってきております。組織を継続していく上で、将来のことを思えば起こるべき問題に備える必要があり、そのためには先を見据えた拡大活動が必要不可欠です。またそれを展開する上で、魅力溢れる情報発信が重要となります。

今年度の拡大においては、長期的に活動を共にできるメンバーの入会に力を入れ、安定的な組織運営が継続的に出来る体制づくりに努めて参ります。この拡大活動を繰り広げていく上で必要となるのは、これまで以上に多くの情報を共有することであると考えます。現役メンバーはもとより、特別会員の皆様との連携を図るとともに、今後はこれまでの枠にとらわれない、更なる協力体制を構築する取組みが必要であり、そこで得た貴重な情報はしっかりと収集し、より価値の高い情報となるよう精査することで、入会者数の向上に繋げて行きます。また広報においては、淡路JCがどのような組織で、こういった活動をしているのか、対外者目線で理解しやすく幅広い層に注目されるような情報発信を心掛けることで拡大にも繋がるよう、戦略を立てて取り組んで参ります。そして何より、これらの成果により得た候補者が入会後も意欲的にJC活動に取り組み、さまざまな活動に参画しやすくすることが大切です。その為にはまず、我々メンバー同士が積極的に関わり合う姿を見せていくことが必要であるということ意識し、率先して行動して参ります。

「会員拡大」の重要性は、今後JC活動を継続的にやっていく上で重要な課題であることは言うまでもありません。だからこそ「誰か」がではなく「自分自身」が拡大意識を持ち取り組むことで、発信力ある魅力溢れる組織になると確信しています。

事業計画並びに予算及び役割業務

| 事業計画 | 実施月 | 内容 | 対象者 | 予算額(円) | 備考 |
|------------------------------------|-----|----------------------------------|----------------------------|---------|---------------|
| ・ ホームページの管理・運営 | 通年 | ホームページの管理 運営 | 正会員 一般 | 250,000 | ホームページ制 作費 |
| ・ 兵庫ブロック公式訪問資料作成並びに役員懇談会の企画・設営及び運営 | 2月 | 兵庫ブロック公式訪問資料作成並びに役員懇談会の企画・設営及び運営 | | 47,500 | |
| ・ 例会の企画・設営及び運営 | 3月 | 3月例会の企画及び運営 | 正会員 | 275,000 | 例会設営費、講師料 |
| ・ 淡路島まつりおどり大会への企画・設営及び運営 | 8月 | 淡路島まつりおどり大会への企画・設営及び運営 | 正会員 特別会員 来賓・他 LOM | 170,000 | 会場設営等 |
| ・ 例会の企画・設営及び運営 | 9月 | 9月例会の企画及び運営 | | 21,000 | 例会設営費 |
| | | | 合計 | 763,500 | |

| 役割業務 | 実施月 | 業務内容 |
|------------------------------------|------|----------------------------------|
| ・ 例会の企画・設営及び運営 | 3・9月 | 3・9月例会の企画・設営及び運営 |
| ・ 例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー | 通年 | |
| ・ 会員拡大に関する統括業務(各委員会・公室との連絡調整) | 通年 | |
| ・ 会員拡大に関する業務 | 通年 | |
| ・ ホームページの管理・運営 | 1月 | |
| ・ 広報・メディアの活用(ホームページ・SNS等の有効利用) | 通年 | ホームページの管理・運営 |
| ・ 兵庫ブロック公式訪問資料作成並びに役員懇談会の企画・設営及び運営 | 2月 | |
| ・ 淡路島まつりおどり大会への企画・設営及び運営 | 8月 | |
| ・ 55周年事業に関する業務(関連委員会との連絡調整) | 通年 | 兵庫ブロック公式訪問資料作成並びに役員懇談会の企画・設営及び運営 |
| ・ 委員会活動の記録保存 | 通年 | |
| ・ 全事業への参加協力 | 通年 | 淡路島まつりおどり大会への企画・設営及び運営 |
| ・ 理事長諮問に関する答申業務 | 通年 | |

スローガン

人と人 ～個性が交差し光る未来へ～



「様々な考えを持ったメンバーが個々の個性を出し合い、融合させ良い組織を作っていく。」多種多様な業種のメンバーがそれぞれの違う視点から議論し合うことで、実現できると考えます。また本年度は一般社団法人淡路青年会議所 55 周年という節目の年でもありますので、特別会員の皆様や関係団体との関わり方を更に強化し、確かな組織を作ることが必要です。

貴重な個性を持ったメンバー同士が結束を固め信頼関係を築いていくために、最初の事業である新年会に参加していただくことは、交流を深める上で欠かせません。そして当委員会の役目としては新年会でメンバー全員が心を合わせ、皆様に感動を与えるおもてなしをすることです。また本年は周年の年をより強く意識して、特別会員の皆様や関係団体の方々と交流を持つ必要があります。皆様からご意見をいただける機会が更に増えることによってメンバーの視野が広がり、豊かな発想力を持つことで更に良い組織を作ることができます。対内広報誌も然り、現役メンバーと特別会員の皆様とを繋ぐ大切なツールです。より多くの方に目を通していただくため今までに無い魅力的な物を作り、次号が待ち遠しいというお声をいただけるような内容にしていくことを第一に考えて、作成に励んでまいります。対内広報誌を通して特別会員の皆様には現役メンバーの活動に対する熱い想いを知っていただき、より一層身近で応援していただけるように精一杯作成に取り組んでまいります。

様々な方と交流を持ち、多面的に物事を見て意見を出し合うことはお互いの視野を広げて、今までになかった斬新な発想を生み出します。それによって「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信しております。

事業計画並びに予算及び役割業務

| 事業計画 | 実施月 | 内容 | 対象者 | 予算額(円) | 備考 |
|----------------|-----|---------------|---------------------------|----------|-------|
| ・新年会の企画・設営及び運営 | 1月 | 新年会の企画・設営及び運営 | 正会員 特別会員 来賓 他LOM | 250,000円 | 会場設営等 |
| ・例会の企画・設営及び運営 | 8月 | 8月例会の企画・運営 | 正会員 準会員 | 21,000円 | 会場設営費 |
| | 11月 | 11月例会の企画・運営 | 正会員 準会員 | 21,000円 | 会場設営費 |
| ・対内広報誌の発行 | 通年 | 対内広報誌の発行 | 正会員 特別会員 | 320,000円 | |
| | | | 合計 | 612,000円 | |

| 役割業務 | 実施月 | 業務内容 |
|---------------------------------------|--------|---------------|
| ・新年会の企画・設営及び運営 | 1月 | 新年会の企画・設営及び運営 |
| ・例会の企画・設営及び運営 | 8月・11月 | 例会の企画・設営及び運営 |
| ・対内広報誌の発行 | 通年 | 対内広報誌の発行 |
| ・ゴルフ同好会・卒業コンペの開催 | 通年 | |
| ・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー | 通年 | |
| ・LOM事業の記録及び保存のための取材活動 | | |
| ・会員拡大に関する副統括業務 (候補者へのフォロー・準会員への連絡) | 通年 | |
| ・会員拡大に関する業務(関連委員会との連絡調整) | 通年 | |

スローガン

後悔なき未来への行動

～ぼくらの「いま」が淡路の「あす」をつくる～



これまで先人たちは、淡路島の美しい自然と共生し、歴史や伝統はもちろん食や生活、産業といった独自の文化を育まれてきました。それはこの地のアイデンティティーであり、私たちはこの環境を最大限に活かし次世代へと引き継がねばなりません。それはただ単に古いものを守るのではなく、先人たちが育んできた

6 ものを大切にしつつも磨きをかけることでさらに魅力を加え、淡路島の新たな可能性を見
7 出していくことであると考えます。

8 「淡路はひとつ」この設立当初からの基本理念は55年目を迎えた今でもなお私たちの中
9 に生きています。その想いが一昨年、島内三市関係団体のご理解とご協力のもと「淡
10 路島日本遺産委員会」を設立できたことにより、ひとつの具体像を見ることができました。

11 これにより、淡路島の歴史・文化がストーリーとして繋がり、悲願であった日本遺産の認
12 定へと至った事は言うまでもありません。これらは「淡路島」として、ひとつの目標の基
13 に結集し、大きな力をもって前に進んだ結果であります。つまり、まちづくりが行政単位
14 だけで行われるのではなく、歴史や文化を共有する「地域」として実行されることの必要
15 性を明確に示しています。今必要なことは、「淡路島」として、他の地域にはない明確な
16 コンセプトの基に行われるまちづくりと時代に即したプロモーション活動を以て、淡路島
17 がどのような価値を提供することができる地域かを明確化し、それらを島民と共に強力に
18 実行できる仕組みや手法、またそのプロセスを専門的な知識を持つ方のみならず、これか
19 らの淡路島を担う方々と多方面からの検討し具体的な形を示すことであります。

20 大きな可能性を秘めた淡路島だからこそ、その方向性を誤れば地域の特色が失われかね
21 ません。我々は今を生きる責任を持って淡路島に絶対的な魅力を確立し、まちづくりに活
22 かすことで「明るい豊かな淡路島」へと邁進して参ります。

事業計画並びに予算及び役割業務

| 事業計画 | 実施月 | 内容 | 対象者 | 予算額(円) | 備考 |
|--------------------------|-----|--------------------------|-------------------|-----------|----|
| 例会の企画・設営及び運営 | 2月 | 例会の企画・設営及び運営 | 正会員 準会員 | 37,000 | |
| 社会開発事業の企画・設営及び運営 | 7月 | 社会開発事業の企画・設営及び運営 | 淡路島島民 | 1,000,000 | |
| 兵庫県淡路県民局長との懇談会の企画・設営及び運営 | 9月 | 兵庫県淡路県民局長との懇談会の企画・設営及び運営 | 正会員 準会員 県民局 | 21,000 | |
| 例会の企画・設営及び運営 | 10月 | 例会の企画・設営及び運営 | 正会員 準会員 | 21,000 | |
| | | | 合計 | 1,079,000 | |

| 役割業務 | 実施月 | 業務内容 |
|--------------------------------|-------|----------------------|
| ・例会の企画・設営及び運営 | 2・10月 | 例会の企画・運営 |
| ・例会欠席者へのアテンダンス案内及びフォロー | 2・10月 | |
| ・社会開発事業の企画・設営及び運営 | 7月 | 社会開発事業の実施 |
| ・日本遺産推進における連絡調整に関する業務 | 通年 | 淡路島日本遺産委員会及び同幹事会との連携 |
| ・日本遺産推進における企画・設営及び運営 | 通年 | 淡路島日本遺産委員会及び同幹事会との連携 |
| ・兵庫県淡路県民局長との懇談会の企画・設営及び運営 | 9月 | 淡路県民局長との懇談会の実施 |
| ・55周年事業に関する業務 (関連委員会との連絡調整) | 5月 | |
| ・会員拡大に関する業務 (関連委員会との連絡調整) | 通年 | |
| ・委員会活動の記録保存 | 通年 | |
| ・全事業への参加協力 | 通年 | |
| ・理事長諮問に関する答申業務 | 通年 | |

7. 出 向 者 抱 負

公益社団法人日本青年会議所近畿地区協議会
地域社会貢献構築委員会

横山 奈津紀



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区協議会 地域社会貢献構築委員会に出向させて頂くことになりました。近畿地区大会尼崎大会の実施が主な役割です。LOMでの経験を十分に活かし、ブロックでの新たな経験をLOMへ持ち帰り役立てたいと考えます。頑張りますので、委員会・事業へのご理解・ご協力賜りますよう、宜しくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
日本 JC 連携推進会議

藤川 龍介



本年度、兵庫ブロック協議会 日本 JC 連携推進会議に出向させて頂くことになりました。内容が濃いものばかりですので、LOMでの経験を十分に活かし、淡路 JC から出向する責任を全うして参りたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
兵庫の未来創造委員会

村田 泰志



兵庫ブロック協議会兵庫の未来創造委員会に出向させて頂くことになりました。役割としては、会員会議所理事長と兵庫県知事との懇談会の実施と少年少女サッカーJCカップ兵庫大会開催などを行う委員会です。出向させて頂いただけ ことに感謝し、委員会に積極的に関わることでLOMに1つでも多くのことを持ち帰って参りたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
兵庫アカデミー委員会

伊山 真司



本年度、兵庫ブロック協議会 アカデミー委員会に出向させていただくことになりました。委員会では拡大小委員会へ配属となり、主に拡大に関する業務等が担いとなっています。LOM では拡大を担当していますので、LOM から活かせること LOM へお返しできる事をしっかり一年間で創って行きたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
JC 運動発信委員会

横山 泰明



この度 JC 運動発信委員会に出向させていただくことになりました。ブロック HP・Facebook の管理・運営や各種会議・大会におけるナイト・ブース設営などが主な役割となっております。委員会出向の際は他 LOM との情報交換をし、得たものを LOM に持ち帰り出向理事としてその情報をしっかり落とし込み出来るように 1 年間頑張るつもりです。よろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
ブロック大会運営委員会

波戸 大樹



ブロック大会運営委員会に出向させていただくことになりました。今年の会員大会は川西での開催となっております。そこで培った経験を持ち帰り、LOM のメンバーにしっかりお伝えしたいと思います。1 年間頑張るつもりです。どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
財務規則審査会議

三浦 義崇



本年度、兵庫ブロック協議会 財務規則会議に出向させていただくことになりました。ブロックの委員会から上程される議案を財政面、コンプライアンス面で審査していきます。他 LOM の方々と交流し、一年間の経験を淡路 JC に持ち帰り、フィードバックできるよう頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。

8. 正味財産増減予算

| 科 目 | 修正予算額 | 予算額 | 決算額 | 備考 |
|--------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------|
| | H29.1.1~H29.12.31 (12ヶ月分) | H29.1.1~H29.12.31 (12ヶ月分) | H28.1.1~H28.12.31 (12ヶ月分) | |
| I 一般正味財産増減の部 | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | |
| ① 受取入会金 | 0 | 0 | 0 | |
| ② 受取会費 | 6,590,000 | 6,510,000 | 6,840,000 | |
| 正会員受取会費 | 6,320,000 | 6,240,000 | 6,480,000 | 39名×¥160,000 1名×¥80,000 |
| その他受取会費 | 270,000 | 270,000 | 360,000 | 卒業生9名×¥30,000 |
| ③ 事業収益 | 0 | 0 | 2,828,000 | |
| 受託事業収益 | 0 | 0 | 0 | |
| 登録料 | 0 | 0 | 2,403,000 | |
| その他事業収益 | 0 | 0 | 425,000 | |
| ④ 受取負担金 | 0 | 0 | 0 | |
| ⑤ 寄付金 | 0 | 0 | 510,000 | |
| ⑥ 雑収益 | 1,500 | 1,500 | 10,692 | |
| 受取利息 | 1,500 | 1,500 | 1,099 | |
| 配当金 | 0 | 0 | 500 | |
| 雑収益 | 0 | 0 | 9,093 | |
| 経常収益計 | 6,591,500 | 6,511,500 | 10,188,692 | |
| (2) 経常費用 | | | | |
| ① 事業費 | | | | |
| 給料手当 | 72,400 | 72,400 | 72,400 | |
| 福利厚生費 | | | 0 | |
| 会議費 賃借料 | 762,700 | 763,500 | 459,160 | |
| 消耗品費 | 1,039,304 | 1,039,304 | 523,902 | |
| レンタル料 | 0 | 0 | 0 | |
| 食糧費 | 112,000 | 112,000 | 14,580 | |
| 人件費 | 8,000 | 8,000 | 0 | |
| 支払手数料 | 140,000 | 140,000 | 235,000 | |
| 講師関係費 | 358,640 | 358,640 | 15,920 | |
| 謝礼金 | 425,000 | 425,000 | 8,000 | |
| 資料作成費 | 382,906 | 382,906 | 162,176 | |
| 広告普及費 | 1,194,050 | 1,194,050 | 722,660 | |
| 報告書作成費 | 3,820 | 3,820 | 10,980 | |
| 旅費交通費 | 150,000 | 150,000 | 30,000 | |
| 交際費 | 200,000 | 200,000 | 2,408,000 | |
| 保険料 | 29,215 | 29,215 | 13,990 | |
| 印刷製本費 | 636,000 | 636,000 | 632,400 | |
| 通信運搬費 | 61,167 | 61,167 | 14,722 | |
| 支払負担金 | 11,000 | 11,000 | 292,000 | |
| 雑費 | 57,898 | 57,898 | 26,600 | |
| 事業費計 | 5,644,100 | 5,644,900 | 5,642,490 | |

| 科 目 | 修正予算額 | 予算額 | 決算額 | 備考 |
|--------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------|
| | H29.1.1~H29.12.31 (12ヶ月分) | H29.1.1~H29.12.31 (12ヶ月分) | H28.1.1~H28.12.31 (12ヶ月分) | |
| ②管理費 | | | | |
| 会議費 | 0 | 0 | 0 | |
| 給料手当 | 897,600 | 897,600 | 803,172 | |
| 退職給付引当金 | 0 | 0 | | |
| 福利厚生費 | 155,000 | 15,500 | 125,309 | 交通費・雇用保険料 |
| 渉外費 | 200,000 | 200,000 | 198,800 | 各種登録¥78,000+褒賞¥60,000 |
| 慶弔費 | 200,000 | 200,000 | 65,000 | |
| 減価償却費 | 80,000 | 80,000 | 68,593 | |
| 消耗品費 | 450,000 | 450,000 | 344,563 | コピー用紙・トナー他 |
| 消耗什器備品費 | 0 | 0 | 0 | |
| 通信費 | 500,000 | 500,000 | 413,117 | 電話代・JCプレス送料等 |
| 印刷製本費 | 30,000 | 30,000 | 26,460 | |
| 賃借料 | 1,020,000 | 1,020,000 | 1,020,000 | ¥85,000×12ヶ月 |
| 光熱水料費 | 250,000 | 250,000 | 211,868 | |
| 謝礼金 | 100,000 | 100,000 | 86,400 | 税理士報酬 |
| 修理費 | 50,000 | 50,000 | 88,862 | |
| 租税公課 | 25,000 | 25,000 | 22,552 | 印紙代・県民税(¥22,000) |
| 雑費 | 100,000 | 100,000 | 117,418 | ※雇用保険は福利厚生費に移動 新聞代等 |
| 小計 | 4,057,600 | 3,918,100 | 3,592,114 | |
| ③負担金 | | | | |
| JCI会費 | 45,435 | 45,435 | 61,875 | ¥1,165×39名 |
| 日本JC会費 | 225,000 | 225,000 | 255,000 | ¥30,000+¥5,000×39名 |
| 国際協力資金 | 71,175 | 71,175 | 82,125 | ¥5×365日×39名 |
| 近畿地区会費 | 72,200 | 72,200 | 83,000 | ¥2,000+¥1,800×39名 |
| 兵庫ブロック会費 | 235,000 | 235,000 | 265,000 | ¥40,000+¥5,000×39名 |
| 小計 | 648,810 | 648,810 | 1,247,000 | |
| 管理費計 | 4,706,410 | 4,566,910 | 4,839,114 | |
| 経常費用計 | 10,350,510 | 10,211,810 | 10,481,604 | |
| 当期経常増減額 | △ 3,759,010 | △ 3,700,310 | △ 292,912 | |
| 2.経常外増減の部 | | | | |
| (1)経常外収益 | | | | |
| 経常外収益計 | 0 | | 0 | |
| (2)経常外費用 | | | | |
| 経常外費用計 | 0 | | 0 | |
| 経常外費用増減額 | | | | |
| 一般正味財産増減額 | △ 3,759,010 | △ 3,700,310 | △ 292,912 | |
| 一般正味財産期首残高 | 7,793,867 | 7,793,867 | 8,086,779 | |
| 一般正味財産期末残高 | 4,034,857 | 4,093,557 | 7,793,867 | |
| II 正味財産期末残高 | 4,034,857 | 4,093,557 | 7,793,867 | |

2017年度 委員会別事業予算明細

| 委員会名 | 収入の部 | | 支出の部 | | 備考 |
|-----------|------|-----------|---------|-----------|----|
| | 科目 | 予算額 | 科目 | 予算額 | |
| 理事長公室 | 事業収入 | 561,000 | 会場費 賃借料 | 39,000 | |
| | | | 消耗品 | 70,660 | |
| | | | 食糧費 | 0 | |
| | | | 人件費 | 0 | |
| | | | 支払手数料 | 0 | |
| | | | 講師関係費 | 0 | |
| | | | 諸謝金 | 0 | |
| | | | 資料作成費 | 1,640 | |
| | | | 広告普及費 | 94,480 | |
| | | | 報告書作成費 | 820 | |
| | | | 旅費交通費 | 0 | |
| | | | 交際費 | 0 | |
| | | | 保険料 | 10,000 | |
| | | | 印刷製本費 | 324,000 | |
| | | 通信運搬費 | 0 | | |
| | | 支払負担金 | 10,000 | | |
| | | 雑費 | 0 | | |
| | | 予備費 | 10,400 | | |
| | 小計 | 561,000 | 小計 | 561,000 | |
| 55周年企画委員会 | 事業収入 | 2,435,200 | 会場費 賃借料 | 341,600 | |
| | | | 消耗品 | 534,056 | |
| | | | 食糧費 | 40,000 | |
| | | | 人件費 | 0 | |
| | | | 支払手数料 | 30,000 | |
| | | | 講師関係費 | 350,000 | |
| | | | 諸謝金 | 0 | |
| | | | 資料作成費 | 3,066 | |
| | | | 広告普及費 | 804,570 | |
| | | | 報告書作成費 | 0 | |
| | | | 旅費交通費 | 0 | |
| | | | 交際費 | 200,000 | |
| | | | 保険料 | 0 | |
| | | | 印刷製本費 | 0 | |
| | | 通信運搬費 | 51,410 | | |
| | | 支払負担金 | 0 | | |
| | | 雑費 | 4,320 | | |
| | | 予備費 | 76,178 | | |
| | 小計 | 2,435,200 | 小計 | 2,435,200 | |
| 事業推進委員会 | 事業収入 | 113,000 | 会場費 賃借料 | 62,000 | |
| | | | 消耗品 | 16,200 | |
| | | | 食糧費 | 0 | |
| | | | 人件費 | 0 | |
| | | | 支払手数料 | 0 | |
| | | | 講師関係費 | 3,240 | |
| | | | 諸謝金 | 25,000 | |
| | | | 資料作成費 | 2,460 | |
| | | | 広告普及費 | 0 | |
| | | | 報告書作成費 | 0 | |
| | | | 旅費交通費 | 0 | |
| | | | 交際費 | 0 | |
| | | | 保険料 | 1,665 | |
| | | | 印刷製本費 | 0 | |
| | | 通信運搬費 | 82 | | |
| | | 支払負担金 | 0 | | |
| | | 雑費 | 0 | | |
| | | 予備費 | 2,353 | | |
| | 小計 | 113,000 | 小計 | 113,000 | |

| | | | | |
|------------|------|-----------|---------|-----------|
| 拡大・広報戦略委員会 | 事業収入 | 765,500 | 会場費 賃借料 | 84,900 |
| | | | 消耗品 | 51,600 |
| | | | 食糧費 | 0 |
| | | | 人件費 | 0 |
| | | | 支払手数料 | 80,000 |
| | | | 講師関係費 | 5,400 |
| | | | 諸謝金 | 200,000 |
| | | | 資料作成費 | 246,640 |
| | | | 広告普及費 | 45,000 |
| | | | 報告書作成費 | 0 |
| | | | 旅費交通費 | 0 |
| | | | 交際費 | 0 |
| | | | 保険料 | 7,550 |
| | | | 印刷製本費 | 0 |
| | | 通信運搬費 | 2,530 | |
| | | 支払負担金 | 1,000 | |
| | | 雑費 | 24,000 | |
| | | 予備費 | 16,880 | |
| | 小計 | 765,500 | 小計 | 765,500 |
| 交流推進委員会 | 事業収入 | 616,000 | 会場費 賃借料 | 75,200 |
| | | | 消耗品 | 152,600 |
| | | | 食糧費 | 0 |
| | | | 人件費 | 0 |
| | | | 支払手数料 | 30,000 |
| | | | 講師関係費 | 0 |
| | | | 諸謝金 | 0 |
| | | | 資料作成費 | 1,640 |
| | | | 広告普及費 | 0 |
| | | | 報告書作成費 | 0 |
| | | | 旅費交通費 | 0 |
| | | | 交際費 | 0 |
| | | | 保険料 | 0 |
| | | | 印刷製本費 | 312,000 |
| | | 通信運搬費 | 6,145 | |
| | | 支払負担金 | 0 | |
| | | 雑費 | 21,578 | |
| | | 予備費 | 16,837 | |
| | 小計 | 616,000 | 小計 | 616,000 |
| 社会開発委員会 | 事業収入 | 1,081,000 | 会場費 賃借料 | 160,000 |
| | | | 消耗品 | 41,200 |
| | | | 食糧費 | 72,000 |
| | | | 人件費 | 8,000 |
| | | | 支払手数料 | 0 |
| | | | 講師関係費 | 0 |
| | | | 諸謝金 | 200,000 |
| | | | 資料作成費 | 127,460 |
| | | | 広告普及費 | 250,000 |
| | | | 報告書作成費 | 3,000 |
| | | | 旅費交通費 | 150,000 |
| | | | 交際費 | 0 |
| | | | 保険料 | 10,000 |
| | | | 印刷製本費 | 0 |
| | | 通信運搬費 | 1,000 | |
| | | 支払負担金 | 0 | |
| | | 雑費 | 8,000 | |
| | | 予備費 | 50,340 | |
| | 小計 | 1,081,000 | 小計 | 1,081,000 |
| 全体 | 事業収入 | 5,571,700 | 会場費 賃借料 | 762,700 |
| | | | 消耗品 | 866,316 |
| | | | 食糧費 | 112,000 |
| | | | 人件費 | 8,000 |
| | | | 支払手数料 | 140,000 |
| | | | 講師関係費 | 358,640 |
| | | | 諸謝金 | 425,000 |
| | | | 資料作成費 | 382,906 |
| | | | 広告普及費 | 1,194,050 |
| | | | 報告書作成費 | 3,820 |
| | | | 旅費交通費 | 150,000 |
| | | | 交際費 | 200,000 |
| | | | 保険料 | 29,215 |
| | | | 印刷製本費 | 636,000 |
| | | 通信運搬費 | 61,167 | |
| | | 支払負担金 | 11,000 | |
| | | 雑費 | 57,898 | |
| | | 予備費 | 172,988 | |
| | 合計 | 5,571,700 | 合計 | 5,571,700 |

9. 2017 年度 一般社団法人淡路青年会議所

役員名簿(案)

| | |
|-------|---------|
| 理事長 | 時 枝 弘 記 |
| 直前理事長 | 中 田 勝 文 |
| 監 事 | 新 家 春 輝 |
| 副理事長 | 竹 田 良 平 |
| | 波 戸 大 樹 |
| | 藤 川 龍 介 |
| 専務理事 | 藤 井 宏 昌 |
| 出向理事 | 横 山 泰 明 |
| 理 事 | 伊 山 真 司 |
| | 植 野 泰 幸 |
| | 川 越 勇 輔 |
| | 本 名 佑 至 |
| | 三 浦 義 崇 |
| | 村 田 泰 志 |
| | 横 山 奈津紀 |

10. 出向者一覧

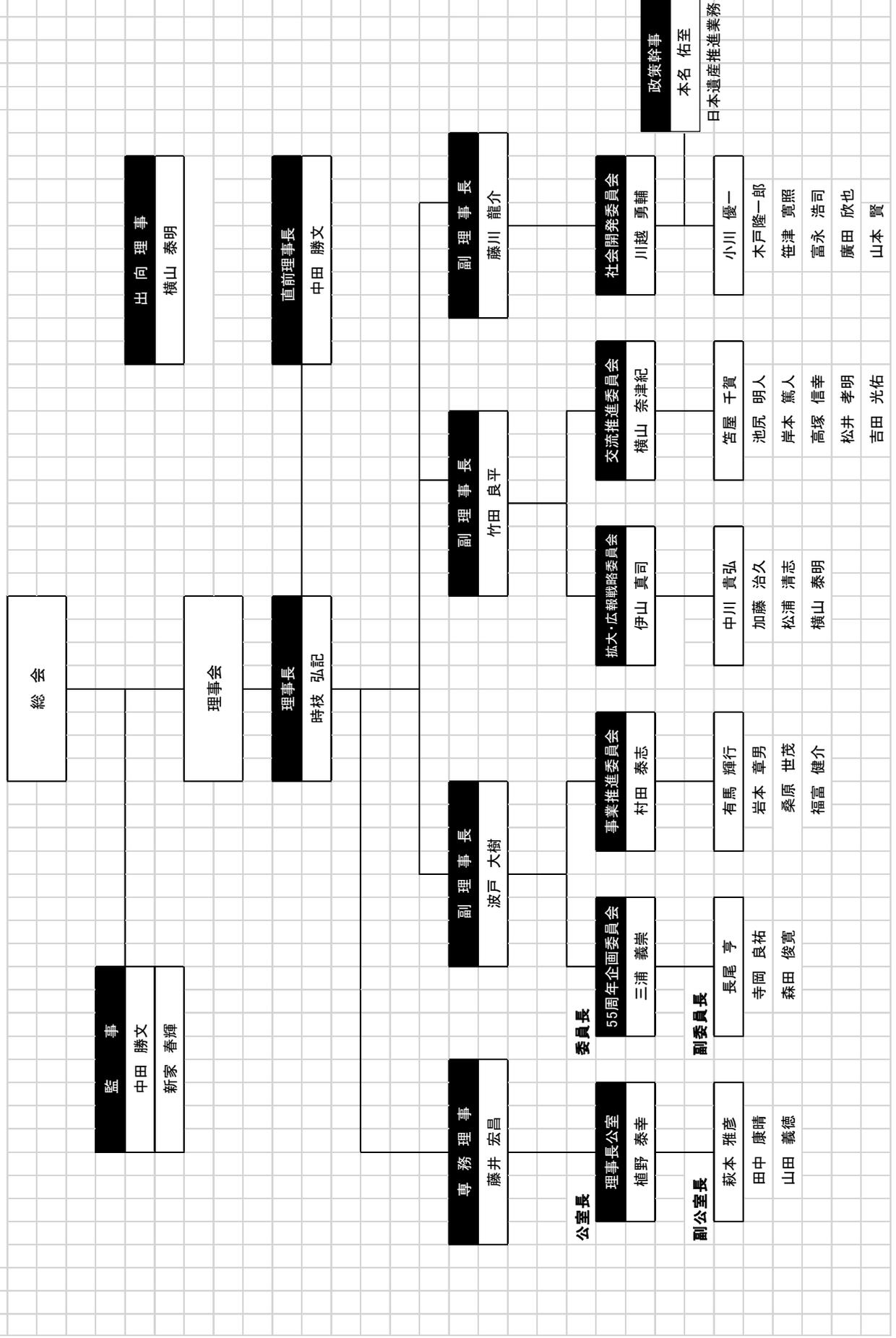
公益社団法人日本青年会議所近畿地区協議会

| 出 向 先 | 役 職 | 出向者氏名 |
|-------------|-----|--------|
| 地域社会貢献構築委員会 | 委 員 | 横山 奈津紀 |

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

| 出 向 先 | 役 職 | 出向者氏名 |
|--------------|-----|-------|
| 日本 JC 連携推進会議 | 委 員 | 藤川 龍介 |
| 兵庫の創造委員会 | 委 員 | 村田 泰志 |
| 兵庫アカデミー委員会 | 委 員 | 伊山 真司 |
| JC 運動発信委員会 | 委 員 | 横山 泰明 |
| ブロック大会運営委員会 | 委 員 | 波戸 大樹 |
| 財務規則審査会議 | 委 員 | 三浦 義崇 |

11.組織図及び委員会構成



13. 日本JC近畿地区兵庫ブロック協議会組織図

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会 2017年度 組織図(案)

